

k291.9
427



高橋周楨編述

反野鑛泉誌
全

東京 博文館藏版

K291.9
サ27

高橋周楨編述

上野鑛泉誌
全

發行書林 東京博文館

上野鑛泉誌序

上毛ノ鑛泉ニ富メル實ニ我國ニ冠タリ
毎歲浴客幾萬ヲ以テ算スルニ至ル亦盛
ナリト謂フベシ而シテ道路交通ノ便車馬
往來ノ利日ニニ發達ス今ヨリ後此利
便ハ益々鑛泉場ノ繁華ヲ加フルノ

具トナルヤ知ルベキナリ然ルニ從來上毛鑛
泉ヲ説クノ書汗牛充棟當ナラズト雖モ
今日ニ於テ之ヲ見レハ其叙スル所概子
舊時ノ状態ニ属シ日新ノ現況ト相適ハ
ザルモノ如シ本書ノ著アル蓋シ是カ為ナル
ナカラシヤ本書ハ能ク泉質効用ヲ精

査シ加フルニ名勝舊跡ヲ輯録シ親切
叮嚀^ウ勉^メテ遊人浴客ノ便ニ資セントス
其益スル所著者ノ勞ト共ニ尠カラサル
ベシ稿成ルニ及ビテ余ニ之カ序ヲ囑ス
余其刊行ヲ喜ビ為メニ數言ヲ卷
首ニ題スト云フ



金洞山白雲巖第一峰二石門上圖

明治壬辰首夏 中村元雄

墨稼請書



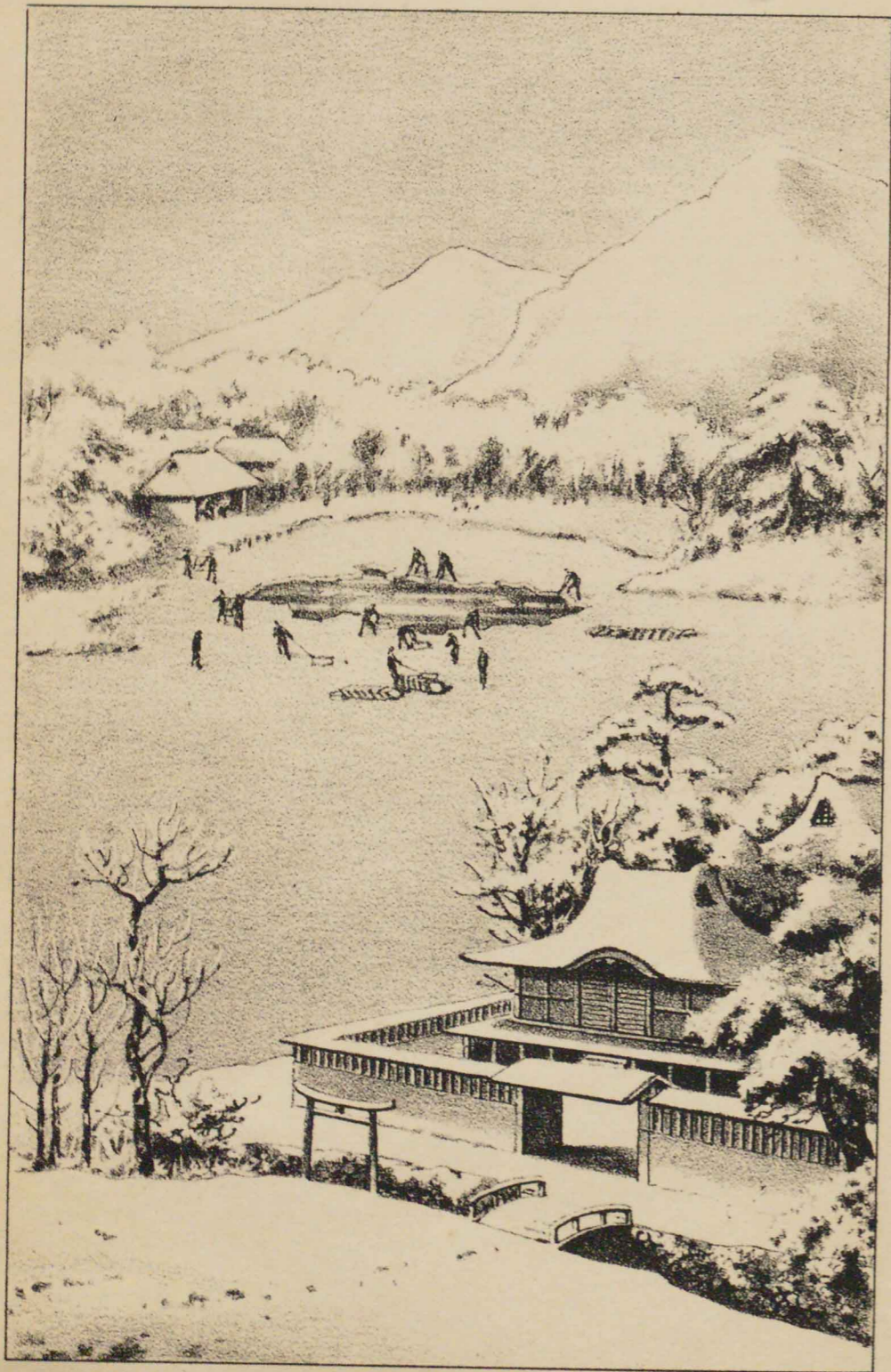
金洞山白兔峰第一第二石門之圖

明治壬辰首夏 中村元雄

墨線請書



圖之天覆巖奇殿神山名榛



赤城山石垣沼蓄氷之圖

上野鑛泉誌

凡例

一鑛泉ノ能ク疾病ヲ醫シ心身ヲシテ快且健ナラシムルノ特効アルコトハ人皆之ヲ知レリ然レモ其泉質及風土氣候等ノ差違アリテ何レカ其身體ニ適スルヤ否ヤハ之ヲ刀圭家ニ就テ聞カサレハ決スル能ハス而シテ刀圭家ニ於テモ之カ材料ナカリセハ亦指示スルニ躊躇スルコトナシトセス蓋我上野ハ古來鑛泉ニ富メリト雖モ未タ其泉質及ヒ風土氣候等ヲ審ニシ吾人ヲ益スルモノアラス依テ淺劣ヲ顧ミス此書ヲ編シ世人ノ刀圭家ニ據ラスシテ其疾病ニ適應スヘキ泉質風土等ヲ知ルノ便ニ供シ併セテ刀圭家ノ參考ニ備フルノミ

一此書ニ專ラ引用セシ書類ハ上野名跡志ニシテ其他上野國志、日本鑛泉誌、群馬縣鑛泉試驗書、同鑛泉取調書、同地誌畧、前橋繁昌記、温泉のみやげ、伊香保温泉誌、草津温泉誌、碓部鑛泉効能書、同應用治療法、同温泉

案内、下野鑛泉誌、箱根鑛泉誌、群馬縣事要覽、同改正郡町村區域要覽、改正上野國全圖、其他各鑛泉地ノ地圖等ナリ

一 泉質及効能ハ内務省衛生局ノ調アルモノハ之ヲ採リ否ラサルモノハ群馬縣ノ調ニ據ル其之ヲ缺クモノハ里俗唱フル所ノモノニ因ル俗間効能ト記スルモノ之レナリ

一 此書ニ記スル鑛泉ノ順序ハ先ツ前橋市ヨリ兩毛鐵道ノ便ニヨリ佐位、新田、山田三郡ニ散在セル鑛泉ヲ廻リ轉シテ南勢多郡ニ入り夫レヨリ利根、吾妻、碓氷、北甘樂ノ諸郡ニ涉リ南甘樂、多胡、綠野ノ三郡ヲ經テ西群馬郡高崎町ニ終ルノ道順トス

一 此書ニ載スル所ノ鑛泉七十四種ノ外南勢多、利根、吾妻、碓氷、北甘樂ノ五郡ニ於テ二十餘種ノ鑛泉アリト雖モ著名ナラサルモノ或ハ未タ試驗ヲ經サルモノナレハ茲ニ省ク

一 溫泉冷泉ノ區別ハ攝氏十九度攝氏十九度以上華氏六十六度ヲ溫泉トシ其以下ヲ冷泉トス

一 溫度ハ攝氏ヲ用ユルヲナレヒ華氏ヲ附加シタルハ世人ノ常用ニ慣レ居ルヲ以テナリ

一 此書記スル所ノ地理ハ未タ親ラ跋涉探尋セサルモノアレハ從テ誤謬ナシトセス故ニ沿革ノ未詳ナルモノト共ニ他日調査更正スルノ機アルヘケレハ看官深ク咎ムルヲナクンバ幸甚

明治廿五年壬辰首夏

編者識

上野鑛泉誌目次

第一章	鑛泉零解……………	一	頁
(一)	鑛泉ノ意義……………	一	頁
(二)	湧出ノ理由……………	一	頁
(三)	冷温ノ區別……………	二	頁
(四)	鑛泉ノ種類……………	三	頁
(五)	鑛泉ノ効能……………	四	頁
(六)	鑛泉用法……………	七	頁
(七)	氣候療法……………	十	頁
第二章	上野總論……………	十	頁
第三章	上野鑛泉……………	十七	頁
(一)	生井鑛泉……………	十七	頁
(二)	藥師鑛泉……………	二十一	頁
(三)	岩理鑛泉……………	二十四	頁
(四)	入長岡鑛泉……………	三十一	頁

(五)	桐生新町鑛泉	自	四十一
(六)	友成鑛泉	自	四十四
(七)	樽下鑛泉	自	四十五
(八)	廣萱鑛泉	自	四十七
(九)	鹿之澤鑛泉	自	四十九
(十)	赤城湯ノ澤鑛泉	自	五十一
(十一)	不動鑛泉	自	五十四
(十二)	老上鑛泉	自	五十六
(十三)	川場鑛泉	自	五十八
(十四)	赤澤鑛泉	自	六十一
(十五)	根子瀧鑛泉	自	六十三
(十六)	谷川鑛泉	自	六十四
(十七)	湯原鑛泉	自	六十五
(十八)	穴原鑛泉	自	六十七
(十九)	湯檜曾鑛泉	自	六十九

(二十)	寶川鑛泉	自	七十二
(二十一)	湯島鑛泉	自	七十三
(二十二)	生井林鑛泉	自	七十四
(二十三)	法師鑛泉	自	七十六
(二十四)	湯河原鑛泉	自	七十八
(二十五)	ヌル湯鑛泉	自	七十九
(二十六)	川中鑛泉	自	八十一
(二十七)	松之湯鑛泉	自	八十二
(二十八)	河原湯鑛泉	自	八十三
(二十九)	鳩之湯鑛泉	自	八十七
(三十)	澤渡鑛泉	自	八十九
(三十一)	四萬鑛泉	自	九十三
(三十二)	花敷鑛泉	自	九十七
(三十三)	應德鑛泉	自	九十九
(三十四)	草津鑛泉	自	百十二

(三十五)	馬洗井戸鑛泉	至百十三頁
(三十六)	萬座鑛泉	至百十四頁
(三十七)	鹿澤鑛泉	至百十六頁
(三十八)	入之湯鑛泉	至百十八頁
(三十九)	龜澤鑛泉	至百二十一頁
(四十)	坂本湯ノ澤鑛泉	至百二十三頁
(四十一)	霧積鑛泉	至百二十四頁
(四十二)	郷原鑛泉	至百二十七頁
(四十三)	陣場鑛泉	至百三十一頁
(四十四)	新堀湯ノ澤鑛泉	至百三十三頁
(四十五)	鹽ノ久保鑛泉	至百三十四頁
(四十六)	八咫鑛泉	至百三十六頁
(四十七)	貉谷津鑛泉	至百三十八頁
(四十八)	磯部鑛泉	至百四十一頁
(四十九)	春日田鑛泉	至百四十八頁

(五十)	玉子鑛泉	至百五十二頁
(五十一)	菅之平鑛泉	至百五十四頁
(五十二)	若林鑛泉	至百五十六頁
(五十三)	關川原鑛泉	至百五十七頁
(五十四)	湯端鑛泉	至百五十九頁
(五十五)	鹽ノ宮鑛泉	至百六十一頁
(五十六)	鹽ノ入鑛泉	至百六十五頁
(五十七)	濱平鑛泉	至百六十七頁
(五十八)	猪田日向鑛泉	至百六十九頁
(五十九)	鹽平鑛泉	至百七十一頁
(六十)	金井平鑛泉	至百七十三頁
(六十一)	鹽村鑛泉	至百七十五頁
(六十二)	八鹽鑛泉	至百七十九頁
(六十三)	澤之鑛泉	至百八十三頁
(六十四)	淨法寺鑛泉	至百八十六頁

(六十五)	甲畑中鑛泉	……………	自百八十八頁
(六十六)	乙畑中鑛泉	……………	自百九十一頁
(六十七)	丸山鑛泉	……………	自百九十三頁
(六十八)	長山鑛泉	……………	自百九十六頁
(六十九)	鹽河鑛泉	……………	自二百頁
(七十)	ガラメキ鑛泉	……………	自二百二頁
(七十一)	湯ノ上 ^{ユヱ} 鑛泉	……………	自二百五頁
(七十二)	伊香保鑛泉	……………	自二百八頁
(七十三)	二ツ嶽蒸湯	……………	自二百十八頁
(七十四)	上 ^{カミ} 和 ^ワ 田 ^ダ 鑛泉	……………	自二百二十九頁

第四章 上野全圖

上野鑛泉誌目次終

上野鑛泉誌

上毛前橋

高橋周楨編述

第一章 鑛泉畧解

(1) 鑛泉ノ意義

鑛泉トハ地下幾多ノ地層ヲ滲透シテ湧出スル自然泉ニ數種ノ藥質分子ヲ溶解混有スルモノニシテ或ハ冷温アリ或ハ臭味色ノ三性ヲ異ニシ人躰ノ機能ヲ感起セシメ能ク疾病ヲ治癒シ心身ヲシテ輕快且健康ナラシムルノ効能アル者ヲ云フ

(2) 湧出ノ理由

鑛泉ノ自然ニ湧出スルノ理ハ諸說紛々トシテ確定セカリシガ近來地

心熱ニ起因スルモノトナセリ抑地球ノ中心ハ極メテ強高ノ熱ヲ有ス
 ル故ニ雨露ノ地中ニ滲透スルモノ再ヒ地上ニ潰出スルノ際之レニ觸
 レ熱シテ温泉トナリテ湧出ス是其火山地方ニ温泉多キ所以ナリ凡水
 ノ性タルヤ諸物ヲ溶解スルノ力ヲ有シ殊ニ温水ハ冷水ヨリ溶解力ノ
 強大ナルヲ以テ水ノ地熱ニ温メラレ熱シテ地中ヲ經過スルノ際數種
 ノ地層ニ保有スル幾多ノ物質ヲ溶解包有スルモノナリ是即鑛泉ニ藥
 質ヲ含ミ病痾ヲ醫療スルノ特效アル理ナリトス

(3) 冷温ノ區別

鑛泉ヲ大別シテ冷泉温泉ノ二種トナス而シテ冷泉トハ水分中含有スル
 各種ノ成分ハ敢テ温泉ニ讓ラスト雖モ其温度大氣ノ温ヨリ低冷ナル
 モノナ云ヒ温泉トハ平均大氣ノ温度ニ超越スルモノナ云フ其超過多
 少ノ度ニ從ヒ更ニ微温泉、温泉、熱泉等ノ別アルモノトス

但其區別ハ日本鑛泉誌ニ基キ其攝氏六十九度ヲ以テ標準トス

(4) 鑛泉ノ種類

輒近鑛泉ノ各主成分ヲ化學的試驗ノ成績ニ從ヒ其種類ノ何タルヲ瞭
 然タラシムヘキノ名稱ヲ附シ類別シテ五種トナセリ曰ク單純泉曰ク
 酸性泉曰ク炭酸泉曰ク鹽類泉曰ク硫黃泉是レナリ

單純泉又温泉 本泉ハ多少高温ヲ有スル尋常ノ水ニシテ硫化水素瓦
 斯、炭酸瓦斯、其他ノ瓦斯ヲモ含有スルコトナク只僅微ノ鹽類ヲ溶解
 スルモノナ云フ

酸性泉又酸性 硫黃泉 本泉ハ多量ノ遊離硫酸、亞硫酸、鹽酸、綠礬、硼酸等ヲ含
 ミ特異ノ酸性ヲ有スルモノトス
 炭酸泉 本泉ハ多量ノ炭酸ヲ含有シ之ヲ振盪スレハ甚シク氣球ヲ
 生スルモノナ云フ

鹽類泉 本泉ハ總テ多量ノ鹽類例ヘハ食鹽硫酸那篤留母^芒、硫酸麻
 侃涅叟母^{瀉利}等ヲ含ミ無色透明或ハ微黃ヲ帶ヒ多少ノ鹹味ヲ有
 シ或ハ全ク無臭無味ナルモノアリ

硫黃泉 本泉ハ各種ノ鹽類ヲ含有シ硫化曹胃母及ヒ格魯兒化曹胃
 母^食鹽ヲ以テ顯著ナル徵候トス而シテ腐卵ノ如キ臭氣烈シク又銀器
 ヲ黑色ニ變シ鉛粉ヲ以テ裝フタル顔面ヲ黑化セシムル等ハ本泉
 ノ特性ナリ

(5) 鑛泉ノ效能

鑛泉療法ハ概テ之ヲ慢性諸病ニ應用スルモノナルカ故ニ其快癒ニ赴
 クヤ亦タ極メテ徐々ナルハ理ノ當然ニシテ決シテ一朝一夕ニ其効驗
 ヲ著ハス者ニ非ス蓋シ溫泉ノ効必スシモ澡浴ノミニ非ス地形風氣山
 水林泉ノ樂ニ亦其半ハニ在リ故ニ高燥清潔ノ地ニ轉療シ從來ノ業務

ヲ廢シ其鑛泉ヲ内用外浴スルノ外常ニ開豁新鮮ノ空氣ヲ吸ヒ精神ヲ
 慰シテ食餌ヲ攝シ或ハ勝地ニ逍遙シ嗜好ノ遊戯ヲナシ或ハ又此地ニ
 來集シタル衆客ハ多ク各自ノ情願ヲ同クスル者ナレハ其希望スル處
 ノ情況ハ皆一轍ナレハ新知互ニ相親ム^フ舊識ノ如ク日々相集リテ快
 談ヲナシ他ニ精神ヲ攪擾スルカ如キ^フナカラシムル等總テ疾病ノ快
 癒ヲ促カスノ媒介ナリ之ニ由テ之ヲ觀レハ鑛泉ノ効驗著大ナルハ其
 泉質ハ勿論風土氣候地質ノ乾濕高低等ニ屬スル諸般ノ適良ナル合衆
 作用ニ職由スルモノト謂フ可キナリ

原來鑛泉療法ハ轉地療法ヲ兼ネ相應用スル者ナレハ二種ノ效能ヲ併
 有スル者トス故ニ其浴療セント欲スル鑛泉ヲ確定セントセハ先ツ其
 ノ土地ノ高低方位土壤ノ性狀河海山谷ノ有無氣候ノ寒暖風ノ方向及
 多少空氣ノ調度乾濕人民生活法旅館浴場ノ構造飲食物ノ供給道路ノ
 交通便否其他物産等ニ至ル迄精密ニ調査シ且ツ其鑛泉ハ從來何種ノ

病者最モ多ク來浴セルカ將々俚俗ニ於テ何種ノ病ニ最モ奏効アリト唱へ來リシヤヲ質問シ而シテ之ヲ鑛泉ノ性質ニ比照考究シ始メテ完全ナル鑛泉効用ヲ附スルヲ得ヘシ何ントナレハ甲ノ疾病ハ高地上海面千尺ヨリ四千尺ノ處ニ疾患ハ之ニ反シ山嶺ノ氣候ニ適セスシテ乾燥平坦ノ地ヲ要シ或ハ專ラ温暖ノ氣候ヲ要スル有リ又或ル病者ニ在リテハ閑雅幽靜ノ地ニ適シ熱鬧繁劇ノ地ニ在リテハ常ニ心情ヲ攪動シ易クノ適度ノ保養ヲ爲シ難ク澡浴ノ爲メ反テ其病勢ヲ増劇シ不測ノ不幸ヲ招クコトアリ然レモ或ル疾患ニ於テハ務メテ繁華ノ地ヲ要シ常ニ耳目ヲ慰メ心神ヲ嬉ハシメ以テ大ニ平生ノ鬱悶ヲ排散シ自カラ病痼ヲ忘レシムルコトアレハナリ

但五種ノ鑛泉ニ付醫治効用ヲ示スヘキナレモ各鑛泉ニ一々掲ケタレハ略ス

(6) 鑛泉用法

總テ鑛泉ヲ利用シ病痼ヲ養ハントスルニハ前項ニモ述フル如ク各種ノ鑛泉ニ就キ泉質及ヒ風土氣候等ヲ審案シ孰レカ能ク自身ニ適合スルヤ否ヤヲ考定スルヲ以テ緊要ノコトス而シテ其撰定シタル鑛泉ノ用法大要ヲ左ニ論述セン

凡鑛泉療法ヲ行フヘキ最良ノ時期ハ四月一日ヨリ十月一日ニ至ルノ六ヶ月ハ殊ニ好時機トス之レ尤モ各人職業上ノ便宜ヲ度リ或ハ旅行ノ時期ニ適スル等ニ因ルモノニシテ眞ニ鑛泉ヲ利用シ病痼ヲ治シ身體ヲ保全スルノ目的ニ就キテ論スレハ一年間皆好時期ニシテ敢テ期限ノアルヘキモノニ非サルナリ

鑛泉療養ニ要スヘキ時日ノ長短ヲ豫定スルコト太々難シトス蓋病性體質及鑛泉感應ノ強弱ニ因リテ各異同アレハナリ然レモ先ツ二週間ヲ

適度トス若シ其病症ニヨリ長浴ヲ要スト雖モ五週間ヲ限リ此レカ範
圍ヲ超ユヘカラス故ニ長浴ヲナサント欲セハ連綿浴用スルヲ切中シ
成ルヘク二度ニ行クヲ可トス而ノ同一ノ鑛泉ニ兩三年間繼續入浴ス
ルヲ最良トス

鑛泉ハ只入浴ノミナラス内服スルヲ宜トス其法ハ每早朝泉源ニ就キ
散歩シツ、幾回ニモ飲ミ分量ハ漸々増加スルヲ宜シトス而ノ其分量
ハ一合入ノ茶碗ニテ二三杯ヲ度トス若シ腹加減悪シキ時ハ飲ミ過ナ
レハ分量ヲ減スヘク婦人月經中ハ飲ムヘカラス飲用時ハ必ス朝餐前
七時或ハ八時午後ハ五時ヨリ六時ノ間ヲ良トス又飲用後ハ適宜ニ森
林ノ中ニ逍遙シ若シ天氣清朗ナラサルキハ屋内ヲ散歩スルヲ可トス
然レモ過劇ニ過クヘカラス

浴法ハ病症ニ從ヒ差異アル可シト雖モ通常一日一回或ハ二回ヲ適度
トス而ノ朝ハ八時或ハ九時晚ハ五時或ハ六時ノ間ヲ最良ノ時トス温泉

場ニ到着スルヤ否ヤ直ニ入浴ス可ラス先ツ一日位休息シ入浴時間ハ

身體ノ疲勞ヲ恢復シ以テ徐々ニ入浴ヲ始ムルヲ宜シトス入浴時間ハ
身體ノ強弱或ハ疾病ノ有無ニ依リ毎回十分時ヨリ最長一時間迄ノ内
ニ於テ適度ヲ取ルヘシ蓋シ冷浴熱浴ハ各十分温浴微温浴ハ各三分
チ度トス而ノ若時季寒冷ニシテ感冒ノ恐レアルキハ夜間臨臥ノ時ニ
浴スヘシ空腹又ハ飽腹ノ後ヲ刻ヲ移サスノ浴スルハ宜シカラス又通
常温度ハ華氏八十度乃至百度ヲ以テ常度トス故ニ夫ヨリ尙昇降アル
キハ大ニ胃腸ヲ害フアリ入浴後ハ能ク乾キタル手巾ニテ全身ヲ拭
ヒ乾シ強ク摩擦スルヲ良トス然シテ清潔ナル衣服ヲ着シ直チニ半時
以內ノ小運動ヲ爲スヘシ然レモ倦怠シテ喜ハサルモノハ強テ之ヲナ
スヘカラス

入浴中若シ皮疹ヲ發スルキハ一時入浴ヲ中止スルカ或ハ其鑛泉ニ常
水ヲ混シ之ヲ稀釋シテ浴用スヘシ皮疹ハ即チ鑛泉ノ皮膚ヲ刺戟スル
力強キニ過クルノ兆ヲ現ハスモノナレハナリ又入浴ノ爲ニ發熱スル

トアリ斯ノ如キ時ハ數日入浴ヲ見合シ飲食モ亦之ヲ減スヘシ
鑛泉療法ハ高齢者小兒妊婦等ニ於テハ極メテ精細ニ注意スルヲ要ス
殊ニ妊婦ハ飲用ノ量總テ之ヲ減スルヲ良トス就中浴者ノ禁ムヘキハ
過食暴飲及過度ノ房事等トス

(7) 氣候療法

又風土療法ト云フ

氣候療法ハ各自ノ身體ニ適應セル者ヲ撰ヒテ疾病ヲ治療シ或ハ健康
ヲ保持スルノ法ナリ故ニ浴客ハ其泉質ヲ知ルヲ以テ足レリトセス深
ク風土氣候ヲ探知スルヲ以テ必要トス蓋其泉質ハ或病症ニ適スルモ
其風度氣候之ヲ害スルヲアレハナリ風土氣候トハ其土地ノ狀況即チ
地形、空氣、水質、日光、風向、溫度等ノ活體上ニ致ス所ノ感應ヲ總稱スルモ
ノナリ氣候療法ニ於テ吾人ノ希望スル諸點ハ第一既ニ若干ノ期ニ進
ミタル疾病ヲ減制シ第二患者常住ノ土地ヨリ受クル不良ノ感應ヲ避

ケ第三身體ノ諸系殊ニ神經系、呼吸器系及消化器系ノ弛緩性或ハ刺戟
性ノ患者ヲシテ其風土氣候ヲ轉換スル爲メニ恢復スルニ在リ而シテ
氣候療養ヲ要スル主ナル病症ハ結核病(勞症類)、腺病、煤毒、癩麻質斯、貧血、萎
黃病、泥沼病(瘡類)、或ハ風土病(脚氣類)、呼吸器病、月經不調、皮膚粘膜ヨリ來ル
所ノ感冒、加答爾、重疾後ノ衰弱、神經諸病及慢性蛋白尿病等是ナリ而シ
テ氣候ハ地位ニ依リテ異ナルモノナレハ今之ヲ三等ニ別ツヘシ曰ク
沿海氣候曰ク高地氣候曰ク平地氣候是ナリ沿海氣候トハ大洋若クハ
海濱ニ瀕接シタル所ノ氣候ヲ汎稱スルモノニシテ若シ此稱ニ屬スル
療養ヲナス時ハ海水浴法ヲ兼ネ行ヘハ其効更ニ著シトス高地氣候ト
ハ海面上凡ソ三千三百尺乃至六千六百尺ノ地ニ在ル氣候ニシテ衝動
強壯ノ効アルモノトス低地氣候トハ廣濶原野或ハ山間平坦ノ土地ノ
氣候ヲ云フ或ル經驗家ノ說ニ依レハ山野ニ常住スルモノニハ海岸ノ
氣候相應シ海岸ニ住居スルモノニハ山野ノ鑛泉適應スト蓋シ或ハ然

ラン而シテ就レノ氣候カ自己ノ病症ニ適應スルヤ且各般ノ注意如何ト云フニ至リテハ須ラク醫師ノ指揮ヲ受クヘキナリ

第一章 上野總論

位置 群馬縣ハ東山道ノ中央ニ位シテ上野全國ヲ管轄セリ此國古ヘ下野ト共ニ毛野國ト稱セシガ仁德帝ノ朝ニ至リ分チテ上下トナス國中總テ十七郡東ハ朽木縣ニ隣リ南ハ埼玉縣ニ接シ西ハ長野縣ニ連リ北ハ新潟福島ノ二縣ニ界ス

幅員 東西三十里二十八町南北二十七里三町周回凡四百三十八方里ナリ

戶口 戶數十三萬九百十九戶現本籍人口七十萬九百五十六人
男三十四萬九千八百十八人
女三十五萬千八百四十六人

地勢 西北ヨリ斜メニ東南ニ延ヒ其形狀恰モ舞鶴ノ如シ胸首ニ當ル

ノ地ハ平衍ニシテ沃野多ク背尾及兩翼ノ間ハ峰巒蟠亘シ川流數條其間ヨリ出テ湊合シテ一水トナリ東南ニ奔注ス

山嶽 東北隅越後岩代ノ境ニ連ルチ刀嶺嶽ト云フ其分脈兩岐トナリ一ハ南ニ走リ大江、中俣、大笠、笄、袈裟ノ諸嶺トナリ赤城山ニ止マル一ハ西ニ赴キ駒ヶ嶽、武尊、烏帽子、大峯ノ諸山トナリ小野子、榛名ノ二嶽ハ其支脈タリ又蜿蜒連亘シテ西南ニ赴ク者チ稻裏、岩窪、白根、萬坐、吾孀、碓氷、妙義、荒船、稻倉、御荷鉾ノ諸峰トス

河川 利根川チ以テ巨流トス源チ刀嶺嶽ヨリ發シ片品、吾妻ノ兩川チ容レ屈曲シテ東南ニ流レ埼玉縣ニ入ル皇國第一ノ大河ニシテ坂東太郎ト稱スル者是ナリ上流ハ奔流激湍ニシテ舟楫チ通スヘカラス那波郡ニ至リ烏川ト相會シ山舒ヒ川濶ク始メテ風帆ノ往來チ見ル烏川ハ源チ鼻曲山ヨリ發シ碓氷、鑄神流ノ三川チ併セ東流シテ利根川ニ會ス渡良瀨川ハ朽木縣ヨリ來リ國境チ出入シ東南ニ流レテ利

根川ニ入ル

氣候 地ニ從テ一ナラスト雖ヒ概チ平地ハ暖和ニシテ人體ニ適ス酷暑ト雖ヒ華氏ノ寒暖計九十度ニ昇ルコト少ナク嚴寒モ二十五度ヲ降ラス降雪尺ニ盈ルコト甚タ稀ナリ然レヒ山地ニ至リテハ積雪或ハ丈餘ニ及ヒ夏ニ涉リテ消ヘサル處アリ

地味 概チ肥沃ナレヒ灌溉ノ利ニ乏キヲ以テ水田寡ク佐位、邑樂二郡ノ如キ桑茶ニ適シ利根、片岡、北甘樂ノ三郡ハ苧ニ宜シク吾妻、碓氷ノ二郡ハ麻ニ名アリ

道路 埼玉縣界ヨリ長野縣ニ達スル者チ中山道ト稱シ新町、倉ヶ野、高崎、板鼻、安中、松井田、坂本ノ七驛アリ鐵道東京ヨリ全通シ通行運輸頗フル便ナリ又高崎ヨリ岐レテ新潟縣ニ通スル者チ三國街道ト稱ス金古、澁川、金井、北牧、横堀、中山、塚原、下新田、今宿、布施、須川、相俣、猿ヶ京、永井ノ十四驛アリ前橋ヨリ東南ニ趨ク者チ東京道ト稱ス駒形、伊勢崎

境ノ三驛アリ此三道ヲ國道ト爲ス又前橋ヨリ駒形、伊勢崎、國定、大間々、桐生ヲ經テ栃木縣足利ニ入ル兩毛鐵道線アリ其他前橋ヨリ玉村、新町、藤岡ヲ經テ埼玉縣ニ至ル者チ八幡山道ト稱ス田口、八崎、白井、上白井、沼田、眞庭、上牧、湯原、湯檜曾ヲ過テ新潟縣ニ抵ル者チ清水越往還ト稱ス舊例幣使道ハ倉ヶ野ヨリ玉村、五料、中町、境、木崎、太田ヲ經テ栃木縣ニ出ツ此三道ヲ縣道ト爲ス

沿革 崇神天皇四十八年皇子豐城入彦尊東國ヲ統治シ玉ヒテヨリ後國府ヲ群馬郡ニ置キ子孫相繼テ上毛野君タルモノ十四世和銅元年ニ至リ改メテ國守ヲ置キ田口益人ヲ以テ之ニ任ス天長三年更ニ親王ノ任國トシ三品葛井親王ヲ以テ大守トス後源賴朝府ヲ鎌倉ニ開クニ及ヒ安達盛長ヲ以テ此國ノ守護トス元弘年間州ノ名族新田義貞勤王ノ軍ヲ起シ北條高時氏ヲ滅シ功ヲ以テ守護ニ補セラル足利氏ノ時其將上杉憲房ヲシテ守護ト稱セシメ其子憲顯ニ傳フ爾來子孫

相繼キ世々鎌倉管領ノ執事タルヲ以テ鎌倉山内ニ居リ家臣長尾氏
 ナシテ守護代トナシ群馬郡白井城ニ鎮セシム房顯ニ至リ管領足利
 成氏ニ叛キ其職ヲ篡ヒ子顯定ニ傳フ顯定綠野郡平井城ニ移ル孫憲
 政ノ時遂ニ北條康氏ニ併セラル徳川氏封ヲ關東ニ徙スノ初十六藩
 ナ配置シ後改テ麻橋、高崎、沼田、安中、吉井、小幡、七日市、伊勢崎、館林ノ九
 藩トセリ維新ノ際岩鼻縣ヲ置キ各藩ト相錯テ之ヲ治メシム尋テ九
 藩ヲ改稱シテ九縣トナシ既ニシテ又皆之ヲ廢シ更ニ群馬縣ト稱シ
 新田、山田、邑樂ノ三郡ヲ除クノ外總テ之ヲ管セシム幾クモナクシテ
 熊谷縣ヲ置キ之ニ併セ明治九年ニ至リ再ヒ群馬縣ヲ置キ以テ全州
 ナ統治セシム

物産 蠶種、繭、生絲、綿、真綿、絹、紬、太織、紗、絹、縮緬、鐵、石炭、砥石、燧石、硝石、硫黃、
 明礬、玉蜀黍、甘薯、馬鈴薯、茶、麻、藍葉、煙草、菜種、桑苗、楮皮、椎茸、年魚、鰻、鮭、鱒、
 鯉、蜂蜜等也

第三章 上野鑛泉

(一) 生井鑛泉冷

(1) 泉質 亞兒加里性碳酸泉

分析溫度未詳

固形分本泉壹千分中 〇、三八六四六

沈降性固形分 〇、〇八一四〇

酸化鐵 〇、〇七八〇〇 酸化加爾叟謨 〇、〇〇二二〇

可溶性固形分 〇、三〇五〇六

硅酸 〇、〇三〇〇〇 格魯兒 〇、一三四〇〇 硫酸 〇、〇一九九〇

加爾叟謨 〇、〇八四七〇 麻偏涅叟謨 〇、〇一二〇〇 加爾叟謨 〇、

〇一〇四〇 那篤留謨 〇、〇〇六一〇

總合炭酸

〇、一三〇〇五六

右醫科大學藥學教室ニ於テ分析定量ス

明治廿四年七月六日

右定量分析ニ依テ得タル各成分ノ量ヲ結合セシムルキハ左ノ如シ

酸化鐵〇、〇七八〇〇〇 酸化加爾叟謨〇、〇二二〇〇〇 硫酸

加爾叟謨〇、〇二七六二〇 格魯兒麻偏涅叟謨〇、〇四七五〇〇

格魯兒加爾叟謨〇、一五四〇〇〇 重炭酸加爾叟謨〇、一一八

六五〇 重炭酸加留謨〇、〇二六六六七 重炭酸那篤留謨〇、〇

二三一四〇 游離炭酸〇、〇一三六四五

此成蹟ニ依リ該鑛泉ハ此ノ如キ物質ヲ溶存及浮游スルモノト確認候也

明治廿四年七月六日

右定量分析ニ據レハ本泉ハ亞兒加里性炭酸泉ニシテ浴用並ニ服用

シ得ヘシ殊ニ慢性腸胃加荅兒消化不良、下腹充血、喉頭及咽頭ノ慢性加荅兒、婦人生殖器ノ慢性加荅兒、膀胱加多兒、貧血及ヒ痛風等ノ諸症ニ適宜内服セシメ効アル者トス又浴用セハ皮膚ヲ刺戟シ新陳代謝ヲ増進スルノ効アリ

明治廿四年七月十八日

醫科大學教授 緒 方 正 規 圃

(2) 沿革

吾カ上州ノ鑛泉ニ富メル天下ニ冠タリト雖モ其地概テ山間峻嶮ノ中ニアリテ道路交通ノ不便ナルカ爲メ往々靈泉ニ浴セサルモノ居多ナリトス誰カ之ヲ恨マサランヤ然リト雖モ天ノ與人ニ福スル豈敢テ一方ニ偏スルノ理アランヤ編者一日親友清水道三郎氏(生井鑛泉主)ヲ訪フ時ニ主人語ニ自家庭中ノ井水近比赭色ヲ呈シ復汲用スヘカヲサルニ至レリト怪ンテ之ヲ掬シ一驗スルニ反應歷然タルニ依リ主人ニ説キ

帝國醫科大學ニ請フテ水質ノ分析ヲ求メシニ果ノ伊香保ト同一ノ泉質ニシテ百病ヲ醫スルノ特功アリト驗者ノ告クルトコロ咸此ノ如シ爰ニ於テカ清水氏ハ博愛濟生ノ爲ニ資ヲ投シ浴室ヲ開キ樓閣ヲ築キ園庭運動場等ヲ新設シ之ヲ求全館ト號ケ泉名ヲ生井鑛泉ト稱シ開業セシハ實ニ明治廿四年九月初三ノ日ナリ爾後日未タ淺シト雖モ病患ヲ療スル者攝養ヲ欲スル者雲集陸續迹ヲ絶タス嗚呼誠ニ繁華熱鬧ノ地ナル前橋市内ニ於テ此ノ一大鑛泉ヲ得タルハ抑天地ノ寵貺ニ依ルト雖モ明治ノ聖代文化ノ德澤ニ依ラズンハアラサルナリ之レニ浴スルモノ豈其ノ恩惠ヲ感謝セスシテ可ナランヤ

(3) 位置

生井鑛泉ハ群馬縣廳所在ノ地前橋市字曲輪町ニ在リ中仙(日本鐵道兩毛兩鐵道集點ノ停車場ヨリ田中町ノ入口ニ在リ)十町許リ西方ニ位シ上毛新聞社ヲ右ニ左折スレハ五六十歩ニシテ左側ニ層樓ノ屹然タルヲ視ル是

レ即チ求全館ナリ地高燥ニシテ稍熱鬧ノ市街ヲ離レ殊ニ曲輪町通りノ裏町ニ屬スルカ故ニ家屋稀疎ニシテ連簷櫛比ノ厭フヘキモノナシ就中館ノ周圍ハ一町餘歩ノ廣濶ニシテ自ラ大氣ノ流通ニ適セリ浴室及ヒ樓上樓下廣狹數十ノ客室ハ清潔瀟洒他ニ其比ヲ見ス加之大小ノ鯉魚ハ前庭ノ綠池ニ游泳シ浴客ノ釣ルニ任セ且其池上ノ周圍ヲ運動場トシタルハ尤モ館主ノ注意周到ト謂フヘキナリ又樓上ニ登リテ四顧スレハ赤城榛名ノ峯巒蜿蜒トシテ東北ニ起伏シ妙義白根ノ巒岳ハ西北ニ連亘シ信ノ淺嶽遙カニ毛山青巒ノ頂キニ聳ヒ白雲杳靄ノ際ニ明滅シ眺望絶佳ナリ四時風景ノ奇觀凡筆ノ寫シ得ヘキトコロニアラス浴者登樓一望セハ胸懷曠遠ニシテ自カラ塵土ノ念ヲ消散スヘシ

(4) 氣候

夏秋ノ二季ハ和穩ニシテ冬春ニ至リテハ時々北風飄發シ俄カニ氣候ヲ變スルコトアリ然レモ極寒モ華氏ノ四十度内外ニシテ極暑モ同シク

九十度前後ナリ降霜ハ十月十日前後ヨリ三月末ニ止ル積雪ハ一尺ヨリ高カラズ降雪ノ度ハ大凡一年ニ三四回ヨリ多カラズ風ハ春ハ西又ハ北ヨリ吹キ夏ハ東ヨリ吹キ秋冬ハ北風最多ノ方位ヲ占ム

(5) 全市ノ景況

此ノ地ハ國ノ中點ニ位シ赤城榛名ノ峰巒蜿蜒トシテ西北ニ連リ利根川ハ西南ヲ環流シ東南ハ沃野千里一望際涯ナシ全市ノ幅員東西一里二十三丁南北三十一町餘之ヲ四十一ヶ町ニ分ツ戸數五千四百三十九人口三萬千三百七十三人(明治廿四年一月廿四日調)街區八達商估櫛比製糸ノ業尤モ盛ナリ銀行二繭絲紡績ノ爲メニ設ケタル會社又ハ組合製造所ト稱スルモノ二十五此ノ資本總額百八十四萬四千四百八十九圓其他諸種ノ會社製造場等一々枚舉ニ遑アラズ特ニ日本鐵道兩毛鐵道上毛馬車鐵道等ノ便アリ京濱ニ趣ク者信越ニ往ク者大凡道ヲ茲ニ取ラサルナク故ニ百貨輻輳民物歲月ヲ逐フテ繁盛ナリ實ニ此地ハ縣下唯一ノ殷賑ノ

地ナリ唯恨ム上越鐵道ノ敷設未ダ政府ノ允許ヲ得ス新瀉港ト瞬間相往來スルノ便ヲ缺クヲチ

附言 古關東ノ花ト稱セラレシ前橋ノ由來其他神社佛閣名所舊跡等ノ詳細ヲ知ラント欲セハ前橋繁昌記一本ヲ購讀セハ全幅ノ寫眞自カラ眼鏡ニ反映スヘシ

(6) 近傍勝區

東照宮 北曲輪町ニアリ松平侯前橋再築ノ際慶應年間川越ヨリ遷祠セリト明治四年養行寺ヨリ菅公ノ祠ヲ請シテ合祠シ又招魂祠アリ
境内梅櫻數百株ヲ殖エ小公園ノ趣ヲナセリ花時尤モ勝遊ナリ
境内ノ右傍ニ招魂祠碑柱野前川死事ノ碑楫取縣令功德ノ三碑アリ而メ招魂祠ノ碑ハ有栖川宮熾仁親王廐橋招魂祠記ト隸シ楫取縣令ノ文巖谷一六翁ノ書ナリ又功德碑ハ熾仁親王ノ題隸重野博士ノ文金井金洞ノ書ナリ柱野前川ノ碑ハ陸軍中將山縣伯ノ書ニシテ碑背

二 佐藤知事ノ文アリ

前橋招魂祠記

明治十年二月、西南有事、徵兵於各縣、在我群馬縣出征死事者若干人、士官則石島敬義以陸軍中尉戰死於肥後、小林言敬以陸軍少尉死於長崎病院、牧村利業爲曹長死於大坂病院、原田種一堀内鑑次郎爲軍曹死於肥後、及薩摩、關善太郎並木金三郎爲陸軍伍長死於兵庫、庫病院、田中兔毛死於本病院、小侯義方以一等小警部戰死於田原坂、小笠原光敬平井米作、松本鐵次郎以警部補戰死於木葉口、及深川村黑龜山、其他爲巡查死於戰者十五人、死於重創者四人、死於病者四人、爲步兵戰死四十八人、創死十九人、病死者三人、從二月開戰於肥後、轉入日向、踰薩摩、殊死轉鬪、遂爲異鄉鬼、其竭王事、可謂勉矣、於是縣人相議、捐金相地於麻橋城北、新建一字以爲招魂祠、歲時祭祠、欲慰答死者父兄、使親者有所興起也、乃徵余記、余承乏本縣、及羽檄至、諭管內士民、以應募、結團上途之日、送至郊外、約以戰勝再見焉、至十月王師凱旋、不還者一百二十九人矣、嗚呼、豈不戒哉、雖然、身列祠典、遺族沾恩、恤死亦有餘慶矣、今如此祠、雖本縣同貫之好、亦敵愾之氣、有足動人者、於是乎記

元老院議官前群馬縣令楫取君功得碑

今元老院議官楫取君之令予群馬縣也、勤儉以泄下、忠誠以奉上、休養民力、宣布德教、風移俗易、君已去、而士民翕然謳吟弗已、於是合辭謁余、以功德之碑爲請、且曰、上野自古稱難治、史云其民剽悍、臨事躁急、無老成持久之實、君初至、首張學政、以示教化之不可忽、而世方摸仿泰西學術、專偏於智育、加以剽悍之俗、其極或將輕舉猛進、犯上凌長之風、漸生、君病之、導以忠孝實實、痛矯其流弊、無幾朝議更革學制、以德育爲最、智育躋育次之、略如君所經畫、衆始服其先見焉、十二年學制復變、世謂之自由教育、君固執不可、既而地方教育果然解弊、君獨免其害、官亦卒復舊制、凡君之於學事、以身率先、每郡吏詣廳、必先問學事、然後及他、郡吏亦至、以其興衰爲喜戚、君又用心於農桑、謂富強之術在殖國產、縣最以養蠶稱、而繭絲輸山海外者、悉假手外人、不能自往、市易其利多爲外人所壟斷、君募縣民有才幹者、投私財助其資、航海直輪、群馬繭絲之名、頓噪海外、邦人直輪、實發端於此矣、其他設社倉、以諭蓄積之急、務獎勵醫學、以拯縣民之疾病、搜訪古蹟、以彰先哲之逸事、諸如此類、不一而足、曾過邑樂郡、大谷林者、松樹鬱茂、連亘數十町、昔時上杉氏遺臣大谷休伯所手植也、君乃自往、見其遠孫某於一陋屋中、稱以祖先功勞、旁觀者爲泣下、又言君之在任、十餘年、居常儉素、出入不駕馬車、家唯修繕舊屋耳、而居之晏如、縣民慕君如慈父母、臨去、老幼遮路乞留、送者數千人、不勝惜別之情、嗚呼、如君、真不愧古之良二千石者歟、因頌以辭、其辭曰

詩詠甘棠 千歲流芳 書揭風草 萬古斯光 振民育德 顯幽闢荒 彝倫已明
蔚起校庠 男服於耕 婦勤於織 老安少懷 既衣既食 有義有方 理平訟息
輿誦嗒々 噫是誰力 遺愛在里 何須生祠 頌美無已 茲見隆碑

明治二十三年十月

元老院議官從四位勳四等文學博士重野安繹撰

前橋十景

臨江閣 柳町ニアリ前橋紳商ノ協立ニシテ高閣巍然結構穩雅上下ノ
廣間ハ共ニ數百人ヲ入ルヘシ皇族大臣ノ來縣セラル、時率テ此ニ
投宿セラル平日ハ集會宴席ニ貸與ス榛名赤城ノ諸山閣上ニ聳ヒ呼
ヘハ應ヘントシ坂東太郎ノ白練一帶ハ閣前ニ流レ雲烟縹緲トシテ
風景超絶尤モ夏遊ニ適ス

樂水園 臨江閣ノ北風品川ニ沿フテ西山堤ヲ下ル所ニアリ亭園幽靜
詩碁小集ニ妙ナリ秋夜聽蟲ヲ以テ名アリ

敷島河原 東照祠畔ノ塘堤ヨリ瞰下ス一帶利根ノ河原ナリ大渡ヘ近
キ邊リニ數百ノ桃樹アリ花時ニハ紅霞一抹遠景殊ニ美ナリ

岩神 向町ヨリ舊澁川道廣瀨川ノ傍ラニアリ四箇ノ魁石ヲ以テ成立
ス松樹石縫ニ立ツ往時廣瀨川ハ刀根ノ本流ナリシ由其比ノ大水ニ
片石山ノ北崖崩缺シ大石押流サル此ノ岩ハ其一ナリ南崖ハ殘リシ
故片石山ノ唱ヘアリト云フ

前橋風土記ニ(貞享元年ノ著書今ヲ距ル二百八年前也)石工此石ヲ
擢カントシテ鑿ヲ加ヘタルニ石中ニ人聲アリ鑿痕ヨリ鮮血迸ル
石工手足慄ヘ目ヲ閉チテ即死セリ故ニ土人恐レテ神トシ祠リ岩
神ノ稱之レヨリ起ルト古傳斯クノ如シ

利根橋 明治十八年十二月架設長百間幅四間縣下唯一ノ長橋ナリ西
岸ハ元惣社村ニシテ高崎ヘノ往還ナリ南日本鐵道會社ノ鐵橋ト相
對スルヲ以テ之レヲ刀根ノ雙橋ト云フ

龍海院 是字寺 紅雲分ニアリ縣下曹洞宗ノ樞軸ニシテ境內東西四十
一間南北五十六間市中無比ノ大刹ナリ酒井侯歷世ノ冢塋アリ老杉
古松鬱々トシテ風致幽寂タリ是字寺ノ由來前橋繁昌記ニ詳ハシ

八幡社 連雀町ニアリ縣社ニシテ前橋市ノ總鎮守タリ祭神ハ譽田別命、相殿ハ比咩命、息長足媛命境内銀杏ノ大樹二株アリ周圍各一丈五尺餘數百年ノモノナリ上野誌ニ貞觀中在原業平ノ後裔某勸請シタリト云ヘリ

神明社 神明町ニアリ大日靈命ヲ祭ル境内石橋綠池長松聳ヒ立チ幽潔ノ佳境ナリ

雙兒山 田中町停車場ヨリ東天川ニアリ其形瓢ヲ傾シルモノニ似タリ土俗御諸別命ノ陵ナリト云ヘリ御諸別命ハ豐城入彦命四世ノ孫ナリ御諸別命ノ孫ニ現古公アリ神后皇后ノ御宇矢田部ノ姓ヲ賜フ今矢田ノ字アリ蓋シ往時其ノ邸地ニシテ陵墓タリシ又想フベシ

前橋十景ノ歌

臨江閣晚涼

從三位 揖取素彦

水の上に殿つくりせる心ちしていよすにかよう刀禰の夕風

公園櫻花

從五位 鈴木重嶺

此そのに櫻を見にと來し人のちれども散らぬ花の夕はえ

刀根雙橋

正三位 卿 純造

ひらけ行ふたつの橋のさま見れば四つのみ民のにきはひそしる

岩神飛石

正三位 林 信之

はねなくて飛きたりたる此いし神のちけたるつふてあるらん

敷島歸雁

少教正 松の門の艸子

朝またき露へたて、敷しまのかはらをかへるかりのつら

神明夜雨

東京藝妓 小まん

廣前の松のあらしも音たへてもの靜なる夜半の村雨

八幡雪景

東京 小原秀吉

廣前の神のともし火かゝやきてひかりいやます雪の夜半哉

是寺晚鐘

全 櫻井敬長

是やこのみてらのやまの老まつこのまにひく入相のかね

孖山秋月 仙台宮村清愼

曇りかく澄む月影の玉くしけ二子の山の鏡とを見る

樂水園聽虫 東京金井明善

さく度に嬉しくも有園の内に君か千とせを松虫の鳴

煤の井 榎町ニアリ名所ナルモ今ハ知ル人稀ナリ行妙ノ歌ニ

袖ことに香をとめて汲め名に高き群馬の里の梅乃井の水

比刀禰川 前橋字堅町ト細ケ澤ノ間チ流レ群馬勢多ノ郡界トスト上

野名跡志ニ見ユ廣瀨川ノコナラン今ノ利根川ハ應永ノ變流ニテ廣

瀨川ハ古利根ナリ

夫木集

讀人志らす

都よりかへりくるまの里人はひとねの川をわたらさるらん

護國靈驗惣社大明神 利根川ノ西元惣社村西群馬郡ニアリ安閑天皇甲寅

年三月十五日鎮座祭神ハ盤筒男命ニシテ上野五百四十九社ノ惣社ナリ

光巖寺 西群馬郡惣社町ニアリ有名ノ古刹ナリ秋元侯ノ菩提所ナリ傍ラニ當

國臨御ノ王族豊城入彦命彦狭島王等ヲ葬リシ石室アリ其他古跡多シ

此ノ他著名ノモノ多シ开ハ前橋繁昌記ニ譲リ唯タ其ノ名ノミチ舉ケテ彙トス

天野ノ藤 細ケ澤ノ藤 古石垣 雙兒山フタゴ 石棺山カゴツツ 女溝メナ 彈正林

(7) 名物

生糸、鯉、鱒、鮭、鮎、島屋饅頭桑町、住吉屋饅頭片原、十景打物
横山町、十景煎餅横山町、敷島河原煎餅富貴堂、養蠶こし全
龜命堂、大和團扇

(二) 藥師鑛泉冷

(1) 泉質鹽類泉

分析 溫度攝氏五十三度
華氏五十五度

游離炭酸	痕跡	硫酸	大量
磷酸	痕跡	硅酸	痕跡
格魯兒	少量	鐵	少量
石灰	大量	麻偏涅矢亞	少量
礬土	痕跡	加留母	痕跡
那篤留母	少量	有機物	痕跡

固形物總量〇、五五〇

(2) 効能

腺病性慢性諸潰瘍

腺病性慢性諸皮膚病

慢性關節僂麻質私

頑癬

疥癬

(以上外浴)

(3) 沿革

發見年度詳カナラス明治十八年三月佐位郡太田村田邊穹次郎鑛泉規
則ニヨリ縣廳ノ許可ヲ得テ營業ス交通便利ノ爲メ浴客多シ

(4) 位置氣候

太田ハ佐位郡ノ西隅ニ位シ兩毛鐵道ノ停車場駒形伊勢崎間ノ北部ニ
アリ伊勢崎ヨリ僅カニ二十町地勢平坦土壤肥沃ニシテ地味最モ桑ニ
適ス氣候ハ前橋市ト異ナラス

(5) 近傍勝區

伊勢崎町 酒井侯ノ舊城市ニシテ郡中ノ一市邑タリ伊勢崎太織綿ノ
名江湖ニ顯著ナリ年々百萬圓以上ヲ產出ス織物會社ハ舊城址赤石
ニアリ

連取ノ笠松 那波郡連取村菅原神社ノ境内ニアリ鑛泉地ト接近ス其
狀傘ニ髣髴^{ホツフツ}タリ兩幹ニシテ高サ丈餘南北十有餘間東西二十有餘間
アリ享保年中裁ユル所ト云フ

(三) 岩理鑛泉 冷藪原ノ湯

(7) 泉質單純冷泉

分析表温度 攝氏十五度
華氏六十度

無色透明無臭無味ナリ反應ハ亞兒加里性ニシテ一リートル中含
有スル所ノ各成分及其量左ノ如シ

- 炭酸那篤榴母 〇、一五四一 炭酸加爾叟母 〇、〇〇七八〇
- 炭酸加榴母 〇、〇八六五 炭酸麻偏涅叟母 痕 跡
- 硫酸那篤榴母 〇、〇〇五一 酸化鐵 〇、〇〇三一五
- 硅酸 〇、〇〇五七〇

固形物總量 〇、二五八六六 外游離炭酸 〇、〇七九六九

(2) 効能未詳

俗間効能

濕瘡 疥癬 小瘡 黴毒 疝氣 脚氣 痔

(3) 治革

發見沿革詳カナラス明治十八年ヨリ新田郡藪塚村百八十六番地今井
喜三郎外壹名許可ヲ得テ營業スルモノナリ

(4) 位置氣候

新田郡ノ北藪塚村字湯ノ入ニアリ伊勢崎停車場ヲ距ル三里三十町地
勢岡巒東北ヲ擁シ西南ハ平坦ニシテ土地沃饒灌溉頗フル便ナリ古へ
此邊ヲ笠懸野ト稱ス元弘中新田義貞始メテ義兵ヲ市野井村生品神社
ノ祠前ニ舉ケ笠懸野ニ打出タリト云フ實ニ本郡ハ縣下著名ノ舊跡地
ニシテ近クハ高山彦九郎正之ノ如キ名士ノ出ツルアリ氣候ハ四時寒

暖度ニ適ス

(5) 近傍勝區

阿佐美沼 泉地ノ北隣阿佐美村ノ北ニアリ廣袤凡ソ五町餘沼北ノ國

瑞寺黄蘗宗ニ岡登景能ノ墓アリ景能ハ郡ノ代官ニシテ笠懸野ヲ開墾

セシ人ナリ

金山 郡東ニ孤立シテ高サ百餘丈全山松樹鬱蒼トシテ風光最モ瀟洒

ニシテ松茸ヲ以テ名アリ其巔ハ即チ新田氏城址ニシテ今尙古井壘

礎ヲ存ス明治六年此地ニ一社ヲ建設シ新田神社(縣社兼)ト稱シ左中

將ヲ祠ル側ラニ小祠アリ御嶽神社ト稱ス

天神山 御嶽神社ノ東南ニシテ高山神社縣社アリ高山正之ヲ祀ルトコ

ロナリ正之ハ同郡細谷村ノ人ニシテ彦九郎ト稱ス慨慷ニシテ大節

アリ夙ニ皇運ノ衰頽ヲ歎キ天下ヲ跋涉シテ密カニ志士ヲ鼓舞ス明

治十一年之ヲ追賞シテ正四位ヲ贈リ社宇建立ノ資金ヲ賜フ

太田町 金山ノ南麓ニアリテ郡中第一般賑ノ市街ナリ町ノ西北ニ寺

アリ大光院ト云フ縣下ノ一大梵宇ニシテ開山ヲ吞龍上人ト云フ新

田義重ノ墓アリ

生品神社 市野井村ニアリ新田義貞此ノ祠前ニ於テ義旗ヲ舉ケシ名

跡ナリ

世良田 郡南ニアリテ利根川ニ瀕ス二社アリ一チ八阪神社一チ東照

宮ト稱ス後水尾天皇ノ勅額及徳川家康幼時ノ甲冑ヲ藏ス村南ニ長

樂寺アリ天台宗著名ノ精舎ニシテ叢林幽邃堂塔輪奐ノ美ヲ極ム其什

寶中鎌倉以來ノ古文書多シ村西ニ總持寺眞言宗アリ寺域ハ即チ新田

義重ノ館址ナリ

徳川郷 世良田ノ東南ニ隣ル一聚落ナリ新田義季此地ニ居リ始メテ

以テ氏ト爲スト云フ又滿徳寺ト云フ著名ノ古刹アリ

躑躅ヶ岡 太田町ノ東南ヲ距ル四里九丁邑樂郡館林町ノ東半里羽附ハネツク

村ニアリ館林ノ城沼ニ沿ヒ小阜ヲ爲ス阜上皆躑躅樹ニシテ大サ丈餘千有餘年ノ長幹豐株ヲ以テ其名遠邇ニ聞ユ花時薫風爛漫沼水ニ映シ一奇觀トス近時都人士ノ杖ヲ曳テ此地ニ來遊スルモノ年ヲ逐フテ多シ里人云フ享保ノ頃大袋城主赤井照光之ヲ裁シテ園池ヲ粧點ス爾後館林城主ノ芳園ニ屬ス上野志ニ云德川綱吉館林ヲ領スル時日光山ヨリ躑躅ヲ移栽ス又云新田郡金山ヨリ致スト其說里傳ト異ル

(四) 入長岡鑛泉冷

(1) 泉質 鹽類泉

分析 温度 未詳

本泉ハ無色澄明ニシテ微シク硫化水素臭アリ味ヒ微甘灰汁様其反應ハ弱亞爾加里性ヲ呈スレ共煮熬スレハ氣泡ヲ發揚シ白濁シ

テ其亞爾加里性反應ヲ強ム異重八十五度ノ温ニ於テ一、〇〇一ニ居ル泉源ニ就テ本泉含有ノ炭酸量ヲ計測セルニ氣壓七百五密迷氣温十九度ニ於ケル泉水一リートル中ノ瓦蘭謨量左ノ如シ

全ク結合セル炭酸 〇、二一一 半結合セル炭酸 〇、二一一

游離炭酸 〇、〇〇四 總計 〇、四二六

又本水一リートル中固形物總量ハ〇、八八八瓦蘭謨(百八十度ノ熱ニテ乾燥シ秤量セ)ナリ而シテ所含ノ主成分及其量左ノ如シ

本泉一リートル中ニ檢出セル成分ノ瓦蘭謨量

格魯兒	〇、一〇六五	硫酸	〇、〇五八四
加里	〇、〇三八九	硅酸	〇、〇七五〇
苦土	〇、〇〇五二	那篤倫	〇、三五六六
磷酸	痕跡	石灰	〇、〇三九〇
酸化鐵	〇、〇〇八〇	礬土	〇、〇〇二〇

硫化水素

痕跡

右檢出セル各成分ヲ化學上ノ原則ニ照シ各互ニ相抱合セシムレ
ハ左ノ如シ本水一リートル中ニ含有セル鹽類ノ瓦蘭謨量

硫酸加里

〇、〇五九

硫酸石灰

〇、〇九四七

鹽化那篤留謨

〇、一三一四

鹽化加留謨

〇、〇五六四

重碳酸那篤倫

〇、七七七五

重碳酸苦土

〇、〇一九〇

重碳酸亞酸化鐵

〇、〇一七八

礬土

〇、〇〇二〇

珪酸

〇、〇七五〇

磷酸

痕跡

硫化水素

痕跡

遊離炭酸

〇、〇〇四〇

總計

一、一八三七

(2) 効能

以上定量分析ノ成績ニヨレハ此冷鑛泉ハ鑛泉分類上弱亞爾加里
泉ニ屬ス依テ左ニ該泉ニ普通ノ醫治効用ノ大略ヲ掲ク本泉ハ制

酸緩和ノ効アリテ慢性胃腸加答爾、蜜尿病、肥胖病等ニ内用スレハ
多少効アルヘシ又浴用ハ左ノ症ニ適スルモノトス

痛風 蜜尿病 婦人生殖器ノ慢性加答爾 喉頭及咽頭ノ慢性
加答爾及慢性氣管支加答爾、肝充血及膽石

(3) 沿革

開基未タ詳カナラス新田郡西長岡村字入長岡村ノ山麓ニアリ地下丈
餘ノ岩理ヨリ湧出ス明治廿一年十一月同郡山之神村八番地小川喜太
郎許可ヲ得テ營業ス

(4) 位置氣候

(三) 岩理鑛泉ノ隣邑ニシテ地勢氣候異ナルナシ

(五) 桐生新町鑛泉冷

(1) 泉質弱鹽類泉

分析 温度 未詳

本泉ハ殆ント無色臭透明ノ液ニシテ極メテ弱キ亞爾加里性反應ヲ呈ス比重ハ一、〇〇一三七ニ居ル(攝氏十七度ノ温ニ於テ)而シテ該泉ノ一リートル中蒸發殘渣一、〇三グラムニシテ右蒸發殘渣中含有成分ノ多寡ノ比例ヲ舉クレハ左ノ如シ

格魯兒	多量	曹達	多量
炭酸	少量	石灰	少量
硫酸	少量	苦土	少量
鐵及礬土	僅微	硅酸	僅微
磷酸	痕跡	加里	痕跡
(2) 效能			

慢性癩麻質斯

神經麻痺

婦人生殖器諸病

慢性胃腸加答兒

(以上外浴)

(3) 沿革

開基詳カナラス明治二十年十二月山田郡桐生新町北澄國藏許可ヲ得テ營業ス鑛泉モ亦々同町ニアリ

(4) 位置氣候

桐生町ハ山田郡ノ中央ニアル小都會ニシテ人煙稠密諸般ノ織物ヲ産ス上州絹ノ名四方ニ高シ兩毛線ノ停車場アリ伊勢崎停車場ヨリ五里八町地勢南北高陵ニシテ東西ニ開キ渡良瀨川ノ流ヲ帶ヒ氣候ハ稍々平温ナリ

(5) 近傍勝區

日本織物會社 桐生町ニ有リ其工場ノ壯大器械ノ整備觀ルヘキナリ大間々町 桐生町ヨリ西一里三十二町兩毛鐵道線ノ停車場アリ繁華ノ地ナリ町ノ東北ニ古社アリ神明神社郷ト云フ

久方城墟 上久方村ニアリ桐生親綱ノ據リシ所タリ

(六) 友成之鑛泉冷

(1) 泉質單純泉

分析 温度未詳

此鑛泉ハ微濁無臭味ニシテ「ラクムス」丁幾ニ弱アルカリ性反應ヲ呈ス而シテ本泉一リートル中含有セル固形物全量〇・二五「グラム」ニシテ右固形物中含有セル各成分ノ量左ノ如シ

鹽素	少量	炭酸	少量
亞爾加里	少量	石灰	多量
苦土	中量	磷酸	痕跡

(2) 効能

胃弱〇消化不良〇貧血症〇肝臟病習慣便秘以上内服慢性皮膚病〇慢性痺麻質私〇(以上外浴)子宮機能變常即チ月經不調〇白帶下〇神經痛(以上内服外浴)

(3) 沿革

發見沿革詳カナラス南勢多郡深津村猪熊猪太郎外壹名ニテ營業ス

(4) 位置氣候

南勢多郡ノ南端佐位郡ノ境ニアル深津村ニアリ大胡町チ距ル一里餘ノ東ニ位シ伊勢崎大間々等ノ停車場ニ至ル甚タ遠カラス氣候モ稍平順ニシテ近傍七ツ石等ノ勝地アリ

(七) 樽下鑛泉温

(1) 泉質 炭酸泉

分析 温度攝氏二十度
華氏六十八度

重碳酸加爾基

大量

重碳酸麻侷涅矢亞

大量

南勢多郡 樽下

硫酸麻樞涅矢亞	大量	格魯兒那篤留母	大量
重碳酸亞酸化鐵	少量	珪酸	痕跡
碳酸亞爾加里	痕跡	游離炭酸	大量
固形物總量	一、四四〇		

(2) 効能

慢性皮膚病○腺病○神經病○慢性氣管支加答爾(以上外浴)慢性胃加答爾○頑固便秘(以上内服外浴)

(3) 沿革

發見年度未詳營業人ハ南勢多郡宿廻村十三番地深津五一ニシテ明治十八年六月鑛泉規則ニ依リ許可ヲ得タリ

(4) 位置氣候

此地ハ南勢多郡ノ東部渡良瀬川ニ接シタル宿廻村字樽下ニアリ大間々々停車場ヨリ僅カニ一里廿二丁前橋ヨリ七里十六町地勢山間ニ位シ

氣候ハ夏時冷涼ニシテ尤モ避暑ニ適ス

(5) 近傍勝區

黒檜山 駒ヶ嶽等北ニ屹立シ幽邃勝遊ノ地多シ

(八) 廣萱鑛泉温

(1) 泉質 炭酸泉

分析 温度 攝氏十九度 華氏六十七度

本泉ハ無色殆ント清澄微ク滋味ヲ帶ヒ黃褐色ノ沈澱多量ヲ有シ其量容器ニ因テ甚シク多少アリ今混同濾過シテ後チ濾液ニ就キ検査シタル成績左ノ如シ

本水ハ反應殆ント中性ニシテ其煮沸セシモノハ弱亞爾加里性ヲ呈セリ本水一リートル中ニ固形物總量及成分左ノ如シ

固形物總量 (攝氏百八十度ニ乾燥セルモノ) 〇、八八四〇 硫酸加爾謨 〇、〇一二六

重碳酸加留謨 ○、〇〇三七 格魯爾那篤留謨 ○、一一七〇

重碳酸那篤留謨 ○、三八三一 重碳酸加爾叟謨 ○、三三八八

重碳酸麻偏涅叟謨 ○、〇〇一〇 硅酸 ○、〇六六二

滿俺 痕跡 磷酸 痕跡

硼酸 痕跡 貌羅謨 痕跡

沃度 痕跡 有機物 痕跡

游離炭酸 ○、一九〇六

右ノ成績ニヨレハ本水ハ亞爾加里性炭酸泉ニ類スト雖モ惜哉遊離炭酸ノ含量少ナキヲ以テ卒ニ同泉ノ名稱ヲ下シ難キモノトス但炭酸ノ含量ハ泉源ニ就テ検査スレハ之ヨリ多カルヘシ又本年八月^(廿二)検査セシモノト固形物總量及格魯爾ノ含量等ニ一致セサル處アレハ時期或ハ採酌場所ノ異ナルニ因テ差異アルモノナルヘシ

(2) 効能

本泉ノ醫治効用ハ普通左ノ如シ

慢性胃加答爾

慢性腸加答爾 慢性氣管支加答爾 尿道膀胱及腎盂ノ加答爾

婦人生殖器ノ慢性加答爾 痛風 蜜尿病 腺病

(3) 沿革

發見年月詳カナラス南勢多郡高泉村字廣萱ヨリ湧出ス明治二十二年十一月二十日同郡新里村大字鶴ヶ谷村峯岸良輔許可ヲ得テ營業ス而ノ本泉ハ赤城山湯ノ澤鑛泉ト同質ナレモ含有物稍々少シ

(4) 位置氣候

(七)樽下鑛泉ノ左傍黒檜山ノ山麓ニアリ地勢ハ海面ヲ拔ク一凡ソ千四百十尺ニシテ他ハ樽下鑛泉ニ同シ

(九) 鹿之澤鑛泉

(1) 泉質 弱鹽類泉

分析 (温度未詳)

炭酸 少量 鹽素 最多量

硫酸 少量 硅酸 少量

石灰 中量 鐵 少量

礬土 少量 苦土 少量

亞爾加里 中量 磷酸 痕跡

固形物總量 一、四九四

(2) 効能

慢性癩麻質私○痛風○神經亢奮ノ諸症○婦人生殖器病○重病
後ノ恢復期(以上外浴)

(3) 沿革

發見沿革不詳南勢多郡之物澤村櫻井映外壹名ノ出願ニテ明治二十年
六月鑛泉規則ニヨリ許可ヲ得テ營業ス

(4) 位置氣候

赤城山ノ南麓ニアリ地勢ハ東北西ノ三面皆ナ山ニシテ南ノ一方稍平
地ニ屬ス大胡町ヲ距ル一二里餘湯ノ澤鑛泉ニ至ルノ途次ナリ

(5) 近傍勝區

赤城神社 大巳貴神、豐城入彦神ヲ祀ル社境幽邃林泉清絶ニシテ眺望
頗ル佳ナリ

(十) 赤城山湯ノ澤鑛泉温

(1) 泉質 炭酸泉

分析 温度 攝氏三十一度五
華氏八十九度五

本泉ハ左ノ諸成分ヲ有ス

重碳酸加爾基 大量

重碳酸麻偏涅矢亞 全

硫酸麻偏涅矢亞 全

格魯爾那篤留母 全

重碳酸亞酸化鐵 少量

硅酸 全

碳酸亞爾加里 痕跡

游離炭酸 大量

固形分總量 一、六八一

(2) 主治

慢性氣管支加答爾○全喉頭痛○全腺病○硬結腫○慢性癩麻質
斯○全頑固潰瘍○全諸皮膚病○疝痛○慣習便秘○脚氣○婦人

帶下○月經痛○打撲

(3) 沿革

發見年度未詳ナリト雖モ近來發見シタルモノニアラス往時浴湯客室
等壯大ノ建設アリシモ祝融ノ災ニ罹リタルヨリ爾來數年ノ間稍衰頽
ヲ來セシモ明治十八年三月南勢多郡苗ヶ島ノ豪農東宮六郎治ト外壹
名ニテ新タニ浴湯ヲ開キシヨリ年々浴客ヲ増シ殆ント舊ニ倍スト云
フ

(4) 位置氣候

南勢多郡苗ヶ島地内赤城山荒山嶽ノ東麓ニアリ菽澤温泉ヲ距ル僅壹
里餘ニ過キス地勢海面ヲ抜クコト二千三百四十尺四面山又山ノ溪間ニ
位シ鍋割荒山ノ二嶽ハ前面ヲ蔽ヒ直徑數百步ニシテ達ス又々神庫嶽
ハ後背ニ聳ヒ風光明媚ノ一仙境ト稱スヘシ幽雅ヲ好ムノ士一遊セハ
自カラ俗塵ヲ消散スルニ足ラン氣候盛夏ノ候ト雖モ炎熱ニ苦シムコト

ナク朝夕ハ尤モ冷涼恰モ晩秋ノ如シ

(5) 近傍勝區

赤城山 黒檜、地藏、鍋割、鈴ヶ嶽等ノ總稱ニシテ其頂ニ大小二ツノ沼アリ風光奇絶、拾遺、新勅撰共ニ載スル所ノ石垣沼是レナリ南腹ニ赤城神社及牛馬二牧場アリ敦盛草、熊谷草等ノ珍草奇花多シ

夫木集上野

鎌倉右大臣

上つけの勢田の赤城のからやしろやまどにいかて跡をたれけん

拾遺戀

人 丸

おく山の石垣沼のみこもりこひやわたらんあふよしをなみ

(六) 不動鑛泉温

(1) 泉質 鹽類泉

分析 温度 攝氏六十八度 華氏六十五度

游離炭酸	少量	重炭酸石灰	少量
硫酸石炭	少量	格魯兒那篤留母	少量
磷酸	痕跡	有機物	痕跡

固形物總量 〇、五一

(2) 効能

慢性胃腸加多兒○肝臟病○月經不順○慢性子宮加多兒○經久
儂麻質斯○慢性皮膚病(以上外浴)

(3) 沿革

發見年度未詳南勢多郡二ノ宮村六十九番地井野久平十九年八月許可
ヲ得テ營業ス

(4) 位置氣候

赤城山湯ノ澤鑛泉ノ東字瀧澤ニ在リ地勢氣候又湯ノ澤ト相似タリ故
ニ詳記セス

(5) 近傍勝區

瀧澤不動 巖窟ノ中ニ堂塔ヲ建設シタルモノニシテ往古ノ建築ニ係ルモノナラン不動ノ瀧ハ堂ノ背後三四丁許リノ所ニアリ高サ十餘丈石垣沼ノ水流墜シテ瀑布トナリ水烟飛散近クヘカラス甚タ壯觀ナリ

(三) 老上鑛泉温一名湯川原ト云フ

(1) 泉質硫黃泉

分析 温度攝氏四十五度
華氏百十三度

硫化水素

少量

硫酸石灰

大量

格魯兒那篤留母

大量

礬土

痕跡

鐵

痕跡

珪酸

痕跡

有機物

痕跡

固形物總量

〇、五七

(2) 効能

慢性皮膚疹

遲鈍性潰瘍

慢性鑛屬中毒

慢性癩麻質私(以上外

浴)

(3) 沿革

發見年度詳カナラサルモ古老ノ傳フル處ニ依レハ大洞二年ノ比ナリト云フ明治十八年老神村小尾金平出願許可ヲ得テ營業ス

(4) 位置氣候

利根郡老神村字湯ノ上ニアリ海面ヲ抜ク凡ソ一千五百八十尺地勢ハ郡ノ南部大原新町ノ東片品川ノ北岸ニアリ沼田町ヨリ四里餘會津街道ニ屬ス氣候ハ四面山ヲ擁スルヲ以テ三伏ノ候尙ホ清涼ナリ

(5) 近傍勝區

猪ノ鼻瀑 追具村ノ上流ニアリ絶壁ノ上ヨリ瀉キ直下三十丈幅四丈

餘アリ水聲雷霆ノ如ク山壑ヲ震掉ス縣下瀑布多シト雖モ其巨大ナル此ノ右ニ出ツルモノナシ

(三) 川場鑛泉温一名脚氣湯

源泉三所

(1) 泉質硫黃泉

分析 温度攝氏三十九度
華氏百〇二度

無色透明無臭無味ナリ反應ハ中性ニシテ一リートル中含有スル所ノ各分量ハ左ノ如シ

格魯兒	痕跡	硫酸	痕跡
磷酸	痕跡	硅酸	痕跡
鐵	痕跡	礬土	痕跡
加兒基	痕跡	安謨尼亞	痕跡

那篤倫

著明

加里

著明

固形物總量

〇・二

(2)ノ1 効能 但四百四十四番地湧出分

慢性皮膚病

慢性鑛屬中毒

筋痿麻質私

(以上外浴)

(2)ノ2 効能 但四百五十二番地湧出分

疥癬

煤毒性潰瘍脚氣浴間効能

(以上外浴)

(3) 沿革

發見年度詳カナラズ里俗弘法大師ノ加持ノ湯ト稱シ(近來脚氣ノ湯トモ云フ)數百年前ノ發見ニ係ルモノタルヤ疑ヒナシ泉源ニ弘法大師源右府公ノ兩像ヲ安置ス明治十八年川場村角田安太郎外九名ヨリ出願許可ヲ經テ營業ス而シテ浴場客室等モ壯大トナリ逐年浴者ノ増加ヲ見ル

(4) 位置氣候

利根郡沼田町ノ東北三里川場湯原村ニアリ地勢ハ海面ヲ抜クコト一千九百八十尺四面圍繞スルニ峯巒ヲ以テシ眺望頗フル明媚ナリ近來沼田ヨリ馬車ヲ通シ交通甚タ便ナリ氣候ハ夏季清涼ニシテ冬時ハ稍々高寒ナリ

(5) 近傍勝區

沼田町 土岐侯ノ城址ニシテ郡中第一ノ市街ナリ此ノ地方養蠶ヲ以テ名アリ

戸鹿野橋 戸鹿野新町ニアリ支柱ナク南岸ヨリ石ヲ疊テ之ヲ起ス構造堅牢長虹ノ空ニ横ハル如ク風色奇絶ナリ

迦葉山 ハ三峯山ニ隣ル名山ニシテ屹立百二十丈眺望極メテ絶佳ナリ山腹ニ寺アリ龍華院曹洞宗ト稱ス葛原親王ノ創立スル所ナリ

(6) 物産

蠶種 繭 生絲 麻布 香魚 砥石 櫻石(川場湯原ノ新田大倉關村ナリ青質白理文羅穀ノ如シ幕府ノ比) 猫目石等ノ奇石アリ咸ナ硯材ナリ

(六) 赤澤鑛泉温

(1) 泉質硫黄泉

分析 温度 攝氏四十二度 華氏百〇七度

硫酸石灰	大量	格魯兒那篤留母	大量
硫化水素	少量	硫酸曹達	少量
游離炭酸	痕跡	重碳酸石灰	痕跡
重碳酸麻佃涅矢亞	痕跡	重碳酸亞酸化鎂	痕跡
加里	痕跡	礬土	痕跡
硅酸	痕跡		

固形物總量 ○、五七五

(2) 効能

慢性皮膚病 慢性癩麻質私

慢性鑛屬中毒

(以上外浴)

(3) 沿革

發見年度不詳利根郡小川村嘉四郎外一名ニテ營業ス

(4) 位置氣候

此ノ地ハ利根郡ノ西部小川村字赤澤ニアリ地勢ハ海面ヲ拔クコト二千
百五十尺西ニ大峯山ヲ擁シ東ニ利根川ノ流ヲ帶ヒ清水越街道上牧下
牧ノ對岸ニ位シ赤谷富士三ツ峯ノ青巒アリ此邊總テ風光ニ富ミ眺望
頗フル佳ナリ氣候ハ稍々高寒ニシテ夏時避暑ニハ尤モ適ス

利根川ノ古歌

新勅撰 神祇撰 笹わけは袖こそやれめ利根川の石ハふむともいさかはら

より 橋 仲 遠

古今 六帖 利根川の底は濁りてうは澄てあまけるものをさねてくやく
夫木 利根川の河原をゆけは小夜千島いしふむ道をおちかへりかく
大僧正公朝

(十五) 根子瀧鑛泉温

(1) 泉質 硫黄泉

分析 温度 攝氏三十八度 華氏九十八度

諸成分ハ(十四)ノ赤澤鑛泉ニ同シ

固形物總量 ○、八四五

(2) 効能

前全斷

(3) 沿革

不詳東小川村千明常松ノ營業スルトコロナリ

(4) 位置氣候

(十四)ノ赤澤鑛泉ト同村字根子ニアリ地勢ハ海面ヨリ高キヲ四千六百五十尺其他赤澤鑛泉ニ同シ

(其) 谷川鑛泉温

源泉二所

(1) 泉質 鹽類泉

分析 温度 攝氏五十六度五
華氏百三十六度五

無色透明無臭無味ナリ其反應ハ亞兒加里性ニシテ一リートル中ニ含有スル所ノ各成分及量左ノ如シ

格魯兒

少量

硫酸

少量

磷酸

痕跡

硅酸

少量

加爾基

多量

安謨尼亞

痕跡

那篤倫

著明

加里

著明

固形物總量

〇、九六

(2) 効能

慢性皮膚疹○遲鈍性潰瘍○腺病及煤毒○慢性鑛屬中毒 (以上外浴)

(3) 沿革

康曆年間ノ發見ニシテ明治十八年ヨリ谷川村田村總吉營業ス

(4) 位置氣候

利根郡谷川村字湯向ト稱スル所ニアリ清水越街道湯原村ニ接近ス此地海面ヨリ高キヲ二千〇十八尺地勢氣候共ニ十四ノ赤澤鑛泉ト大差ナシ

(七) 湯原鑛泉温

(1) 泉質 鹽類泉 原泉三ヶ所

分析 温度 攝氏五十一度
華氏百三十一度

無色透明無臭無味ナリ其反應ハ中性ニシテ一リートル中含有ス
ル所ノ各成分及量左ノ如シ

硫化水素 痕跡 硫酸石灰 大量

食鹽 大量 硫酸麻僣涅叟亞 痕跡

鐵 痕跡 礬土 痕跡

硅酸 痕跡 有機物 痕跡

固形物總量 一、八六〇九

(2) 効能 未定

俗間効能

梅毒〇疝氣〇濕疹〇寸白

(3) 沿革

發見年月詳カナラス利根郡湯原村利根川ノ涯岩石ノ隙ヨリ湧出ス源
泉三所アリ道路清水越新道ニ屬スルヲ以テ往還ノ旅客浴スル者其數
ヲ知ラス他日上越鐵道ノ布設アラハ大イニ繁盛ヲ來タスナラン

(4) 位置氣候

(十六) 谷川鑛泉ト大差ナシ而ノ此邊凡テ山川秀美ナリ

(六) 穴原鑛泉温

(1) 泉質 硫黃泉

分析 温度 攝氏四十五度
華氏百十四度

硫化水素 少量 硫酸石灰 大量

格魯兒那篤留母 大量

礬土

痕跡

鐵 痕跡

硅酸

痕跡

有機物 痕跡

固形物總量

〇、五一九

(2) 効能未定

俗間効能

黴毒〇濕瘡〇疝氣〇寸白〇五感虫〇金瘡〇溜飲〇婦人血ノ道

痔〇諸腫物

(3) 沿革

發見年度未詳利根郡穴原村片品川ノ傍ヨリ湧出ス道路交通不便ノ爲
ノカ未タ甚タ盛ンナラス

(4) 位置氣候

此地ハ郡西清水越道ノ左傍ニシテ(十六)谷川鑛泉ノ右湯原ト湯檜曾ノ
間ニアリ海面ヲ抜クヲ千五百八十尺地勢氣候共ニ谷川鑛泉ニ異ナル
コトナシ

(五) 湯檜曾鑛泉温

(1) 泉質 鹽類泉

分析 温度 攝氏六十六度五
華氏百五十二度

無色透明無臭無味ナリ反應ハ亞兒加里性ニシテ其ノ一リートル中
各成分及量左ノ如シ

硫化水素 痕跡 硫酸石灰 大量

食鹽 少量 硫酸麻偏涅叟亞 痕跡

硫酸礬土 少量 加里 痕跡

鐵 痕跡 硅酸 痕跡

有機物

痕跡

固形物總量

〇、五七

(2) 効能未定

俗間効能

疝氣〇寸白〇脚氣

(3) 沿革未詳

(4) 位置氣候

(十七)湯原鑛泉ニ同シ位置高低氣候又同シ湯原ヨリ清水新道ニ倚ル
二里ナリ

附言 以上(十七)(十八)(十九)ノ三鑛泉ハ未ダ定量分析ヲ經ス且ツ
普通ノ溫泉營業ニシテ鑛泉營業規則ニ據リシモノニアラス然
レモ他日大イニ隆盛ニ赴クノ期アルヘシ

(三) 寶川鑛泉温

(1) 泉質 炭酸泉

分析 温度 攝氏五十五度
華氏百三十二度

本泉ハ無色澄明ニシテ臭氣ナク反應ハ弱亞爾加里性ヲ呈ス異重
ハ攝氏十五度ノ温ニ於テ一、〇〇一一ニ居ル而シテ本泉「リートル」
中ニ含有セル固形物ノ總量ハ〇、八三瓦蘭謨ニシテ其各成分多寡
ノ比例ハ左ノ如シ

格魯兒	最多量	亞兒加里	最多量
硫酸	多量	石灰	多量
鐵及礬土	僅微	硅酸	少量
磷酸	痕跡		

(2) 効能未定

俗間効能

疝氣〇留飲〇喘咳〇逆上〇打撲〇喘癢〇寸白〇脚氣〇婦人血

ノ道○寐冷○眼病○火傷○蛇毒○犬毒○金瘡○疥癬○瘡毒○
諸腫物

(3) 沿革

發見年月未詳利根郡藤原村中村染次郎ノ營業スル鑛泉ナリ

(4) 位置氣候

本地ハ利根郡ノ北ニ位シ利根ノ水源ト寶川ノ合流スルトコロニ接シ
タル藤原村字奈良平ニ湧出ス此地海面ヲ抜ク千六百八十尺峻嶺四
疆ニ峙テ地勢高寒ニシテ山谷ニ至リテハ四時積雪絶ヘス小烏帽子山
朝日嶽大烏帽子山大水上山駒子岳駒ヶ嶽(越後界ニアリ越後ノ諸山北ニハ白澤嶽ト云フ)
東ニ起伏蟠延シ越後ノ境界ヲナス又武尊山ホヌカ迦葉山東南ニアリ武尊山
ニ日本武尊ノ祀及ヒ銅像ヲ安置セリ

(廿一) 湯島鑛泉温

(I) 泉質 鹽類泉

分析 温度 攝氏五十九度
華氏百三十七度

無色透明無臭無味ナリ其反應ハ稍強亞兒加里性ニシテ一リト
ル中含有スル所ノ各成分及量左ノ如シ

重碳酸鹽	少量	格魯兒	多量
硫酸	少量	磷酸	痕跡
硅酸	少量	鎂	痕跡
礬土	痕跡	加爾基	最多量
麻倔涅矢亞	少量	那篤倫	著明
加里	痕跡		

固形物總量

〇、一七九六

(2) 効能

慢性皮膚病 頑癬 疥癬 癩瘡 癩風ノ類 ○遲鈍性潰瘍 ○慢性氣管支加答爾 ○腺病 ○子宮及腔ノ加答兒(以上外浴)

(3) 沿革

發見年月未詳猿ヶ京村田村源次郎外十二名ニテ營業ス

(4) 位置氣候

吾妻郡ノ北部三國街道猿ヶ京村字湯島ニアリ四万温泉〜七里廿六丁ニシテ達ス此地海面ヲ抜ク一十七百八十尺四圍赤谷山、泉山、姿山、三國山等ヲ擁シ風景ニ富メリ氣候ハ稍高寒ニシテ避暑ニ宜シ

(三) 生井林ナマヰ鑛泉スヤシ 温 一名笹ノ湯

(1) 泉質 鹽類泉

分析 温度 攝氏三十六度五 華氏九十八度

無色透明無臭無味ナリ其反應ハ亞兒加里性ニシテ一リートル中
含有スル所ノ各成分及量左ノ如シ

格魯兒 多量 硫酸 多量

硅酸 痕跡 銹 痕跡

加爾基 最多量 那篤倫 著明

固形物總量 一、四二四

(2) 効能

(廿一)ノ湯島鑛泉ニ同シ

(3) 沿革

發見年月未詳猿ヶ京村相樂忠策明治十八年六月許可ヲ得テ營業ス

(4) 位置氣候

(二十一)ノ湯島鑛泉ト同村字生井ナマ井ニアリ海面ヨリ高キヲ一千七百八十尺地勢氣候又同鑛泉ニ同シ

(三) 法師鑛泉温

(1) 泉質 鹽類泉

分析 温度 攝氏四十二度五
華氏百〇八度

無色透明無臭無味ナリ其反應ハ亞兒加里性ニシテ一リートル中含有スル各成分及量左ノ如シ

硫酸石灰	大量	格魯兒那篤留母	大量
格魯爾加留母	痕跡	硫酸那篤留母	痕跡
硫酸麻偏涅叟亞	全	硫酸礬土	全
硫酸亞酸化鐵	全	硅酸	少量
有機物	痕跡		

固形物總量 三、五一

(2) 効能

此鑛泉主性分ハ硫酸石灰及格魯兒那篤留母等ニシテ收斂ニ兼テ解凝ノ効アルヲ以テ左ノ諸病ニ外浴シテ効アリ

慢性胃加答兒○慢性皮膚病○乾癬癢疹等○痲疹ノ類○遲鈍性潰瘍○慢性癩麻質斯及痛風白帶下○慢性子宮硬結及子宮周圍蜂窠織炎

(3) 沿革

元祿十二年ノ發見ニシテ三國峠下永井村字法師峠ニアリ同村田村集平營業ス

(4) 位置

(二十一)ノ湯島鑛泉ヨリ二里餘海面ヲ抜ク凡ツ二千六百七十八尺地勢氣候又々同鑛泉ニ同シ

(廿四) 湯川原鑛泉

新卷鑛泉又
湯宿ト稱ス

源泉三所

(1) 泉質 鹽類泉

分析 温度 攝氏六十二度五
華氏百四十五度

無色透明無臭無味ナリ其反應ハ亞爾加里性ニシテ一リートル中
含有スル所ノ各分量左ノ如シ

格魯兒 少量 硫酸 多量

磷酸 痕跡 硅酸 少量

鎂 痕跡 加爾基 少量

麻倔涅矢亞 痕跡 安謨尼亞 痕跡

那篤倫 著明

固形物總量 一、一九〇

(2) 効能

(二十五)ノ大塚村ヌル湯ニ同シ

(3) 沿革

發見仁壽年間ニシテ布施村岡田金吾外三名ニテ營業ス

(4) 位置氣候

吾妻郡ノ北部三國街道ニ接スル布施村宇湯川原ニアリ全郡沼田町ヨ
リ西四里七丁ニシテ猿ヶ京湯ノ島鑛泉へ一里二十一丁ナリ地勢ハ東
ニ利根郡ノ大峯山アリ南北西ノ三面亦タ山ヲ以テ圍繞セルヲ以テ三
伏ノ候尙ホ清涼ニシテ四時ノ風景尤モ佳ナリ

(廿五) ヌル湯温

原泉二所

(1) 泉質 硫黃泉

分析 温度 攝氏甲九十三度 乙三十二度
華氏甲九十五度 乙八十九度
本泉一リートル中含有スル所ノ各成分及量左ノ如シ

硫化水素 少量 硫酸加爾叟母 多量

硫酸亞酸化鉄 痕跡 硫酸麻倔涅矢亞 痕跡

格魯兒那篤榴母 少量 硅酸 少量

固形物總量 〇、六〇〇

(2) 効能

慢性皮膚疹 濕疹 癩疹 疥癬ノ類 遲鈍性潰瘍 腺病及黴毒
慢性筋僂麻質私及筋強直 痛風 慢性鑛屬中毒 鉛及水銀子宮及
瞳ノ慢性加答爾 喉頭及咽頭ノ慢性加答兒(以上外浴)

(3) 沿革

發見年度不詳大塚村萩原重五郎明治十八年六月許可ヲ得テ營業ス

(4) 位置氣候

吾妻郡ノ東端西群馬郡界ノ大塚村字宿割ニアリ中ノ條ヨリ東ニ位シ
沼田街道ニ屬ス此地海面ヨリ高キ一七〇一七〇尺地勢氣候ハ(二十四)ノ
湯川原ト異ナルナシ

(共) 川中鑛泉温

(1) 泉質 鹽類泉

分析 温度 攝氏三十五度 五
華氏九十六度
本泉一リートル中含有スル所ノ各成分及量左ノ如シ

硫化水素 少量 硫酸加爾叟母 大量

硫酸亞酸化鉄 痕跡 硫酸礬土 痕跡

格魯兒那篤榴母 少量 硅酸 少量

固形物總量 一、八一

(2) 効能

(三十三)ノ應徳鑛泉ニ同シ

(3) 沿革

發見ハ俚傳ニ元録十年ノ比ナリト云フ松谷村野口伊三郎明治十八年許可ヲ得テ營業ス

(4) 位置氣候

吾妻郡ノ南部松谷村ニアリ海面ヲ抜ク一千八百十尺ナリ原町ヲ距ル西三里許リ南ニ吾妻川ノ流レヲ帶ヒ中立山、横牛山、高摩山、飯綱山、暮坂峠等ノ青巒東北西ニ起伏シ眺望ニ富メリ氣候ハ(二十四)ノ湯川原鑛泉ト大差ナシ(二十八)ノ川原湯鑛泉ハ吾妻川ノ南岸ニアリ

(七) 松之湯鑛泉

(1) 泉質 硫黃泉

分析 温度 攝氏三十四度 華氏九十三度

成分川中鑛泉ニ同シ

固形物總量 二、五三〇

(2) 効能

(三十三)應徳鑛泉ニ同シ

(3) 沿革

未詳松谷村小池金次郎營業ス

(4) 位置氣候

位置高低氣候共ニ(二十六)中川鑛泉ニ同シ

(八) 河原湯鑛泉温

原泉四所

(1) 泉質 硫黃泉

分析 温度 攝氏七十度五
華氏百五十九度

無色透明無味ニシテ硫化水素臭アリ其反應ハ亞爾加里性ニシテ一リト
ル中含有スル所ノ各成分及量左ノ如シ

大湯

硫化水素

多量

格魯兒

多量

硫酸

多量

硅酸

痕跡

加爾基

多量

麻倔涅矢亞

痕跡

安謨尼亞

痕跡

那篤倫

著明

加里

著明

固形物總量

一、五二一六

以下三湯ハ左表ノ如シ

湯名

瓦蘭謨量

温度 華氏

虎ノ湯

硫化水素

〇、〇〇八五

百四十九度

目ノ湯

硫化水素

〇、〇〇三四

百二十七度

黴ノ湯

硫化水素

〇、〇〇九〇六

八十四度

(2) 効能

慢性皮膚病

腺病性潰瘍

疥癬 (以上外浴)

慢性痺麻質私

慢性胃加答爾

瘰癧

慢性喉頭加答爾

(以上内服外浴)

(4) 沿革

建久三年五月發見シタルモノニシテ爾來湯名世ニ高ク今日ニ繁榮セ
リ明治十八年泉質ノ試験ヲ受ケ川原湯村萩原愼太郎外四名ニテ鑛泉
營業ノ許可ヲ得テ増ス々々規模ヲ擴メ客館浴室等壯大瀟洒ヲ極メ近
來頗フル盛況ナリ

(5) 位置氣候

川原湯ハ吾妻郡ノ東北ニ聳エ金鷄山ノ半腹字上打越ト唱フルトコロ

ニ在リ地勢海面ヲ拔ク一凡ソ二千百六十尺ニシテ山ヲ負ヒ溪ニ臨ミ其風光ノ幽邃ナル其望景ノ明媚ナル禿筆ノ以テ其真ヲ寫シ能ハサルトコロナリ而シテ此地ハ四時其觀ヲ異ニシ春ニハ桃櫻ノ香風衣ヲ襲ヒ夏ニハ不動ノ飛瀑清涼肌ニ迫リ秋ニハ金鷄山ノ月爽心ヲ照ラシ冬ニハ聖天祠ノ雪玲瓏萬峯ヲ籠ム吾妻川ノ奔流ハ峴ニ激シ巖ニ觸レ緩潺トシテ天樂ヲ奏スルニ似テ自カラ心ヲ清フシ軀ヲ壯ナラシム殊ニ此地ハ深山幽溪ノ間ニ在ルヲ以テ京城ノ炎熱金石ヲ爍カスノ候ト雖モ又苦熱ヲ知ラス實ニ之レ避暑養病ノ別天地ナリ

(6) 近傍勝區

仙人窟イハヤ 泉地ヲ距ル東三里許リ大戸村ニ在リ此邊古戰場ニシテ舊跡勝區甚ナカラス固ニ云フ大戸村ハ原町ノ西南ニ在ル農商雜居ノ小市ニシテ大戸丹後守ノ城址アリ仙人窟ハ城西ニシテ天正十四年真田信之兵ヲ窟中ニ伏シテ北條氏邦ヲ敗リシ所ト云フ

(九) 鳩之湯 鑛泉温

(1) 泉質 炭酸泉

分析 温度 攝氏四十三度 華氏百〇九度

本泉一リートル中含有スル所ノ各成分及ヒ其量左ノ如シ

游離炭酸	多量	重炭酸亞酸化鐵	多量
重炭酸加爾叟母	少量	重炭酸亞酸化滿俺	痕跡
格魯兒那篤留母	多量	硫酸加爾叟母	多量
硫酸亞酸化鐵	痕跡	硫酸麻佃涅叟母	痕跡
硫酸礬土	痕跡	硅酸	少量
固形物總量	四、〇一三		

(2) 効能

貧血症

萎黃病

壞血病

依ト昆逕兒

歌乙私的里

月經不調

慢性皮膚病

慢性氣管支加答兒 (以上外浴)

(3) 沿革

發見沿革詳カナラス本宿村湯本芳太外三名ニテ營業ス

(4) 位置氣候

吾妻郡ノ南端本宿村字鳩ノ湯ト稱ストコロニアリ此地海面チ抜ク二千三百九十尺ニシテ碓氷郡ノ北界ニ位シ西群馬郡三之倉ヨリ長野原町ニ至ル街道ニシテ草津ハ長野原ヨリ北三里三丁本鑛泉ヨリ六里餘地勢氣候ハ(二十八)ノ川原湯鑛泉ニ同シ

(5) 近傍勝區

仙人窟イムヤ 本地ノ東邑大戸村ニアリ或ハ云フ上古仙人ノ住シ所ナリト或ハ云フ窟中千人ヲ容ル、チ以テ名アリト窟ノ口高壹丈餘橫八間其内約スルニ二十餘間窟上乳ノ如キ物垂レテ石乳滴々タリ窟中ノ

北ニ清水出ツ此レ八二口ノ用水ニ足レリト云フ又西方ニ胎内潜窟アリ縱橫丈餘ナリ其傍ラニ地藏窟アリ方廣井一丈二三尺門ヲ鎖ス石像ノ地藏アリ東方ニ御所巖ト云フ大石竝ヒ立屹然トシチ人ノ立ツカ如シ又嶮崖ノ上ニ大黒巖ト稱スルモノアリ其狀人ノ跪座スルカ如シ甚々奇觀ナリ

(三) 澤渡鑛泉 温

原泉三所

(1) 泉質 鹽類泉

分析 温度 攝氏三十八度ヨリ五十八度ニ至ル
華氏百〇二度ヨリ百廿七度ニ至ル
微黃透明無臭無味ナリ其反應ハ弱亞兒加里性ニノ一リトトル中
含有スル所ノ各成分及量左ノ如シ

格魯兒

多量

硫酸

多量

硅酸

少量

加爾基

多量

麻偏涅矢亞

痕跡

安謨尼亞

痕跡

那篤倫

著明

加里

著明

固形物總量

一、二二九〇

(2) 效能

腺病性諸病

慢性佝僂病

瘰癧

經久煤毒

頑癬

遲鈍性諸潰瘍

疥癬

慢性諸皮膚病

(以上外浴)

(3) 沿革

建久二年辛亥四月八日發見セルモノニシテ同四年鎌倉右大將源賴朝公當國三原御狩ノ時茲ニ浴シ玉ヒテヨリ湯名諸國ニ廣マルト云フ其後延寶七年沼田城主從五位下滋野伊賀守眞田信直等入浴以來靈泉ノ名稱ハ天下ニ顯ハル爾來物換リ星移リ世ノ變遷ニ伴フテ榮枯盛衰ナ

キニ非ラズ然レモ浴者ノ年々遠邇ヨリ至ルモノ陸續跡ヲ絶タズ今ヤ幸ニ明治ノ照代ニ際會シ浴療衛生ノ道大ニ開ケ頓ニ本地ノ舊態ヲ一變シ高樓壯閣櫛比簷ヲ接シ客室ノ清麗浴場ノ瀟洒亦昔日ノ比ニアラズ明治十八年三月本縣鑛泉規則ニヨリ許可ヲ得テ福田六右衛門外十一名ニテ營業シ益々盛昌ナリ源泉ハ上ノ湯、中ノ湯、下ノ湯ノ三所トシ明治廿三年浴醫院ヲ設立ス

(4) 位置氣候

本泉ハ吾妻郡上澤渡村ニアリ中ノ條ヨリ草津道ニ屬ス隣邑下澤渡村ニ四万溫泉道アリ地勢ハ海面ヲ拔クコト一千六百尺連山四圍シ蛇川ノ流レアリ綠樹鬱茂シテ日光ヲ遮リ幽邃閑雅風景絕佳ナリ地形斯クノ如ク山間溪谷ニアルカ故ニ空氣清涼ニシテ炎威金石ヲ爍カス三伏ノ日モ尙ホ苦熱ヲ知ラス殊ニ山粧ノ四季其趣キヲ異ニシ夏容ヲシテ再ヒ秋遊ノ念ヲ起サシム是レ蓋シ山川草木ノ情アリテ招クニアラズ溫泉ノ靈之レヲ導

クニ因レリ

(5) 近傍勝區

天神山 藥師山共ニ小公園ニシテ眺望頗ル佳ナリ

大岩瀧 泉地ヨリ西方一里大岩ニアリ直下十六丈三尺余岩石ニ激シ

テ飛散スル雨ノ如ク頗フル壯觀ナリ

有笠山 ヒヨリ山 小富士山 石尊山 熊野山 共ニ登臨ノ勝地ナ

リ

澤渡八景 澤渡納涼 小芙蓉雪 琴平祠櫻花 蛇川晚釣 有笠山秋

月 大岩瀑布 聖洞子規 雲井里驟

古碑 湯ノ前神社ノ境内ニアリ万葉集十四卷ノ歌ヲ彫レリ猿渡ノ手

兒コにいコ行キきハあハひキ赤駒ノ

足搔アカキを速ハヤみことハはす來キぬ

(卅一) 四萬鑛泉温

源泉三所(岩根ノ湯ヲ分析ス)

(1) 泉質 鹽類泉

分析 温度 攝氏八十三度 華氏百八十六度

無色透明無臭ニシテ弱キ鹹味アリ其反應ハ亞兒加里性ニシテ一
リートル中固形分二、四八〇九瓦ヲ含有セリ其各成分及量左ノ如シ

格魯兒那篤榴母 一、四八九一 格魯兒加榴母 〇、一三四九

格魯兒麻佃涅叟母 〇、〇二一〇 硫酸加爾叟母 〇、五八六五

硫酸那篤榴母 〇、一一三七 硅酸 〇、一三七三

鐵 痕跡

固形分合計 二、四八二五

山口ノ湯 温度 攝氏五十五度ヨリ六十五度ニ至ル
華氏百三十一度ヨリ百四十度ノ間

各成分略新湯ニ同シ

日向見ノ湯 温度攝氏百三十四度

硫酸加爾叟母 多量 硫酸麻偏叟母 痕跡

硫酸亞酸化鐵 痕跡 硫酸亞兒加里 少量

格魯兒亞兒加里 少量

固形物總量 一、〇九五

(2) 主治

胃弱○消食不良○貧血病○肝臟病○習慣便秘○慢性皮膚病○
頑固癩麻質私○脫臼挫傷ニ由テ生スル四肢關節ノ痿痺○神經
痛○遲鈍性潰瘍○子宮及眩ノ加答留

(3) 沿革

延曆三年坂上田村丸東夷征伐ノ時仙翁ノ告ケニヨリテ開クト云フ源
泉三所アリ山口ノ湯モユ新湯日向ノ湯ト稱ス并ニ吾妻川ノ涯ヨリ湧沸ス

而ノ新湯ハ蒸湯ト唱ヒ昔時ニアリテハ湯ノ流ル、上ニハシ殿ナトノ
様ニ家ヲ覆フヒ浴者ハ仰向ニ臥シテ湯氣ニ背ヲ蒸タリト云フ中世ニ
至リ大イニ開ケ湯名世ニ顯ハレ靈驗奇功ヲ以テ賞セラル特ニ今日ノ
聖世ニ會シ文化ノ德澤舍密衛生ノ學興リ名聲彌々高ク就中此地山水
明媚風光佳絶ノ勝區ニシテ浴者陸續雲集跡ヲ絶タサルナリ此地ノ繁
華以テ視ルヘキナリ左ニ上野國志ニ載スル所ノ四方温泉記ヲ附記シ
テ讀者ノ瀏覽ニ備フ

四萬温泉記

上野國吾妻郡四万村、處乎重山複水之間、群嶺迴抱、遠絕幽邃、若不與入世通者、而屋宇相
望、人物阜饒、宛然一村、晨煙夕炊、與紫嵐蒼靄、飄飄乎雲際、其民含哺鼓腹、不假耕鑿、垂髫
戴白、熙々有太古之風者、蓋賴地有溫泉之利、泉湧于岩穴之中、不知其數、延之槽、停而爲池、
又設陸室竹席、架其下、使熱氣上蒸、以便浴者、而其浴者、獨沈痾除宿疾、其快如釋重負、其効
如合信契、以是四方源々而來、歲多月繁、焉而地元阻、峯巒四繞、澗水注其間、成長川、流水潺
々、觸奇石、奔淺瀨、自然之韻、有出于琴瑟笙竽之外者、亦可以消塵腸、而療俗肺矣、蓋造物者

之於斯人也猶慈父之育赤子生之禾黍菽麥以養其姓生之桑麻苧纈以暖其肌弱者扶之以魚肉病者濟之以醫藥而尚以爲未足焉又爲之凝嶽瀆之英精蕩金石之靈液發爲溫湯以救民疾豈偶然也哉况如此山其來甚遠首尾蔓延亘數千里蜿蜒磅礴鬱結噴騰吐雲霧藏風雨之餘洩爲此泉以資生人其爲利也不亦大也耶寶曆甲戌之秋與今村寬能山岸信任沖賴恭小倉公敬保岡正辰等自前橋同遊四萬山中以浴于此留十有餘日神清氣爽支躰輕健既獲溫泉利且愛山水之勝翫賞不忍去因紀其事以備他日之感且以告後人柳子有詩就爲後來者當與此心期予於此山亦云是歲八月四日前橋河口子深識

夫木集ニ神祇伯顯仲ノ詠アリ

よど、もに下にたく火はあけれどもまねのみゆはさむるともなし

(4) 位置氣候

四萬ハ吾妻郡ノ東部中ノ條ヨリ僅カニ四里八丁ノ北ニアリ地勢ハ峯巒溪谿ノ間ニ位シ海面ヲ抜クヲ殆ト三千尺昔時ニ在リテハ道路羊腸タル隘路ニシテ至難ナリシト雖モ近來田村關等ノ有志者新道ヲ開鑿擴濶ナラシメ腕車ヲ通スルニ至リタルハ浴者ノ至便至幸トス所ナリ

且其浴場旅館ノ如キ壯大瀟洒ナラサルナク仰テハ蒼翠ヲ望ミ伏シテ飛瀑ヲ視清爽ノ空氣ヲ呼吸シ自カラ胸懷曠遠俗塵ヲ消散ス加之泉ハ清澄地ハ高燥ニシテ炎威三伏ノ日モ猶秋冷ノ早ク催フスカト疑ハシム眞ニ是レ山水秀美幽邃清雅ノ別乾坤ト謂フヘキナリ

(5) 近傍勝區

小倉ノ瀧 摩谷ノ瀧 小泉瀧 大泉瀧 はしご瀧 臘石山 水晶山 新湯川「カザカ」 全水鶏たゝさ

(6) 名物

氷餅 氷蕎麥 湯晒 氷干飯 椎茸 舞茸 蕨 「ロクロ」細工(以下畧ス)

(三) 花敷鑛泉温

源泉二所

(1) 泉質 鹽類泉

分析 温度 攝氏四十二度乃至四十七度
華氏百十一度乃至百十四度
本泉一リートル中含有スル所ノ各成分及量左ノ如シ

鹽化水素 痕跡 硫酸加爾叟母 多量

格魯兒那留留母 多量 硫酸亞酸化鐵 少量

硫酸礬土 痕跡 硅酸 少量

固形物總量 一、六〇六

(2) 効能

慢性皮膚病 遲鈍性潰瘍 腺病 貧血症 尙俵病以上外浴

(3) 沿革

發見年度未詳入山村中澤淺一郎營業ス

(4) 位置氣候

花敷鑛泉ハ吾妻郡入山村字湯ノ上ニアリ海面ヨリ高キヲ二千七百九

十尺澤渡温泉ト草津トノ間ニ位シ岩塞山、駒込山等ノ諸山ヲ負ヒ萬坐
元白根、白根等ノ青巒峻峯ヲ望ミ風景絶佳ナリ野反ノ池此地内ニアリ
廣袤約ソ二十町氣候ハ草津ト異ナラス

(三) 應德之鑛泉温

(1) 泉質 硫黄泉

分析 温度 攝氏四十九度
華氏百二十九度
本泉一リートル中含有スル所ノ各成分及量左ノ如シ

硫化水素 多量 硫酸加爾叟母 多量

格魯兒那留留母 少量 硫酸亞酸化鐵 痕跡

硫酸礬土 痕跡 硅酸 少量

固形物總量 〇、九〇〇

(2) 効能

慢性皮膚疹 膿疱 鬚疹 座瘡 痒疹 乾癬及疥癬ノ類 遲鈍
 性潰瘍 腺病及煤毒 慢性筋痺麻質私及筋強直 痛風 慢性
 鏽屬中毒鉛及水銀 子宮及腔ノ慢性加答爾 喉頭及咽頭ノ慢性加
 答爾(以上外浴)

(3) 沿革

發見沿革詳カナラス入山村山田彌惣次營業ス

(4) 位置氣候

(三十二)ノ花敷ノ温泉ト同村ニアリ海面ヨリ高キヲ二千二百五十尺地
 形氣候亦同シ

(四) 草津温泉温

(1) 泉質 酸性泉

分析 温度 攝氏五十度ヨリ五十八度
華氏百四十度ヨリ百四十八度ノ間ニアリ

無色澄明ニシテ硫化水素臭ヲ有シ酸味及鐵氣アリ其反應ハ強酸
 性ニシテ異重ハ華氏百四十八度ノ温ニ於テ一、〇〇三四ニ居リ本
 泉一リリテル〔我五合〕中蒸發殘渣ノ量ハ二、八七〇瓦蘭謨二分瓦ハ我
六毛余ナリ而シテ其定量分析ノ成績左ノ如シ
 本泉一リリテル〔中各成〕ノ瓦蘭謨量

硫酸	三、一一七六	格魯兒	〇、八三一二
砒酸	〇、三六八〇	酸化鐵	〇、二〇〇〇
礬土	〇、四七四〇	石灰	〇、一三〇〇
苦土	〇、〇一三〇	加里	〇、〇一八六
那篤倫	〇、〇五六六	硫化水素	〇、〇〇六一
磷酸	痕跡		

以上ノ各成分ヲ化學的原則ニ照ラシテ抱合セシムレバ即チ左ノ
 如シ

本泉「リール」中含有スル鹽類及酸類ノ瓦蘭謨量

硫酸加里	(霸王鹽)	〇、〇三四四
硫酸那篤倫	(芒硝)	〇、一二九六
硫酸石灰	(石膏)	〇、三一五七
硫酸苦土	(瀉利鹽)	〇、〇三九〇
硫酸亞酸化鐵	(綠礬)	〇、三九〇六
硫酸礬土		一、五七八五
硅酸		〇、三六八〇
磷酸		痕跡
合計		二、八五五八
游離硫酸		一、五〇七〇
游離鹽酸		〇、八五四六
硫化水素		〇、〇〇六一

(2) 主治

劇症ノ粘液漏及慢性加答兒、癩病、梅毒性潰瘍及頑固ノ潰瘍、瘰癧及粘膜ノ弛緩ヨリ來ル下痢、其他慢性皮膚病、慢性胃加答兒(飲用)

含蓋藥名	瀧ノ湯	熱ノ湯	鷺ノ湯	地藏ノ湯	御座ノ湯
七種泉名					
硫酸亞酸化鐵	〇、一九二八	〇、二二八〇	〇、二六八八	〇、二六八九	〇、一六六三
硫酸礬土	〇、二五八四	一、二八〇〇	〇、〇二一五	〇、七一九八	〇、三〇五〇
硫酸石灰含硅酸	〇、六七三一	〇、二五五〇	〇、六三八九	〇、六一四九	〇、七三三三
硫酸苦土	〇、三〇八四	〇、二九九〇	〇、二二三一	〇、二一八七	〇、〇一五〇
硫酸加里	〇、二〇三五	〇、四二〇〇	〇、二四〇〇	〇、二〇五〇	〇、四八六〇
硫酸曹達	未定	水量不足ニ因ル			
酸性磷酸石灰					
磷酸	〇、〇〇七二		〇、〇七二八	〇、〇四五〇	〇、〇一三二
游離硫酸	二、二一八一	一、三三九二	一、八六七四	一、七五七八	二、一三八四
游離鹽酸	〇、八〇三〇	〇、八五三二	〇、七四六一	〇、八八七五	〇、八四八五

有機物

痕跡

全上

全上

全上

全上

總量

四五六四五

四三九五三

四〇八八〇

四七一六六

四七一〇八

(3) 沿革

古諺ニ磯城瑞籬宮ノ朝ニ方リ建見原命東國ヲ遊歴シ始メテ此靈泉ヲ
 發見シ玉フト或ハ曰ク元正帝養老年間行基尊者ノ檢出スル所ナリト
 未タ孰カ是ナルヲ知ラス建久四年右大將源賴朝公淺間嶽ニ獵スルヤ
 分營ヲ我上毛三原ニ置ク(往古吾妻郡ノ西北部ヲ總稱シテ三原ノ莊ト云フ)時ニ土豪細野幸久ナル
 者營中ニアリ事畢テ公親カラ幸久ヲ嚮道トシ山野ヲ跋涉シテ以テ其
 地勢風土ヲ按驗ス偶雲烟ノ異ナルヲ見ル怪ンテ之ヲ迹シ始メテ此泉
 ナ得タリ時正ニ中秋ノ初三ニ屬ス青空纖翳ナク朧魄輝々トシテ鑛泉
 ニ映シ芦葉鼻々トシテ溪風ニ戰キ湏泉石ニ激シテ瀑トナリ沼トナリ
 四望溪山ト相待テ頗ル奇觀ヲナス公雲烟過眼ニ附シ去ルニ忍ヒス從
 士ト共ニ此ニ露宿ス是ニ於テ公乃チ幸久ニ命シ姓ヲ湯本ト更メ朧魄

ト蘆トナリ以テ其徽號ト爲サシメ且屬スルニ吾妻郡ヲ以テセリ是其先
 導奇泉ヲ得ルノ功ヲ永遠ニ表セシムル所以ニシテ實ニ今湯本平内ノ
 家はレナリ此ノ鑛泉ヲ御座ノ湯ト稱シ泉源ノ側ヲナレ石チ御座石ト號ケ其石上ニ源右府ノ小祠ヲ安置ス口碑ノ傳
 フルトコロ此ノ如シ然レヒ本地開闢以來屢祝融ノ災ニ罹リ古書舊記
 多ク烏有ニ歸セリ故ニ其實ヲ詳ニスル能ハスト雖モ此說較ヤ信ナル
 ニ近シ爾後土人某氏村人ト謀リ大ナ力ヲ開拓ニ用ヒ數百星霜ヲ經テ
 奇泉靈異ノ名普ク天下ニ敷キ浴者年ヲ逐フテ多キヲ加ヘ關白近衛龍
 山公ノ浴ヲ此ニ試ムルヤ嘗テ醫王堂前ニ於テ和歌ヲ詠シ以テ親カラ
 書ス此書今尙ホ存スト云フ是ヲ天正五年夏五月トス元祿四年正月豐
 太閤モ又將サニ此ニ浴セントス乃チ路ヲ中山道ニ取り已ニ章ヲ移シ
 テ以テ憩宿ノ所ヲ定ム然レヒ故アリテ其事止ムト蓋軍務ノ阻スル所
 トナリ終ニ果ス能ハザリシカ眞ニ遺憾ト云フヘシ近世ニ至ルニ及ン
 テ名聲彌高ク己ニ寛保癸亥年徳川大樹公試浴ノ台命アリ仍テ遠ク鑛

泉ヲ江府ニ輸送ス以後其泉源ヲ稱シテ御汲上ノ湯ト云フ是ヨリ先キ世人ノ來遊スル者貴トナク賤トナク或ハ山水ヲ樂ム者或ハ病痾ヲ療スル者雲集麁至陸續踵ヲ接シテ絶ヘサルナリ今ヤ幸ニ明治ノ照代ニ際會シ舍密衛生ノ學大ニ興リ毫ヲ折キ絲ヲ剖キ研究周密到ラサル所ナク是ニ於テカ此泉ノ性質奇驗大イニ内外ニ著ハレ聲價昔日ニ百倍ス草津ノ繁華是ヨリ益々旺盛ナラン

(4) 位置

此ノ國西北ノ極吾妻郡ノ北方ニアリ信濃ヲ距ル僅カニ三里稻裏山岩窪池ノ嶺万坐ノ諸山東北西ニ起伏蟠蜒シ其間ニ屹立スル峻峯ヲ白根ニ白根ノ二山トス山脈ハ信濃ノ淺間岳ト連亘シ西北境ニ聳ユルモノハ吾孀山ノ峻嶺ニシテ往時日本武尊東征ノ後此嶺ニ登リテ東南ヲ顧ミ橘姫ヲ追慕シ吾孀者耶ト歎カレシハ即チ此地ナリ嶺上ニ石祠アリ日本武尊橘姫ノ二神ヲ祠ル世人之ヲ吾妻權現ト稱ス此地恰モ楯盆狀

ヲ爲シ凹處ニ許多ノ泉源ヲ開ク就中最モ大ナルモノヲ御汲上ノ湯口トス邑ノ中央ニアリ縱橫凡三十五尺許其全面ヨリ霽拂タル温泉晝夜歇ム時ナク滾々トシテ噴湧ス即チ瀧ノ湯ノ原泉ナリ之ニ亞ク者ハ御座、熱、和志、地藏、湯ノ澤、西河原等ナリ(他ハ畧ス)泉流ニ沿フテ數多ノ浴室ヲ設ケ浴室ニ接シテ民居客館櫛比簷ヲ聯チ丘陵原野之ヲ圍ミ名山巨峯咸一眸ニ聚リ青林紅樹橘花瑤草芳ヲ呈シ艶ヲ獻シ桃紅櫻白ノ夏ニ咲ヒ鶯歌鶉語ノ秋ニ媚フル耳目ノ觸ル、所妙且奇ナラサルナシ其風景殆ト幽邃清雅ヲ極ム本邦固來温泉ニ富ムト雖モ其壯大ナルニ至リテハ他ニ其比ヲ見サル所鑽泉中ノ巨臂トス特ニ其靈液ノ功驗ニ至リハ有馬温泉ト東西ノ大關ヲ以テ稱セラル實ニ造化ノ濟病院ト云フベキナリ

上野傳説雜記ニ云フ大般若經ニ南方ニ有名湯

是草津湯ト説玉フ此經ノ意ヲ以テ名附クトカ云

(5) 氣候

此地海面ヨリ高キヲ四千五百尺四圍咸山ナルカ故ヲ以テ季候清冷三伏ノ候ト雖モ復人間ニ苦熱アルヲ知ラス而シテ餘寒ハ嚴冬ヨリ勁シク殘炎ハ盛夏ヨリ酷シ人或ハ暑季ノ過冷ナルヲ以テ推シテ冬時ノ寒冷耐ヘ難カルベシト爲サン然レニ特ニ寒冷凌キ難キニ非ス但朝夕氣候ノ變換常ナラス風雪暴キ時モナキニ非サレハ豫メ防寒ヲ戒メサル可ラス且ツ此地多雨ヲ以テ聞ユト雖モ黃梅前後ヲ除キ復苦雨ノ憂ナク眞ニ避暑衛生ノ好世界ナリ

(6) 近傍勝區

白根山 草津ヨリ行程三里許西ニ方リ志武嶺越ノ半途ヨリ左ニ別レテ登ル其高サ海面ヲ抜クコト六千五百尺山頂ハ凹形ニシテ底ニ三坑アリ中坑常ニ熱泉沸騰シ烟ヲ吹テ信ノ淺間山ト南北ニ對峙ス駿ノ芙蓉嶽ヲ首トシ四面諸州ノ山川眼界ニ入り風光頗ル明媚ナリ

常布ノ瀧 志武嶺ノ途上ニアリ南面ニノ二層ニ落下ス高サ凡ソ百二十尺其狀白布ヲ懸ルニ仿佛タリ故ニ此名アルカ堯惠法師ノ歌アリ世に玄らぬ布ならかくに山姫のいかにさらせる瀧のしら糸

圍山 卿社白根神社(祭神日)ノ境内ニシテ納涼觀月ニ最モ佳シ

西ノ川原 此磧中ニモ鑛泉數ヶ所湧出スユレキ動石木ノ葉石等ノ奇物アリ

氷谷 浴場ノ西三里許ヲ隔テタル山間ノ巖穴ニシテ穴中常ニ堅氷ヲ藏シ盛夏ノ候嘗テ融解スルコトナシ奇石ト謂フヘシ

毒水 源ヲ白根山中ニ發シテ山麓ニ出テ澁嶺越テ橫斷セル水流ニシテ古來毒水ト云傳フレドモ之ヲ飲ンテ斃レタルモノ未ダ嘗テアラズト聞只タ少シク下痢ヲ起ス者稀ニアリト云フ安政ノ比高野長英行人ノ爲メニ「ドクミヅ」ノ四字ト左手ヲ以テ口ヲ抑ヘ右手ヲ以テ水流ヲ指シ居ル人像ヲ刻シタル石ヲ建テタリシニ可惜明治五年白根山噴出ノ時流失シテ所在ヲ知ラス後松浦弘氏再ヒ碑ヲ建テシモ何

者カ之ヲ破毀シタルヨリ近年西崗恭洲子亦建碑シタリト云フ聞ク
此地ノ黒岩忠四郎山本十一郎等此水質ノ分析ヲ縣廳ニ求メシニ鑛
泉トシ用ユルモ飲用トシテ用ユヘカラストナリ

小蓋池 白根山ノ北麓ニアル小池ニシテ池中ニ小浮島アリ大ナルモ
ノ二十尺小ナル者十尺許而シテ其所在ヲ定メス風ニ從テ或ハ東シ
或ハ西ス亦奇觀ナリ

此外 折目ヶ原

琴平山

石古根山

殺生川原

矢澤反響石

弓池

吹雪原池

途渡

淨行庵

藥師堂光泉寺

(此寺ニ近衛龍山公ノ眞蹟ヲ藏ス)

等皆著名ノ勝區ナレハ一遊シテ可ナリ

里はまた紅葉の秋を時えらぬ白根に今朝は雪を降ける 近衛公

龍山公草津湯治ノ中藥師堂彼本尊ノ名號ヲ句ノ上ニスヘテ法樂ノ

爲ニ詠シタル十首ノ歌

山路新樹

南モ玄らぬ草木のあまた茂りあひて深き山路やふみまよ

ふ良舞

郭公

無ら雨の降そふ山の峯こゝてかすかに名のるほととぎす哉

海邊夏月

山おろし磯邊の松にふき立て、夏なき波のよする月影

五月雨

久も、猶かさある山の遠近にわかぬはかりの五月雨の比

夏草露

茂りあふ草のむらく、おく露や暮ゆく空の色の見ゆらん

馴増戀

玄らさりき露の情のなら柴のなる、に袖のぬれんものか

契後絶戀

うきはた、契りれきにし閨の戸のあけやらぬ夜の人のつ

れあき

馴初戀

にくからぬ人にこひねの衣には命にかへてをしきものかは

旅人友稀

信濃なる木曾路の山のけはしきに行かふ袖のまれの旅人

寄湯祝

むすふてふ此谷かけの出湯こそうへも老せぬくすりあり

けれ

(7) 産物及名物

鑛泉	硫黄	湯ノ花	明礬
木細工	篠細工	瓜哇薯粉	冰蕎麥
氷餅	氷豆腐	阿駒草	噴嚏草
羊毛草	木ノ葉石	深山鳥	慈悲心鳥
ヤマメ魚	嘉魚	(以下略ス)	

(3) 草津温泉場浴室名稱

御坐ノ湯	西町	熱ノ湯	全	脚氣ノ湯	全	綿ノ湯	東町
松ノ湯	東町	瀧ノ湯	瀧下	和志ノ湯	全	富ノ湯	全
養川ノ湯	全	風ノ湯	泉水	琴平ノ湯	全	地藏ノ湯	地藏
玉ノ湯	新田	新御坐ノ湯	(湯ノ澤癩病者浴室)	籬ノ湯	全		
眼ノ湯	西町	同上	地藏	(此他内湯ト稱スルモノハ略ス)			

(五) 馬洗井戸鑛泉温

(1) 泉質 炭酸泉

分析	温度	攝氏二十五度	華氏八十度
游离炭酸	大量	重炭酸石灰	少量
重炭酸亞酸化鉄	少量	格魯兒那篤榴母	少量
硫酸石灰	少量	重炭酸麻偏涅矢母	痕跡
礬土	痕跡	硅酸	痕跡

固形物總量 〇、五〇二五

(2) 効能

胃痛 消化不良 一般神經痛 月經不調

(以上内服外浴)

(3) 沿革

吾妻郡 馬洗井戸

發見年度不詳明治十八年八月大前瀧澤八藏許可ヲ得テ營業ス

(4) 位置氣候

馬洗井戸鑛泉ハ吾妻郡ノ西部長野道大前村字上神前ニ在リ地勢ハ山嶽溪間ニ位シ南ニ淺間ノ峻嶽雪際ニ峙チ浦倉万座元白根ノ諸峯西北ニ蜿蜒シ吾妻川ノ流レヲ帶ヒ風色明媚ナリ地勢如此キカ故ニ氣候ハ高寒避暑ニハ尤モ適ス

(共) 萬坐鑛泉温

源泉三所

(1) 泉質 硫黄泉

分析 温度 攝氏八十三度 華氏百七十九度

無色透明ニシテ一リートル中含有スル所ノ各成分及量左ノ如シ

硫化水素

多量

硫酸加兒叟母

多量

硫酸礬土

少量

硫酸麻僱涅叟母

多量

硫酸亞酸化鐵

少量

硫酸亞酸化滿俺

痕跡

游離硫酸

少量

游離鹽酸

痕跡

硅酸

少量

固形物總量

一、五四四

外二湯共成分ハ前同斷ニシテ其差異ノミ左表ニ示ス

湯名

總量

瓦蘭謨量

温度

姥湯

固形物

一、五三〇

華氏百七十六度

苦湯

全

一、八五二

華氏百二十三度

(2) 効能

慢性皮膚疹 筋僂麻質私 慢性潰瘍 慢性鑛屬中毒(以上外浴)

(3) 沿革

發見年度詳カナラズ明治十八年六月大崎村橋詰半平許可ヲ得テ營業

ス原泉三所アリ信州ニ近キカ故ニ同地方ノ浴客多シ

(4) 位置氣候

萬坐鑛泉ハ吾妻郡ノ西隅信濃界千俣村字万生山麓ニアリ海面ヲ抜ク
ヲ五千百八十尺地勢ハ吾妻川ノ水源ニシテ信州須坂道ヲ隔テ左ニ浦
倉山鳥居峠アリ右ハ萬座山元白根山ノ峻峯アリ圍圍山又山ノ溪間ニ
位シ氣候高寒三伏ノ候避暑浴客多シ此邊凡テ風景絶佳ナリ

(七) 鹿澤鑛泉温

(1) 泉質 炭酸泉

分析 温度 攝氏四十七度
華氏百十六度

泉色稍濁ニシテ一リートル中含有スル所ノ各成分及量左ノ如

游离炭酸 大量 重炭酸石灰 大量

重炭酸麻倔涅叟亞 大量 重炭酸亞酸化鐵 少量

硫酸亞酸化滿俺 痕跡 硫酸麻倔涅瘦亞 少量

硫酸礬土 痕跡 炭酸那篤留母 少量

炭酸加留母 痕跡 硅酸 少量

固形物總量 一〇五五

(2) 効能 未定

俗間効能

疝氣 疝瘻 頭痛 溜飲 痔 金瘡

(3) 沿革

發見年月ハ詳カナラサルモ古老ノ傳フル處ニヨレハ天正年間ニ湧出
シタリト云フ爾來ノ沿革未タ知ルニ由ナシ

(4) 位置氣候

本泉ハ吾妻郡田代村ニアリ死火山、棧敷山ノ麓ノ土中ヨリ出ツ此地海

面ヲ拔クコト凡ソ四千六百四十尺吾妻川ノ水源ハ鳥居峠ヨリ發ス此地即チ水源ナリ他ハ(三十六)万坐鑛泉ニ同シ

(其) 入之湯鑛泉温一名碓氷ノ湯

(1) 泉質 鹽類泉

分析 温度 攝氏三十九度 華氏百〇二度

無色透明無臭無味ナリ反應ハ弱亞兒加里性ニシテ一リートル中含有スル所ノ各成分及量左ノ如シ

格魯兒 少量 硫酸 最多量

礬土 多量 加爾基 少量

麻僞涅矢亞 少量 安謨尼亞 痕跡

那篤倫 著明 加里 著明

固形物總量 一九七六八

(2) 効能

慢性皮膚疹 濕疹 膿疱 癩疹 疥癬 癬類 遲鈍性潰瘍 慢性鑛屬

中毒 慢性癱瘓質私(以上外浴)

(3) 沿革

發見年度不詳明治十八年六月坂本驛上原權太郎外壹名ニテ營業ス中山道鐵道碓氷ノ隧道竣功スルニ至ラハ浴者益々増加シ此地ノ繁盛期スヘキナリ

(4) 位置

入ノ湯温泉ハ碓氷峠ノ東麓坂本驛字入ノ湯ニアリ中山道鐵道線路ニ屬ス(坂本驛ハ當時碓氷鐵道馬車停車場ヨリ横川停) (四十一)霧積鑛泉ノ北ニアリ地勢ハ海面ヨリ高キヲ三千四百八十八尺峻峯障壁ノ間ニ位シ碓氷川ノ水源ヲ擁シ幽邃閑雅山水明媚ノ勝地ナリ特ニ鐵路ノ便アリ晨ニ京城熱鬧ヲ避ケ涼笛一聲瞬間ニシテ此ノ清泉ニ塵腸ヲ洗ヒ手

睡ノ快夢ヲ結フヲ得ヘシ氣候ハ晝夜寒暄差アリト雖モ其變動ノ劇ナルヲナシ

(5) 近傍勝區

碓氷嶺 往時曰日又笛吹ト云フ坂本驛ニ屬スル聯峯ノ總稱ナリ古來紅葉ヲ以テ其名高シ景行天皇ノ朝皇子日本武尊東征凱旋ノ時此頂ニ登リ東望シテ橘姫ヲ追慕シ吾孀者那ト歎セラレシ處ニシテ此ヲ留夫山ト呼フ碓氷荒太郎貞光モ亦此山中ニ成長シテ毒蛇ヲ退治ス留夫山ノ東北表白山ノ三蛇跡ハ即チ其舊地ナリト傳フ貞光ノ屋敷跡表白山ノ美志ノ平ニ存スト云フ此邊舊跡最モ多シ

萬葉集十四東歌

ひのくれにうすひの山を越ゆる日のせなのかそてもさやにふらしつ

萬葉集二十

上野國防人部領使大日正六位下上毛野君駿河ノ進歌

ひあくもりうすひのさかをこねしたにいもか戀しくわすらぬかモ

白妙にふりしく雪のうすひ山夕越くれいしかも道あ季 定 嗣

(六) 龜澤鑛泉冷

(1) 泉質 單純泉

分析 温度攝氏六十五度華氏六十四度

無色透明ニシテ一リートル中含有ナル各成分及量左ノ如シ

硫酸加爾叟母 少量 炭酸那篤留母 少量

硫酸 少量 格魯兒那篤留母 痕跡

硫酸礬土 痕跡 有機物 痕跡

固形物總量 〇、一一五

(2) 効能

慢性皮膚病 慢性癩麻質私 腺病 炎症或ハ創傷后ノ滲出物

(以上外浴)

(3) 沿革

發見沿革詳カナラス十八年六月川浦村二百八十九番地原田萬吉許可
ヲ得テ營業ス

(4) 位置氣候

龜澤鑛泉ハ碓氷郡ノ北吾妻郡ノ界ニ接シ川浦村字北上ノ山ニアリ海
面ヲ拔ク二千八十尺此地ハ烏川ノ水源ニシテ鼻曲山(烏川ノ水源此山ノ
烏口溪ヨリ發ス)
矢笛山、角落山等ヲ西北南ニ擁シ幽邃閑雅ノ地ナリ氣候ハ夏時清涼ニ
シテ避暑ニ佳ナリ

(5) 近傍勝區

岩井村ノ古碑 貞和五年陸月廿二日 明德元年八月十四日 傳説雜
記ニ岩井村長福寺石五輪高五尺二寸貞和五巳丑年五月廿五日吾妻

太郎藤原ノ行盛ノ墓ト云モ陸月廿二日碑ト同ナルヘシト上野名跡
志ニ見ユ

(四) 湯之澤鑛泉冷

(1) 泉質 炭酸泉

分析 温度 攝氏十六度五
華氏六十二度

無色透明ニシテ一リートル中含有スル各成分及量左ノ如シ

游离炭酸 痕跡 硫化水素 痕跡

重炭酸加爾叟母 痕跡 重炭酸亞酸化鐵 痕跡

硫酸加爾叟母 少量 格魯兒那篤留母 少量

硅酸 痕跡 有機物 痕跡

固形物總量 〇.〇二〇

(2) 效能 未定

俗間効能

疝氣 寸白 腫物

(3) 沿革

發見年度詳カナラス坂本驛土屋長五郎營業ス

(4) 位置氣候

(三十八)入ノ湯鑛泉ト同シク坂本驛字湯ノ澤ニ在リ海面ヨリ高キト一
千九百尺地勢氣候亦同シ

(四十二) 霧積溫泉冷

(1) 泉質 未詳

分析 温度 未詳

外觀無色透明稍鹽味ト敗卵臭トヲ帶ブ該泉一リートル大
固形成分ハ二、〇三六四アリ其中ニ存スル所ノ有効成分ノ量左ノ

如シ

硫酸加爾叟謨 一、七二七一

硫酸那篤留謨 〇、一九一一

格魯兒那篤留謨 〇、一〇三六

格魯兒加留謨 〇、〇〇二七

格魯兒麻屈涅叟謨 〇、〇〇三二

磷酸 (鹽) 〇、〇〇一二

硅酸 (鹽) 〇、〇〇七五

硫化水素 痕跡

(2) 主治

諸般ノ慢性皮膚病頑癬 濕疹 膿胞疹 疥癬 及ヒ頑固ノ潰瘍 瘡傷、挫傷及ヒ火
傷○慢性癩麻質斯○筋肉癩麻質斯○痛風○關節強直○慢性子宮病婦人
生殖器諸病 ○慢性腸胃加答爾○肥胖病○諸病快復期胸膜炎及ヒ脚氣等ノ如キ 諸般

ノ麻痺症○神經諸症私的里病及ヒ鬱憂肺病肺勞及ヒ慢性○瘰癧性諸病及ヒ惡液質症(ヒホコンテリ)

(3) 沿革

霧積温泉ハ明治廿年中岸初石ノ發見シタルモノナリ氏ハ西群馬郡中里村ノ人ニシテ堅忍不拔ノ氣象ヲ有シ夙トニ國家有益ノ事業ヲ起サシメテ其功ヲ奏スルニ至ラサリキ氏適々碓氷川ノ水質鑛氣ノ含有シア
ルヲ認メ是レ必ス鑛泉アルノ證ナラント心竊カニ悦ヒ其淵源ヲ探究セシト意ヲ決シ數日ノ糧食鹽噲ヲ擔ヘ碓氷嶺ノ西北ニ志シ或ハ峻阪ヲ攀チ或ハ川流ヲ渡リ山中ニ露宿スルヲ殆一週日遂イニ其泉源ヲ發見シタリ於茲元老院議官金井之恭氏ノ助力ヲ得有志者ト謀リ道路ヲ開キ溪谷ヲ夷ケ浴場ヲ設ケ客館ヲ築キ以テ小仙境ヲ造出セリ

(4) 位置

此地ハ碓氷郡坂本驛ノ西北ニアリ海面ヨリ高キヲ大約三千八百八十七尺中山道鐵道橫川停車場ヲ距ル二里餘山林溪谷ノ間ニ位シ春ハ藤花躑躅其他百花芳草錦繡ノ如ク夏ハ遠近綠翠トシテ瀧津瀨ノ流涼シク秋ハ紅葉二月ノ花ヨリモ紅ヘニ滿山ヲ染メ冬ハ氷林雪岳一望銀山ノ趣キアリ四時ノ清賞固ヨリ愛スヘシ殊ニ鼓淵ノ流レ鑿々トシテ天樂ヲ聽クカ如ク鏡潭ノ水湛々トシテ山容ヲ照シ飛瀑挂泉ノ多姿ナル尤モ盛夏勝遊ノ地ナリ蓋温泉ノ効必スシモ澡浴ニ非ス地形風氣ノ宜キ山水林泉ノ樂ニ固ヨリ其半ニ在リ氣候ハ清冷盛夏ノ候ト雖モ炎熱ニ苦シムヲナシ春秋ノ二時尤モ人體ニ適シ冬季ハ寒氣稍酷烈ナリ

(5) 近傍勝區

不老ノ瀧 蝙蝠穴 鞍掛岩 八九里山 咸ナ著名ニシテ登臨ノ地ナリ

(四十二) 郷原鑛泉冷

(1) 泉質 炭酸泉

分析 温度 未詳

本泉ハ各容器中少許ノ沈滓アリ依テ之ヲ濾過シタルモノニ就テ
檢スルニ無色澄明ニシテ異臭ナク鹹味甚ク強シ反應ハ弱亞爾加
里性ナリ之ヲ煮沸スルニ白涎ヲ析出シ其亞兒加里性益增加ス異
重ハ攝氏十五度ノ温ニ於テ一、〇二二八三ニ居ル而シテ之レカ定
量分析ヲ施行スルニ一リートル中ニ含有セル固形物ノ總量ハ二
七、六〇七五瓦蘭謨ニシテ其各成分ノ瓦蘭謨量ハ左ノ如シ

格魯兒	一一、七六八一	那篤倫	一四、三三六七
硫酸	〇、〇一八五	加里	〇、一二二四
硅酸	〇、〇二九二	石灰	〇、〇八七〇
磷酸	痕跡	苦土	〇、〇六三一
硼酸	痕跡	酸化鐵礬土	痕跡

沃度

痕跡

其他本泉ハ炭酸瓦斯ヲ含有セリ然ルニ凡テ鑛泉中瓦斯類ノ検査ハ
實地泉源ニ就クニ非サレハ其含有量ヲ確定シ難シト雖モ今寄送ノ
鑛泉十五堰中栓塞最モ完全ナリト認メタルモノニ就テ定量分析ヲ
遂クルニ本泉一リートル(十五度ノ温)中ニ含有セル其瓦蘭謨ハ左ノ如シ
結合炭酸 三、〇六八二 半結合炭酸 三、〇六八二 遊離炭酸
〇、八四八六

合計

六、九八五〇

右ニ掲載セル各成分ノ瓦蘭謨量ヲ化學上ノ原則ニ照シ相結合セ
シムレハ左ノ如シ

シロールナトリウム (食鹽)	一九、二四九三	シロールカリウム	
〇、一九三七 重炭酸那篤留母	一一、一八九一	重炭酸麻偏涅	
叟母	〇、二二〇三	重炭酸石灰	〇、〇三一五
		硅酸	〇、〇二

九二 磷酸ニ痕跡 硼酸ニ痕跡 沃度ニ痕跡 酸化鐵及礬土
痕跡

合計 三一、一七四八

游離炭酸 〇、八四八六

(2) 効能

以上定量分析ノ成績ニ據レハ本泉ハ鑛泉分類中食鹽亞爾加里性
炭酸泉ニ屬ス依テ該泉ニ普通ノ醫治効用ノ概畧ヲ左ニ掲ク
本泉ハ普通ノ亞爾加里性炭酸泉ト大差ナシト雖モ食鹽ヲ含ムヲ
以テ胃ノ消化ヲ助ケ並ニ腸ノ蠕動ヲ促カシテ便通ノ効アリ殊ニ
慢性ノ腸胃加答兒ニ一日五十乃至百五十立方仙迷(二勺八才乃)ヲ
内服スルトキハ大ニ之ヲ緩和シ其他咽頭及咽喉加答兒ノ汲入ニ
適シ又浴用ハ左ノ症ニ効驗アルヘシ

肝 胃 腸諸病 婦人生殖器及泌尿器粘膜炎 瘰癧性ノ慢性

皮膚 同性ノ腺腫 下腹充血 痔核及痔瘻療法ノ後

(3) 沿革

發見沿革詳カナラス郷原村萩原佐十郎明治二十二年四月十日許可ヲ
得テ營業ス

(4) 位置氣候

本泉ハ碓氷郡松井田ノ隣邑郷原村字馬放シ場ヨリ湧出ス此地ハ碓氷
川ノ北岸ニ沿ヒ安中道ニ屬ス(四十八)上磯邊鑛泉場ト川流ヲ隔テ、相
對ス地勢氣候共ニ磯部ニ同シ

(四三) 陣場鑛泉冷

(1) 泉質 弱鹽類泉

分析 温度 未詳

外觀微濁ニシテ臭味共ニ殆ントナシ比重一、〇〇二(攝氏二十二度)
ノ温ニ於テ

ニ居ル而ノ本泉一「リートル」中ニ含有セル固形物總量ハ一、五八五「グラム」ニシテ其各成分ノ「グラム」量ハ左ノ如シ

鹽化那篤留母鹽 一三六〇六 硫酸石灰 〇、〇六三一

鹽化加留謨 〇、〇〇九三 硅酸 〇、〇三九〇

鹽化加留叟謨 〇、〇〇五五 鐵及礬土 痕跡

鹽化麻偏涅矢亞 〇、〇一一五 磷酸 痕跡

固形物總量 一、四八七

(2) 効能

消化不良 慢性胃加答兒 慢性腸加答兒

(3) 沿革

發見沿革詳カナラス明治廿一年八月十四日新堀村山田德造許可ヲ得テ營業ス

(4) 位置氣候

本泉ハ碓氷郡松井田ノ西邑新堀村字陣場ニアリ地勢氣候(四十二)郷原鑛泉ト稍々同シ

(四十四) 湯之澤鑛泉冷

(1) 泉質 炭酸泉

分析表 温度 攝氏五十四度五 華氏五十九度五

游離炭酸 少量 硫化水素 痕跡

炭酸亞兒加里 少量 重炭酸加里叟母 痕跡

重炭酸亞酸化鐵 痕跡 格魯兒那篤留母 少量

硫酸麻偏涅叟母 痕跡 硅酸 少量

固形物總量 〇、三三〇

(2) 効能 未定

俗間効能

火傷 腫物 留飲 癩 金創

(3) 沿革

發見沿革詳カナラス明治十八年七月新堀村高木由五郎許可ヲ得テ營業ス

(4) 位置氣候

(四十三) 陣場鑛泉ト同村字湯ノ澤ニアリ海面ヲ抜ク一、一千三百六十尺地勢氣候亦同シ

(四十五) 鹽之久保鑛泉冷

(1) 泉質 炭酸泉

分析表 温度攝氏十六度五

此冷鑛泉ハ無色清明ニシテ鹹味ニ強ク試験紙ニ弱亞爾加里性反應ヲ呈ス之ヲ煮沸スレハ上面ニ白膜ヲ浮出シ其液ハ強キ亞爾加

里性ニ變ス比重ハ一、〇二七(攝氏八度ノ温ニ於テ)ニ居ル而シテ本泉一リトトル中蒸發殘渣ノ全量ハ二〇、四グラムニシテ右蒸發殘渣中各成分ノ多少ノ比例ヲ舉クレハ左ノ如シ

炭酸	多量	亞爾加里	多量
硫酸	少量	石灰	多量
格魯兒	最多量	苦土	中量
鐵及礬土	僅微	磷酸	痕跡
硅酸	僅微	沃度	痕跡
硼酸	痕跡	固形分總量	二八、九九三二

以上定質分析ノ成績ニ據レハ本泉ハ食鹽泉亞兒加里泉ニ屬スルモノ、如シト雖モ固ヨリ定量分析ニ非サレハ敢テ確言シ難シ加フルニ游離炭酸ノ含量ノ如キハ現場ニ臨ミ試験スルヲ要ス

(2) 効能 未定

發見年月不詳郷原村山中兵三郎外三名ニテ廿一年五月許可ヲ得テ營業ス

(3) 沿革

(4) 位置氣候

(四十二)ノ郷原鑛泉ト同シク字鹽ノ久保ニアリ海面ヲ抜クコト一千〇三十五尺地勢氣候亦タ同泉ニ異ナラス

(四十六) 八咫鑛泉冷

(1) 泉質 炭酸泉

分析 温度碓氷華氏 未詳

鹽素

最多量

那篤留母

最多量

炭酸

多量

石灰

少量

加留母

少量

礬土

極少量

硅酸

極少量

臭素

痕跡

沃度

痕跡

鐵

痕跡

アンモニア

痕跡

固形分全量

七〇四七

瓦蘭謨

右試驗ノ成績ニ據レハ本泉中各成分ノ比例ハ善ク西上磯邊村鑛泉ニ一致シ該泉ニ比スレハ唯大ニ稀薄ノ差アルノミ即チ是食鹽性亞爾加里炭酸泉ナリ

(2) 効能

胃弱

慢性胃腸加答兒

吞酸

肝臟病

月經不順

慢性子宮加答兒

經久僂麻質私

(以上内服外用)

(8) 沿革

碓氷郡嶺村字鹽ノ谷ノ田畔ヨリ湧出スル鑛泉ニシテ同郡原市村山本

有所明治十九年發見シ翌廿年ニ開業ス鑛泉ノ傍ラニ八咫ノ小流アル
ヲ以テ八咫鑛泉ト稱スト云フ

(4) 位置氣候

中山道ヲ距ル僅カニ八丁許リ原市村ニ接シタル(四十二)ノ郷原鑛泉ノ
北隣ニアリ地勢ハ西ニ淺間ヲ望ミ近クハ碓氷ノ嶺妙義中ノ岳ノ諸山
ニシテ榛名山北ニ聳ヘ小日向後閑ハ村落ニ聯リ南ハ原市ニ通シ(磯邊
鑛泉ヘハ僅カニ一里ニ近シ)森々タル杉林鬱々タル松柏雜樹ノ綠林南
面ヲ掩ヒ東ハ上武一帶ヲ眺望シ風景尤モ佳ナリ而シテ氣候ハ磯部ニ同
シ此地天然瓦斯ヲ湧出ス故ニ浴場ノ内外之ヲ引テ點火ノ用ニ供セリ
水素瓦斯を見てよめる今様ラた十品山人

八咫の川邊にあらはれてもゆるともしはますか、み
もの、くま、く、うつり、あ、く、こ、ら、す、か、け、こ、そ、く、す、し、け、れ

(四七) 貉谷津鑛泉冷

(1) 泉質 單純泉

分析表 温度攝氏五十四度華氏五十七度度五

硫酸 大量 石灰 大量

游離炭酸 少量 麻偏涅矢亞 少量

鐵 少量 磷酸 痕跡

格魯兒 痕跡 硅酸 痕跡

加留母 痕跡 那篤留母 痕跡

礬土 痕跡 有機物 痕跡

固形物總量 〇、三七二

(2) 効能

腺病性諸潰瘍 腺病性慢性諸皮膚病

慢性關節痲質私

疥癬

湯火傷慢性潰瘍

(以上外浴)

(3) 沿革

發見沿革詳カナラス明治十九年下野尻村石井伊三郎外五名ニテ許可ヲ得テ開業ス

(4) 位置氣候

碓氷郡安中驛字貉谷津ニアリ(海面ヲ抜クヲ六百六十尺安中ハ中山道鐵道停車場ノ在ル所ニシテ郡東ニ位スル一小都會ナリ郡役所アリ驛北ニ板倉侯ノ城墟アリ其東ニ隣ル市街ヲ板鼻驛ト云フ小市邑ナリ地勢ハ西北山ヲ負ヒ東北ハ平坦ナリ氣候ハ(四十八)磯邊鑛泉ニ同シ此邊舊跡多ク亦四時ノ風光賞スヘキモノ尠ナカラス殊ニ四通八達ノ地ニシテ蠶絲ノ産出多ク頗フル般賑ノ地ナリ

(5) 近傍勝區

里見城墟 安中停車場ヨリ東板鼻ヲ經テ半里強碓氷郡下里見村ニ屬ス應仁以後里見氏累代ノ居城タリ今田圃トナリテ僅カニ濠塹ノ址ヲ留ムルノミ

鷹ノ巢山城墟 板鼻町ノ西ニアリ南ハ壁立數十仞下ニ碓氷川アリ東北ハ透迤ナリ信立ノ家人依田六郎カ居所ト云フ山上ニ琴平神社アリ

(四六) 磯部鑛泉冷(元赤城ノ湯トモ云フ)

(1) 泉質 炭酸泉

分析 温度 攝氏六十六度六
華氏六十二度六

甲泉

鹽化那篤留母食鹽二〇八九二八 鹽化加留母 〇、五二八六

鹽化麻偏涅母 〇、一二九九 炭酸曹達 七、四四八五

炭酸石灰	〇、六九一九	炭酸亞酸化鐵	〇、〇一五四
臭素那篤留母	〇、〇三〇四	沃土那篤留母	〇、〇〇五五
硅酸	〇、〇二〇五	礬土	〇、〇〇四九
磷酸	痕跡	安母尼亞	痕跡
硼酸	痕跡	滿俺	痕跡
合計	二九、七六八四		
游離及半抱合炭酸	三、七〇七〇		

乙泉

固形物總量 二九、八三三九 (各成分甲泉ト大差ナケレハ零ス)
 游離及半抱合炭酸 三、六二四七

(2) 効能

慢性喉頭加答兒 慢性氣管支加答兒 喘息 肺勞 胸膜炎 恢
 復期 咽頭加答兒 咽喉加答兒 胃弱 留飲 慢性胃加答兒

慢性胃痛 全腸加答兒 疝痛 便秘 痔疾 慢性腹膜炎 全
 肝臟炎 黃疸 脊髓勞 ヒステリー ヒホコンデリー 神經
 痛 肋間神經痛 坐骨神經痛 慢性泌尿器加答兒 腎或膀胱
 結石 月經閉止 月經困難 月經不順 慢性子宮加答兒
 全腔加答兒 全癱麻質斯 痛風 佝僂病 腺病 貧血症 水
 腫 脚氣水腫 慢性皮膚諸病 火傷 打撲 金創

(3) 沿革

磯部鑛泉ハ碓氷郡西上磯部村字鹽ノ窪ノ田畦ヨリ湧出ス源泉二所アリ
 リ甲泉ハ濟生社ノ構内ニアルモノニシテ其發見年月詳カナラスト雖
 比東鑑ニ磯部村此所鹽ノ湧出ツル處アリトアレハ往古ヨリ存在セシ
 ヲ疑ナシ乙泉ハ弘化四年信州地震ノ時俄然噴出シタルモノニシテ當
 時其沸勢甚猛烈ニシテ高サ十餘丈ヲ激騰スルヲ三日漸ク其勢ヲ低減
 シ爾後絶ヘス湧出シ以テ今日ニ至レリ而ノ本泉ヲ治病ニ應用セシハ

年已ニ久シク其何レノ時代ナリシヤハ審ニカ知リ難シト雖モ近世ニ至ル迄之ヲ創傷、打撲、腫物等ニ外用シ又ハ馬脚疾ニ温用シテ其効著シク故ニ天保十二年村人浴室ヲ設ケ汎ク浴客ヲ引カンコトヲ企圖セルモノアリシカ其資薄クシテ終ニ果タス能ハス明治七年縣吏始メテ泉質ヲ試験シ異常ノ鑛泉タルヲ知レリ斯クテ明治十四年ニ至リ試験成績表ニ固リテ醫治効用世ニ知ラレ將サニ旺盛ナラントスルニ際シ明治十七年中仙道鐵道布設ノ舉アリ愈開盛ヲ致スノ徵ヲ顯ハシ追々浴室ヲ營ムノ計畫アリ翌十八年及二十年内務省衛生局ヨリ技師ノ出張アリ現場ニ就キ定量試験アリシニ貴要ノ諸成分ヲ含有スルコトヲ認定アリ次デ「ドクトルベルツ」醫學士高田耕庵二氏ノ有効證明アリ是ニ於テ浴室ヲ増築シ貴顯紳士ノ別荘ヲ設クルモノ多ク稻田忽チ變シテ市街ヲ顯出シ今日ノ繁盛ヲ致スニ至レリ

(4) 位置氣候

本地ハ磯部停車場ヨリ一丁東京ヲ距ル三十二里横川道鐵線ニ接シ停車場アリ運輸交通頗フル便ナリ市街東西ノ兩側ニ客館、商家茶亭等ヲ連テ貴顯紳士ノ別荘高閣ノ聳ユルアリ而シテ其浴館ハ共壽館、鳳來館對岳館、山城軒、信泉亭等何レモ新築ニシテ高壯清麗ナラサルナク最モ衛生ニ適シ各々内湯ヲ設ク鑛泉取締事務所アリテ諸般ノ管理至ラサルナク殊ニ郵便電信局又ハ警察署磯部醫院、東京鷺溪醫院ノ分院等アリテ浴者ヲノ毫モ不便ヲ感セシメス地勢ハ稍々北ニ向ヒテ低下シ北方一帶ハ碓氷ノ清川ニ瀕シ稻田桑圃外ヲ圍ミ自カラ乾濕度ニ適フ又四圍ノ風景ヲ舉クレハ西南ニハ遠ク淺間ノ吐煙ト白雲、金洞、金鷄ノ奇峯トヲ望ミ北ハ榛名山、東ハ赤城、筑波ノ諸山南ハ甘樂郡ノ峯巒一眸ノ内ニアリ四時ノ風光秀絶特ニ春時ハ南堤ノ櫻花爛熳風色尤モ美ナリ氣候ハ四時中和ニシテ前橋市ト氣象ヲ同フシ氣温風雨ノ劇變ナク夏秋ハ雨稍々多ク春冬ハ之ニ反シ稀ニ降雪アルモ積ルコト三四寸ニ過キ

大四時ノ氣温平均春期華氏五十四度、夏期七十九度、秋期六十八度、冬期四十五度、最高氣温九十三度、最低氣温ハ三十二度ナリ(詳細ハ磯部温泉案内ニアリ)

(5) 近傍勝區

笛吹^{ツスイ}ノ紅葉 碓氷嶺ハ坂本驛ニ屬スル聯峯ノ總稱ニシテ古來紅葉ヲ以テ知ラル詳クハ(三十八)入ノ湯ニ掲ク

妙義山 白雲、金洞、金鷄三山ヲ總稱シテ妙義ト云フ北甘樂郡ニ屬ス白雲山ハ岩石ヲ以テ組織シ巉岳峭稜削ルカ如シ滿山古杉楓樹鬱茂シ風景明媚殊ニ秋季ハ紅葉岩間ニ映シ奇觀言フヘカラス而ノ麓ニ妙義町アリ妙義神社ヲ祠ル泉地ヨリ西二里車馬ヲ通ス頂ニ登レハ房總ノ諸山靄然一髮ノ如シ金洞山ハ一名中ノ嶽ト稱シ山中奇岩怪石多ク天然ノ四大石門アリ神工鬼鑿ト謂ツヘシ金鷄山ハ中ノ嶽ノ南方ニ連リテ屹立ス亦タ是レ登臨ノ地ナリ

横野^{フミレ}ノ董 横野ハ隣邑人見ニ屬シ人見ノ原又ハ眞光寺ノ原トモ云フ

泉地ヨリ十五町ニ過キス此曠野ハ古來ヨリ董ノ名所ニシテ春至レハ滿原紫ヲ染メナシ最ト美觀ナリ古歌ニ曰ク

萬葉集十 紫の根はら横野の春の庭君をかけたつゝ鶯あぐも

新續古今春 紫の根はら横野のつは董眞袖につまん色もひつまし

夫木集 春の來るゆかりあるらん紫の根はら横野に鶯の啼

磯部ノ城墟 泉地ヨリ東南數町ニアリ城山ト稱シ鷺宮村ニ屬シ西上

磯部村ト東上磯部村トニ亘ル建仁中佐々木盛綱ノ城ク所ニシテ其

城址高サ十有余丈周圍七八町頂上ハ稍平坦ニシテ樹木繁茂シ微カ

ニ其遺地ヲ存スルノミ明治廿一年中磯部及鷺宮村ノ有志者謀リテ

一ノ公園トナセリ

盛綱墓 佐々木盛綱入道西念ノ墳墓ハ泉地ヨリ東十町東上磯部村磯

明山拂岸寺ニアリ明治廿年中元老院議員黒田清綱氏周圍ニ石ヲ積

樹木ヲ植付タリト云フ

仙石ノ碑 大野九郎兵衛ノ墓等アリ他ハ礪部温泉案内ニ詳ハシ

礪部名産

漆器紫塗 礪泉ゆたんは 礪泉製菓子類 (礪部土産 礪部煎餅
礪部飴 滋養飴 水飴 礪煎餅 礪泉饅頭) 礪泉干餛飩 川魚類
年魚 此外繭絲織物等ナリ

(四九) 春日田礪泉冷

(1) 泉質 炭酸泉

分析 温度 未詳

本泉ハ涸濁シ僅微ノ沈淀アリ依テ之ヲ濾過スルニ無色清明ニシ
テ異臭ナク味ヒ鹹甘反應ハ弱亞爾加里性ヲ呈スレヒ煮熬スレハ
白淀ヲ析出シテ其亞爾加里性ヲ強ム之ニ酸ヲ加フレハ氣泡ヲ揚

發シテ全溶ス異重ハ攝氏十五度ノ温ニ於テ一〇〇六八二ニ居ル
而ノ濾過シタル本泉一リートル中ニ含有セル固形物ノ總量ハ八、
三三瓦蘭謨ニシテ其主要成分及瓦蘭謨量ハ左ニ引記スルカ如シ

格魯兒	四、一一三九	那篤倫	三、七一九〇
硅酸	〇、〇二三〇	加里	〇、二〇〇一
磷酸	痕跡	石灰	〇、三六七四
硫酸	痕跡	苦土	〇、〇五九一
硼酸	痕跡	酸化鐵及礬土	〇、〇一三〇
沃度	痕跡		

其他本泉ハ炭酸瓦斯ヲ含有セリ然ルニ凡テ礪泉中瓦斯類ノ檢査
ハ實地泉源ニ於テスルニ非サレハ其精確ノ含有量ヲ得難シト雖
モ今寄送ノ礪泉十五壘中栓塞完全ト認メタルモノニ就テ定量分
析ヲ施行スルニ本泉一リートル(攝氏十二度ノ時)中ニ含有セル炭酸瓦斯

ノ瓦蘭謨ハ左ノ如シ

結合炭酸 〇、五三四一

半結合炭酸 〇、五三四一

游離炭酸 〇、八〇九三

合計 一、八七七五

右ニ掲載セル各成分ノ瓦蘭謨量ヲ化學上ノ原則ニ照ラシ相結合セシムレハ左ノ如シ

格魯兒那篤留謨鹽 六、五三四〇 格魯兒加留謨 〇、三一六七

重炭酸石灰 一、〇六二八 重炭酸曹達 〇、六八八八

重炭酸苦土 〇、二一五七 酸化鐵及礬土 〇、〇一三〇

硅酸 〇、〇二三〇 硫酸石灰 痕跡

磷酸 痕跡 硼酸 痕跡

沃度 痕跡 合計 八、八五四〇

(2) 効能

以上定量分析ノ成績ニ據レハ本泉ハ鑛泉分類中食鹽亞爾加里性炭酸泉ニ屬ス依テ左ニ該泉ノ普通醫治効用ノ概略ヲ掲ク

本泉ハ普通ノ亞爾加里性炭酸泉ト大差ナシト雖モ食鹽ヲ含ムヲ以テ胃ノ消化ヲ扶ケ並ニ腸ノ蠕動ヲ促カシ便通ノ効アリ殊ニ慢

性ノ腸胃加答兒ニ一日二百乃至五百立方仙迷(我一合一乃)至二合一乃)ヲ内服スルキハ大ニ之ヲ緩和シ其他喉頭及咽喉加答兒ノ吸入ニ適シ

又浴用ハ左ノ症ニ効驗アルベシ

肝 胃 腸諸病 婦人生殖器及泌尿器粘膜炎 瘰癧性ノ慢性

皮膚疹 同性腺腫 下腹充血 痔核及痔瘻療法ノ後

(3) 沿革

發見沿革未詳中小坂村永井多三郎ノ私有地同所字春日田六百番地ヨリ湧出ス明治二十六年二月九日許可ヲ得テ營業ス

(4) 位置氣候

本泉ハ比甘樂郡中小坂村ニアリ下仁田近接ノ地ナリ東北ニ大桁山鐵山妙義山等ノ峻嶽ヲ負ヒ西牧川ノ流ヲ帶ヒ山水明媚風光清雅ノ地ナリ此地峻峯溪谷ノ間ニ位スルヲ以テ山氣清爽三伏ノ時尙ホ苦熱ヲ知ラス避暑ニ尤モ恰當セリ

(5) 近傍勝區

鐵山 中小坂村地内ニアル鐵鑛山ナリ以テ鑛山分局ノ設意アリ下仁田葱 下仁田ニ産スル葱ハ尤モ著名ニシテ京地へ輸送スルコト多シ

(辛) 玉子之鑛泉冷

(1) 泉質 硫黃泉

分析 温度 攝氏六十五度六
華氏六十二度六

硫化水素 少量 游離炭酸 少量

重碳酸石灰 少量 重碳酸麻偏涅矢亞 少量

硫酸麻偏涅叟亞 少量 硫酸石灰 痕跡

炭酸加榴母 痕跡 格魯兒那篤榴母 少量

硅酸 痕跡 有機物 痕跡

固形物總量 一、〇二〇

(2) 効能

慢性癩麻質斯 慢性諸皮膚病 慢性潰瘍 慢性湯火傷 疥癬

(以上外浴)

(3) 沿革

發見沿革未詳明治十八年六月君川村菰塚ミ子許可ヲ得テ營業ス

(4) 位置氣候

北甘樂郡君川村字湯塚ニアリ海面ヨリ高キヲ僅カニ六百三十尺富岡

町ニ接近ス地勢氣候(四十九)ノ春日田鑛泉ニ同シ

(五十二) 菅之平鑛泉冷

(1) 泉質 鹽類泉

分析 温度 攝氏十五度六
華氏六十二度六

格魯兒 最多量 那篤留母 最多量

炭酸 多量 加留母 少量

硅酸 極少量 加兒叟母 少量

臭素 極少量 苦土 極少量

沃度 極少量 礬土 極少量

酸化鐵 極少量

固形物總量 一三、九八五

(2) 効能

胃弱 慢性胃腸加多兒 肝臟病 經久痲質私 月經不順
慢性皮膚病 神經痛(以上内服外浴)

(3) 沿革

開基ハ未タ詳カナラス明治十九年十一月西野牧村佐藤善太郎外五名
ヨリ出願許可ヲ得テ營業ス

(4) 位置氣候

本泉ハ北甘樂郡ノ西部西野牧村字菅ノ平ニアリ信州ニ接シ發知越、内
山越ノ兩道ニ岐ル、トコロニアリ四面妙義ノ峻峯及ヒ其他ノ山ニシ
テ西牧川ノ水源アリ荒船山ハ信濃堺ニ聳立ス其山頂恰モ屋字ノ如ク
平カナリ故ニ搏風山ト云フ氣候寒暖ノ劇變ナシ

拾遺和歌集物名アラフチノミヤシロ ス ケ ミ

莖モ葉モみぢみとりなる深芹はあらふねのみやまろく見ゆ覽

山吹日記ニ云拾遺集ニアラフチノミヤシロク見ユラントヨ

ミタルハ藤原ノ相見カ歌ナリト見ユ

(五十二) 若林鑛泉冷

(1) 泉質 炭酸泉

分析 温度未詳

遊離炭酸

大量

格魯兒那篤留母

大量

重炭酸那篤留母

少量

硫酸石灰

少量

重炭酸石灰

少量

重炭酸亞酸化鐵

少量

硫酸麻偏涅矢亞

痕跡

重炭酸麻偏涅矢亞

痕跡

重炭酸亞酸化滿俺

痕跡

加留母

痕跡

硼酸

痕跡

沃度

痕跡

ブローム

痕跡

磷酸

痕跡

有機物

痕跡

固形物總量

一四、一一二

(2) 効能

慢性皮膚病

腺病

神經痛

僂麻質私

慢性慢腸加多兒以上

外浴

(3) 沿革

發見開基詳カナラス東野牧村永井德平明治十八年六月許可ヲ得テ營業ス

(4) 位置氣候

此地ハ北甘樂郡東野牧村字若林ニアリ地勢氣候ハ(五十一)ノ管ノ平鑛泉ニ同シ

(五十三) 關川原鑛泉冷

(1) 泉質 炭酸泉

分析 温度未詳

游離炭酸 大量 重碳酸石灰 少量

重碳酸亞酸化鐵 少量 重碳酸麻偏涅矢亞 痕跡

硫酸石灰 大量 格魯兒那篤留母 大量

硫酸麻偏涅矢亞 痕跡 加里 痕跡

礬土 痕跡 磷酸 痕跡

硅酸 痕跡

固形物總量 三、五、四、六

(2) 効能

慢性皮膚病 腺病 貧血 神經痛 癩麻質斯 慢性胃腸加答

爾(以上外浴)

(3) 沿革

開基ハ詳カナラス明治十八年鹽澤村市川兵作許可ヲ得テ營業ス

(4) 位置氣候

本泉ハ北甘樂郡大鹽村字關河原ニアリ地勢ハ四面山ニシテ風光ニ富
ミ信濃地方ノ浴者多ク氣候ハ(五十一)ノ管ノ平鑛泉ト異ナルナシ砥石
ヲ以テ著名ナル砥澤村近傍ニアリ

(五十四) 湯端之鑛泉冷

(1) 泉質 鹽類泉

分析 温度未詳

重碳酸亞酸化鐵 大量 游離炭酸 大量

格魯兒那篤留母 大量 硫化水素 少量

重碳酸石灰 少量 重碳酸麻偏涅矢母 少量

硫酸石灰 少量 硫酸麻偏涅叟母 少量

格魯兒加留母 少量 磷酸 痕跡

有機物

痕跡

固形物總量

三、四六五

(2) 効能

胃弱 慢性胃腸加答爾 血液不良 肝臟病 下腹充血 月經
不順 慢性子宮加答爾 經久屢麻質私 神經痛 慢性皮膚病

(以上外浴)

(3) 沿革

開基ハ詳カナラス明治十八年八月北甘樂郡大鹽澤村田貝佐平許可ヲ
得テ營業ス

(4) 位置氣候

本泉ハ北甘樂郡(五十三)關河原鑛泉ト同村字湯ノ端ニアリ地勢氣候亦
同シ

(五十五) 鹽ノ宮鑛泉 冷

(1) 泉質

分析 温度 未詳

無色澄明ニシテ異臭ナク味ハ甘鹹、反應ハ弱亞爾加里性ナリ之ヲ
煮熬スルニ白渣ヲ析出ス之ニ酸ヲ注加スルニ著シク氣泡ヲ發生
シテ全溶ス異重ハ攝氏十五度半ノ温ニ於テ一、〇二一三ニ居ル而
ノ本泉一「リートル」中ニ含有セル固形物ノ總量ハ一五、八七六瓦蘭
謨ニシテ其各成分ノ瓦蘭謨量ハ左ニ列記スルガ如シ

格魯兒

七、八七四二

那篤倫

六、八五〇〇

其硅酸

〇、〇三一〇

加里

〇、五〇三一

磷酸

痕跡

石灰

〇、九七一〇

硫酸

痕跡

苦土

〇、一三八七

硼酸	痕跡	酸化鐵礬土	痕跡
沃度	痕跡		

其他炭酸瓦斯ヲ含有セリ然ルニ凡テ鑛泉中瓦斯類ノ検査ハ實地泉源ニ於テスルニ非サレハ其精確ノ含有量ハ得難シト雖モ今寄送ノ鑛泉十二壘中栓塞最モ完全ナリト認メタルモノニ就テ定量分析ヲ施行スルニ本水一「リートル」(攝氏十五度半ノ温)中ニ含有セル炭酸瓦斯ノ瓦蘭謨量ハ左ノ如シ

結合炭酸	一、一二六四	半結合炭酸	一、一二六四
游離炭酸	〇、七三一二	合計	二、九八四〇

右ニ檢出シタル各成分ノ瓦蘭謨量ヲ化學上ノ原理ニ照シ相結合セシムルハ左ノ如シ

鹽化那篤留謨鹽	一二、三五七二	鹽化加留謨	〇、七九六三
重炭酸曹達	〇、八〇五一	重炭酸苦土	〇、五〇六三

重炭酸石灰	二、八〇九〇	硅酸	〇、〇三一〇
-------	--------	----	--------

磷酸	痕跡	硫酸	痕跡
----	----	----	----

硼酸	痕跡	沃度	痕跡
----	----	----	----

酸化鐵礬土	痕跡	合計	一七、三〇五〇
-------	----	----	---------

壘度ノ褐色沈澱ヲ濾紙上ニ採集シ之レカ定量分析ヲ施行スルニ本泉一「リートル」中其各成分ノ瓦蘭謨量左ノ如シ(コレ始メハ重炭酸鹽トナリテ泉中ニ溶存シタルモ時日ヲ經ルニ從ヒ炭酸ノ一部分ヲ失ヒ析出セシモノナルベシ)

酸化鐵	〇、〇三五〇	礬土	〇、〇一一七
石灰	〇、〇一〇八	炭酸	僅微
合計	〇、〇五七五		

(2) 効能

以上定量分析ノ成績ニ據レハ本泉ハ鑛泉分類中食鹽亞爾加里性

酸泉ニ屬ス依テ該泉ニ普通ノ醫治効用ノ概畧ヲ記ス
 慢性胃加答兒 酸性泡釀ニ因ル消化不良及胃圓形潰瘍等ニ
 効アリ殊ニ慢性胃加答兒ノ粘液分泌過多ニシテ咽頭ノ加答兒
 ナ兼テ早晨嘔吐ヲ發スル者ニ此泉ヲ空心ニ飲用セシムレハ粘
 液ヲ溶解シテ之ヲ送下シ胃中ヲ清潔ナラシメ以テ消化機能ヲ
 恢復ス 慢性腸加答兒及下腹充血 肝充血及膽石 喉頭及咽
 頭ノ慢性加答兒及氣管支加答兒 慢性肺炎及胸膜或ハ腹膜内
 ノ滲出物 尿道膀胱及腎盂ノ加答兒 腎石及膀胱結石
 婦人生殖器ノ慢性加答兒 痛風蜜尿病 腺病 肥胖病及多血
 病等ニ効アリ

(3) 沿革

開基不詳明治二十一年青倉村神戸丈作許可ヲ得テ營業ス

(4) 位置氣候

本泉ハ北甘樂郡ノ南部青倉村字鹽ノ宮ニアリ此地ハ南甘樂郡ノ界ニ
 接近シ下仁田ヨリ南甘樂郡魚尾平原等ニ至ルノ道ニ屬シ稻舍山等ノ
 諸山ヲ擁シ空氣清涼風光秀美ノ地ナリ氣候ハ大鹽澤湯端ノ鹽泉ニ同

(五) 鹽之入 鹽泉冷

(1) 泉質 炭酸泉

分析	溫度	攝氏十五度六	華氏六十二度六
游離炭酸	大量	格魯兒那篤留母	大量
炭酸那篤留母	大量	重炭酸亞酸化鐵	痕跡
重炭酸石灰	痕跡	硫酸石灰	痕跡
硅酸	痕跡		
固形物總量	三二七五		

(2) 効能

慢性皮膚病 慢性胃腸加多兒 腺病 慢性咽喉加答兒以上外

浴

(3) 沿革

開基沿革未詳明治十八年六月坂口村山崎彙助外壹名ニテ許可ヲ得テ
營業セリ

(4) 位置氣候

北甘樂郡ノ東偶坂口村字鹽之入ニアリ海面ヨリ高キヲハ君川ノ湯ニ
稍同シ此地多胡郡小棚村ト界シ鑛川ニ接近シ富岡町七日市一ノ宮等
ノ市街地ヨリ遠カラス氣候ハ四季適度ニシテ風景亦佳絶ノ地ナリ

(5) 近傍勝區

富岡町 郡ノ中央ニシテ繁盛ノ小都會ナリ著名ノ製絲場ハ町ノ西ニ
アリ農商務省ノ所轄ニシテ多ク精良ノ生絲ヲ出ス郡役所警察署亦

茲ニアリ

七日市町 富岡町ノ西ニ一小市ヲナス前田侯ノ舊藩地ナリ東南ニ小
幡村アリ松平侯ノ舊封地ナリ

一ノ宮町 七日市町ノ西ニアリ町北ニ貫前神社國幣中社アリ經津主ノ神
ヲ祀ル

(五七) 瀨平鑛泉冷

(1) 泉質 鹽類泉

分析 温度未詳

鹽素	最多量	那篤留母	最多量
加留母	少量	加兒叟母	稍多量
麻偏涅叟母	稍多量	硫化水素	少量
游離及和合炭酸	少量	固形物總量	七、七七

(2) 効能

胃弱 慢性胃腸加答爾 血液不良
 肝臟病 下腹充血 經久屢麻質斯
 慢性子宮加答兒 月經不順 (以上外浴)

(3) 沿革

開基未詳十九年八月檜原村高橋彦平鑛泉規則ニヨリ許可ヲ得テ營業

ス

(4) 位置氣候

南甘樂郡ノ西南部檜原村字濱平ニアリ群山四圍ヲ環擁シ神流川ノ水源三國山ノ東麓ニ位シ山水奇絶風光明媚殊ニ空氣清涼幽邃ノ地ナリ

(5) 近傍勝區

三國山 西境ニ聳ユル高山ニシテ信濃、武藏兩國ニ跨ルヲ以テ此名アリ南ニ大蛇坐山北ニ嘯山アリ共ニ眺望絶佳ナリ

三波石 神流川ノ水涯ニアル奇石ナリ

梵字ノ古碑綠野郡鬼石町ニ近接セル讓原村ニアリ後上野志ニ三波山

萬福寺遊行二祖開基ト云フ北條家ノ制札ヲ藏ス

同町梵字ノ古碑、文明元年己丑八月日トアリ

(五六) 猪田日向鑛泉冷

(1) 泉質 鹽類泉

分析 温度 攝氏五十度 華氏五十度

無色透明無味ニシテ硫化水素ノ臭アリ反應ハ亞兒加里性ニシテ一リートルル中含有スル所ノ各成分及量左ノ如シ

硫化水素	痕跡	重碳酸鹽	少量
格魯兒	痕跡	硫酸	少量
磷酸	痕跡	硅酸	少量

加爾基

痕跡

麻偏涅矢亞

痕跡

安謨尼亞

痕跡

那篤倫

最著明

加里

著明

固形物總量

〇、六八二

(2) 効能 未定

俗間効能

疝氣

白寸

痛風

腫物

(3) 沿革

開基ハ詳カナラス明治十八年七月下日野村小島龜吉許可ヲ得テ營業

大

(4) 位置氣候

本泉ハ多胡郡下日野村字猪田日向ニアリ新町驛停車場ヨリ僅カニ三
里三十一丁綠野郡ニ接近シ結川ニ沿フ地勢ハ山間ニ位シ空氣清涼乾
濕度ニ適ス

(5) 近傍勝區

西御荷鉾山 西南境ニ聳ヒ南甘樂ニ跨ル高山ナリ古ヘ多故ノ嶺ト稱

スルモノ即チ此山ナリ

万葉集第十四上野歌

多胡能禰爾與西都奈波倍氏與須禮騰毛阿爾久夜斯豆之曾能可抱
與吉爾
安我古非波麻左香毛可奈思久左麻久良多胡能伊利野乃於父母可
奈思母 父ハ久ノ誤リトモ云フ

新續古今集雜上

源 季 廣

葛の葉を吹夕風にうらふれて多胡の入野に鶉なく也

夫木集

光 俊 朝 臣

露ふかき多胡の入野の草枕ぬるともふよひ又や結はん

(五九) 鹽平之鑛泉冷

(1) 泉質 鹽類泉

分析 溫度 攝氏三十三度
華氏三十五度

無色透明無臭無味ナリ反應ハ亞兒加里性ニシテ一リートル中含
有スル各成分及量左ノ如シ

重碳酸鹽 多量 格魯兒

硫酸 少量 硅酸

礬土 少量 加爾基

安謨尼亞 痕跡 那篤倫

加里 著名

固形物總量 六二九二

(2) 効能

腺病 慢性腸加答爾 慢性胃加答爾 慢性氣管支加答兒以上
外浴

(3) 沿革

明治八年發見ス同八年六月下日野村鹽川多七許可ヲ得テ營業ス

(4) 位置氣候

多胡郡下日野村字鹽原ニアリ(五十八)猪田日向鑛泉ト同地内ナリ

(六) 金井平鑛泉冷

(1) 泉質 鹽類泉

分析 溫度 未詳

無色清澄ニシテ異臭ナク味ヒ鹹ニシテ甘味ヲ帶ヒ反應ハ弱亞爾
加里性ナリ之ヲ煮熬スルニ白堊(碳酸石灰)ヲ析出シテ稍強キ亞爾
加里性ニ變ス之ニ酸ヲ加フルニ著シク泡沸シテ全溶ス異重ハ一、

〇〇八九六(攝氏十五度)ナリ而シテ本泉一リートル中ニ含有セル
蒸發殘渣ノ總量ハ八、七一六瓦蘭謨ニシテ其各成分ノ比例ハ左ノ
如シ

炭酸	稍多量	亞爾加里	多量
格魯兒	多量	石灰	少量
硅酸	痕跡	苦土	少量
磷酸	痕跡	鐵及礬土	痕跡
硼酸	痕跡	安謨尼亞	痕跡
沃度	痕跡	臭素	痕跡

(2) 効能

胃弱 慢性腸加答兒 肝臟病 月經不順 慢性子宮加答兒
經久痺麻質私 神經痛

(3) 沿革

發見年度詳カナラス下日野村大河原峯七ノ私有地字金井丙百九十九
番ノ山林ヨリ湧出ス明治二十一年五月十九日許可ヲ得テ營業ス

(4) 位置氣候

(五十八)猪田日向鑛泉ニ同シ

(六十一) 鹽村鑛泉冷

(1) 泉質 鹽類泉

分析 温度 未詳

食鹽	大量	炭酸亞爾加里	大量
重炭酸石灰	大量	重炭酸亞酸化鐵	大量
重炭酸麻偏涅矢亞	痕跡	硅酸鹽類	痕跡
固形物總量	四、三三		

(2) 効能

胃弱 吞酸 肝臟機能怠慢 (以上内服)
 痺麻質私 痛風 神經痛 消化不良 (以上外浴)

(3) 沿革

開基沿革詳カナラス明治十九年十二月佐位郡今泉村菊地和吉許可ナ
 得テ營業ス

(4) 位置氣候

本泉ハ多胡郡鹽村ニアリ吉井町ヨリ西六丁新町驛停車場ヨリ四里九
 丁、高崎停車場ヨリ二里三十一丁ナリ地勢ハ三面青山ヲ繞ラシ北吉井
 口ノ一方ヲ開キ四季ノ風濕自カラ度ニ適シ夏時最モ避暑ニ可ナリ

(5) 近傍勝區

多胡ノ碑 吉井町ト鏑川ノ間ニアル池村ニアリ和銅中建ツル所字體
 古勁日本三碑ノ一トス(外二碑ハ下野國造ノ碑)又山上碑ヤマノウヘノヒカチササヒ金井澤碑ト
 此碑ヲ稱シテ上野三碑ト云フ二碑共ニ綠野郡山名村ニアリ白鳳神

龜年間ノ古物ニシテ文字剝蝕殆ント讀ムヘカラス山名村ハ高崎ヨ
 リ西南里餘池村ニ抵ルノ通路タリ

多胡之碑

正面高二尺九寸横寸五分横濶上一尺六寸下二尺覆面
 正面二尺九寸横寸五分斷高五寸五分上反菅笠ノ如シ

碑文

辨官符上野國片岡郡綠野郡甘良郡並三郡内三百戸郡成給羊成多
 胡郡和銅四年三月九日甲寅宣左中辨正五位下多治比眞入大政官
 二品穗積親王左大臣正二位石上尊右大臣正二位藤原尊

山上之碑

長三尺許濶壹尺
 一寸許野石也

碑文

辛巳歲集月三日記

伏野三家定賜健守命孫黑賣刀自此新川臣兒斯多禰足尼孫大兒臣
 娶三兒長利僧母爲記定文也 放光寺僧

上野三碑考ニ辛巳ハ白鳳十年ノ辛巳ナルヘシ年號ハ大化ニ始

リ白雉トツヰキ十七年タエテ白鳳初リシ頃ニシアレハ此東へ
ハ聞ヘスノ干支ノミ記シタルナラン云々ト上野名蹟志ニ見ユ
金井澤之碑

碑文

上野國群馬郡下贛郷高用里三家子孫爲七世父母現在父母現在侍
家刀自^{傳刀自道}□□君刀自人兒□部刀自孫物部君千足次眩刀自□□刀自^{俵魚}
合六合又知識所結人三家氏人□□次知万呂鍛師礪部君牛麻呂合
三口如是知識結而天地誓願仕奉
石文

神龜三年丙寅二月廿九日
集古十種好古小錄共ニ磨滅ノ所ニハ[■]ノ印アリ記文モ二書同シカ
ラス是ニハ三碑考ヲ以テ記スト上野名蹟志ニアリ又三家ハミヤケ
ノコナリ

根小屋城墟 山名村ノ隣邑ニアリ山ノ上ニ古城跡アリ上野風土記ニ

根小屋ノ山上ハ信玄ノ砦跡ト云フ古ヘハ山名村ノ邊ヨリ根小屋村
カケテ山本ノ郷ト云ヘシト傳フ鉢ノ木ノ謠曲ニ山本^{サト}の郷ト作りし
そ茲ナランカト上野名蹟志ニ見ユ川ヲ隔テ、東ハ西群馬佐野村ナ
リ山名村ノ八幡宮ハ山名伊豆守ノ勸請ニシテ著名ナリ
夫木集に 前中納言匡房卿

山本や佐野の船橋をかゝにたのしきことをきゝ渡る哉

(六十二) 八鹽鑛泉冷

(1) 泉質 炭酸泉

分析 温度 攝氏五十四度 華氏五十六度

此ノ冷鑛泉ハ無色澄明ニシテ味ヒ甚タ鹹シ反應ハ殆ント中性ヲ
徴スレヒ煮沸スレハ白堊(炭酸石灰)ヲ析出シテ亞爾加里性ニ變ス

而ノ之ニ酸ヲ注加スレハ著ク泡沸シテ全溶ス異重ハ華氏五十六度ノ温ニ於テ一〇二四七八ニ居ル而ノ本泉一リートル〔我五合五勻強〕中ニ含有セル固形物ノ總量ハ三〇二七八瓦蘭謨ニシテ其各成分ノ瓦蘭謨量ハ左ノ如シ

格魯兒	一三、八二三	硫酸	一、二二五
那篤倫	一四、五〇〇六	加里	一、〇四八二
硅酸	〇、〇四二〇	石灰	〇、一六三五
磷酸	痕跡	苦土	〇、二二一三
硼酸	痕跡	沃度	痕跡
酸化鐵礬土	痕跡	總量	三二、一九一七
其他本泉一リートル中ニ含有セル炭酸瓦斯ノ瓦蘭謨量左ノ如シ			
結合炭酸	一、八一二一	半結合炭酸	一、八一二一
游離炭酸	一、四五七八	總量	五、〇八二〇

(2) 主治

本泉ハ極メテ多量ノ固形分ヲ含有シ其性質成分共ニ善ク礬部ノ鑛泉ニ類似シ含有物ノ量礬部ヨリ多シ殊ニ食鹽ヲ含ムヲ以テ最モ有効ノモノトス蓋シ食鹽ハ胃液ノ分泌ヲ促カシ食思ヲ振起シ腸ニ在テ、其ノ蠕動ヲ促カシ以テ能ク大便ヲ利通スルノ能アリ故ニ最モ内服ニ適當ス其應用スヘキ諸病左ノ如シ

各種ノ肺患、喉頭及咽頭ノ慢性加答爾、肝、胃、腸諸病、慢性氣管支加答爾殊ニ喘息ノ類、婦人生殖器ノ加答爾、瘰癧及慢性性皮膚疹、癩麻質私、神經病

(3) 沿革

開基沿革未詳

(5) 位置氣候

本泉ハ綠野郡淨法寺村字八鹽ニアリ地勢ハ郡ノ東南境ニ位シ神流川

ニ瀕シ鬼石町ニ接ス新町停車場ヨリ四里十丁藤岡町ヨリ三里七丁ナ
リ西ハ峻峯並列南東北ノ三面平カニシテ大氣ハ自カラ四季適度ノ乾
濕ヲ制シ夏涼冬暖ノ勝地ナリ

(5) 近傍勝區

淨法寺 村内ニアリ村ハ寺ニ由テ名クト云フ天台宗ニシテ廣巖山般

若淨土院ト號ス古昔綠野寺ト云フ聖武天皇ノ勅願道忠禪師ノ開基

其後傳教大師再建シタルモノナリト云フ永源寺曹洞宗亦著名ナリ

三ツ山舊壘 村内ニアリ元井上豐前守ノ居城ナリシト云フ

藤岡町 郡ノ中央ニアル小都會ニシテ市店駢列絹絶ヲ販出スルコト

最モ盛ナリ綠野多胡郡役所此地ニアリ

新町 藤岡町ニ等シキ繁盛ノ地ナリ驛西ニ屑絲紡績所アリ此地ハ中

山道ニ位シ日本鐵道會社停車場アリ

平井城墟 泉地ノ北鮎川ニ瀕スル西平井村ニ屬シテ金井村ニ跨ル

三面田圃ニ接シ壘塹ノ舊地髣髴尙ホ存ス其地六十步許リ竹林蔚翳
土人之ヲ笹郭ト呼ブ應仁中關東ノ管領上杉顯定城キテ之ニ居ル

(六十三) 淨法寺村澤之鑛泉冷

(1) 泉質 炭酸含鹽泉

分析 温度 未詳

本泉ハ無色澄明ニシテ臭氣ナク鹹味ヲ有シ試験紙ニ亞爾加里性
反應ヲ呈シ試ニ熱シテ濃稠ノ液トナセハ白色ノ皮膜ヲ生シテ其
亞爾加里性反應ヲ強メ異重ハ攝氏十五度ノ温ニ於テ一〇〇八九
ニ居リ本泉一リートル中ニ含有セル固形物ノ總量ハ攝氏百八十
度ノ熱ニテ乾燥セルニ一〇、九一七五瓦蘭謨ナリ而シテ右固形物中
各成分ノ定量分析ヲ施行セルニ左ノ數量ヲ得タリ

格魯兒

四、八六六〇 硫酸

〇、四五四六

硅酸 〇、一七八〇 加里 〇、三八五三
 那篤倫 五、一七一〇 苦土 〇、〇一六二
 石灰 〇、一四一七 酸化鐵 僅微
 礬土 〇、〇七六〇 硼酸 痕跡
 沃度 痕跡
 其他本鑛泉ハ炭酸瓦斯ヲ含容ス然ルニ凡テ鑛泉中瓦斯ノ検査ハ
 實地泉源ニ就クニ非サレハ其精確ノ量ヲ測知シ難シト雖モ今寄
 送ノ鑛泉十五罐中栓塞最完全ナリト認メタルモノニ就テ定量分
 析ヲ施行セルニ左ノ數量ヲ得タリ
 攝氏十五度ノ温ニ於ケル鑛水一リートル中ニ含有セル炭酸ノ瓦
 蘭謨量
 抱合炭酸 〇、七一三三 半抱合炭酸 〇、七一三三 游離炭酸
 〇、九二六五 合計 二、三三三三

以上掲載セル各成分ヲ以テ化學上ノ原則ニ照ラシ相抱合セシム
 レハ即チ左ノ如シ

本水一リートル中ニ含有セル鹽類ノ瓦蘭謨量
 鹽化加榴謨 〇、一三九八 鹽化那篤倫食鹽 七、九〇九〇
 硫酸加里霸王鹽 〇、五四九二 硫酸石灰石膏 〇、三四四一
 重炭酸那篤倫 二、六五五五 重炭酸亞酸化鐵 僅微 硅酸
 〇、一七八〇 礬土 〇、〇七六〇 硼酸 痕跡 沃度 痕跡
 合計 一一、九一〇七

(2) 効能

右分析ノ成績ニ據レハ該鑛泉ハ食鹽亞爾加里泉ナリトス而シテ
 該泉ニ普通ノ醫治効用ノ大畧ヲ舉クレハ左ノ如シ
 各種ノ肺患、喉頭及咽頭ノ慢性加答兒、慢性氣管支加答兒殊ニ
 喘息ノ類、肝、胃、腸諸病及婦人生殖器ノ加答兒、其他亞兒

加里性泉ヲ應用スル諸病ニ効アリ

(3) 沿革

發見年度未詳淨法寺村字澤ヨリ湧出ス明治二十一年五月三十日同村引田菊藏外四名許可ヲ得テ營業ス

(4) 位置氣候

(六十二)八鹽鑛泉ニ同シ

(六十四) 淨法寺鑛泉冷

(1) 泉質 炭酸含鹽泉

分析 温度 未詳

外觀稍不透明ニシテ鹹味強ク後チ微ニ苦味ヲ感ス反應ハ殆ト中性ニシテ之ヲ煮沸スレハ白色ノ沈澱ヲ生シ亞爾加里性ニ變ス比重一〇三八八(攝氏三十二度ノ温ニ於テ)ニ居ル而シテ該泉ノ一リ

トル五合中ニ含有セル蒸發殘滓ノ全量ハ三一・三九グラム(一グラム五分六厘)ニシテ右蒸發殘滓中各成分ノ比例ヲ舉クレハ左ノ如シ

炭酸	多量	加里	少量
格魯兒	最多量	曹達	最多量
硫酸	中量	石灰	多量
磷酸	痕跡	苦土	少量
沃度	痕跡	臭素	痕跡
鐵及礬土	少量	硅酸	僅微

(2) 効能

慢性胃腸加答兒	肝臟病	下腹充血
慢性子宮加答兒	癩麻質私	神經痛

(以上外浴)

開基不詳明治廿一年十一月十四日堀口新太郎(淨法寺村)外壹名ニテ許可テ得テ營業ス

(4) 位置氣候

(六十二)八鹽鑛泉ニ同シ

(六十五) 甲畑中鑛泉冷

(1) 泉質 炭酸泉

分析 温度 未詳

本泉ハ無色透明(器底ニ褐色ノ沈滓アリ是レ主トシテ水酸化鐵ヨリ成ル)ニノ味ヒ甚タ鹹シ反應ハ殆ント中性ヲ徵スレヒ煮熬スレハ白堊炭酸石灰ヲ析出シテ亞爾加里性ニ變ス而シテ之ニ酸ヲ注加スレハ著シク泡沸シテ全溶ス異重ハ攝氏十五度ノ温ニ於テ一〇二四七八ニ居ル而シテ本泉一

「リートル」中ニ含有セル固形物ノ總量ハ三〇、二七八「グラム」ニシテ其各成分ノ「グラム」量ハ左ノ如シ

格魯兒	一三、八五二二	那篤倫	一四、五〇〇六
硫酸	一、二二五一	加里	一、〇四八二
硅酸	〇、〇四五〇	石灰	〇、一六三五
磷酸	痕跡	苦土	〇、二二一三
硼酸	痕跡	酸化鐵礬土	痕跡
沃度	痕跡		

其他本泉ハ炭酸瓦斯ヲ含有ス然ルニ凡テ鑛泉中瓦斯類ノ検査ハ實地泉源ニ就クニ非サレハ其精確ノ含有量ヲ得難シト雖モ今寄送ノ鑛泉十五壘中塞栓尤モ完全ナリト認メタルモノニ就テ定量分析ヲ施行セルニ本泉「リートル」中(攝氏二十五度)ニ含有セル炭酸瓦斯ノ「グラム」量ハ左ノ如シ

結合炭酸 一、八一二一 半結合炭酸 一、八一二一 游離

炭酸 一、四五七八 合計 五、〇八二〇

右檢出シタル各成分ノ「ガラム」量ヲ化學上ノ原則ニ照シ相結合セ

シムレハ左ノ如シ

硫酸石灰 〇、三九七一 硫酸加里 一、九三八二

硫酸曹達 〇、一八〇二 格魯兒那篤榴 二二、八三七〇

重碳酸曹達 五、九八九五 重碳酸苦土 〇、八〇七七

硅酸 〇、〇四二〇 酸化鐵及礬土 痕跡

沃度 痕跡 磷酸 痕跡

礪酸 痕跡 合計 三二、一九一七

(2) 効能

以上定量分析ノ成績ニ據レハ本泉ハ食鹽亞爾加里性炭酸泉ナリ
トス依テ左ニ該泉ニ普通ノ醫治効能ノ概略ヲ掲ク

此鑛泉ハ食鹽ヲ含ムヲ以テ殊ニ有効ノモノトス其用法ハ尋常ノ
亞爾加里性炭酸泉ニ同シ蓋シ食鹽ハ胃液ノ分泌ヲ促カシ以テ能
ク大便ヲ利通スルノ能アリ故ニ最モ内服ニ適當ス其應用スベキ
諸病ハ左ノ如シ

各種ノ肺患、喉頭及咽頭ノ慢性加答兒、慢性氣管支加答爾等殊
ニ喘息ノ類、肝、胃、腸諸病及婦人生殖器ノ加答兒、癩癧及
慢性皮膚疹

(3) 沿革

開基未詳淨法寺字畑中ヨリ湧出ス同村堀口忠三郎外壹名ニテ營業ス

(4) 位置氣候

(六十二)八鹽鑛泉ニ同シ

(六十一) 乙畑中鑛泉冷

(1) 泉質 炭酸含鹽泉

分析 温度 未詳

本泉ハ無色澄明(ノ器底ニ少許アリ)ニシテ異臭ナク味ヒ鹹ナリ反應ハ殆
ント中性ヲ呈ス然レヒ之ヲ煮熟スルニ白泥(炭酸石灰)ヲ析出シテ亞爾
加里性ニ變ス之ニ酸ヲ注加スルニ著ク泡沸シテ全溶ス異重ハ一、
〇一四〇四攝氏十五度ニ居ル而シテ本泉一リートル中ニ含有セ
ル蒸發殘渣ノ總量ハ一三、六五四「グラム」ニシテ其各成分多寡ノ比
例ハ左記ノ如シ

格魯兒	最多量	亞爾加里	最多量
炭酸	多量	苦土	少量
硅酸	痕跡	鐵及礬土	痕跡
燐酸	痕跡	安謨尼亞	痕跡
硼酸	痕跡	沃度	痕跡

(2) 効能

胃弱 慢性胃腸加答兒 肝臟病 月經不順 慢性子宮炎及白
帶下 經久痺麻質私 神經痛 腺病 慢性皮膚病

(3) 沿革

發見年度未詳淨法寺村字畑中山林ヨリ湧出ス明治廿一年五月廿九日
堀口三十郎外三名許可ヲ得テ營業セリ

(4) 位置氣候

(六十二)八鹽鑛泉ニ同シ

(六七) 淨法寺丸山鑛泉冷

(1) 泉質 酸性綠礬泉

分析 温度 未詳

寄送ノ鑛泉ハ器庭ニ汚白色ノ渣滓アリ故ニ先ツ之ヲ濾過シテ左

ノ分析ニ供セリ
 但シ玆ニ濾過シタル鑛泉初ハ無色澄明ナレヒ數日間ヲ經レハ
 白濁ヲ起シ漸ク日ヲ逐フテ其濁度ヲ強メ終ニ褐色ノ沈澁(水酸
 化鐵)ヲ析出ス以下分析ハ前ニ濾過シタル無色澄明ノ鑛泉ヲ用
 テ施行セリ

濾過シタル鑛泉ハ無色澄明ニシテ臭氣ナク鑛性收斂ノ味ヲ有シ
 試紙ニ酸性反應ヲ呈シ試ニ本泉少量ヲ取り熱スレハ初メ白濁シ
 次ニ淡褐色ヲ呈シ終ニ褐色ノ沈澁ヲ生ス異重ハ攝氏十五度ノ温
 ニ於テ一〇〇一八ニ居リ本水一リートル中ニ含有セル固形物ノ
 總量ハ攝氏百八十度ノ熱ニテ乾燥セルニ二〇五〇「ガラム」ナリ而
 ノ右固形物中各成分ノ定量分析ヲ施行セルニ左ノ數量ヲ得タリ
 本水一リートル中ニ檢出セル各成分ノ瓦蘭謨量

格魯兒 〇、〇六九〇 硫酸 一、〇二四六

硅酸 〇、〇九三五 加里 〇、〇〇五六

那篤留母 〇、〇五六三 石灰 〇、一〇八六

苦土 僅微 礬土 〇、二八四〇

酸化鉄 〇、四三五 磷酸 痕跡

以上掲載セル各成分ヲ以テ化學上ノ原則ニ照ラシ相抱合セシム
 レハ即チ左ノ如シ

本水一リートル中ニ含有セル鹽類ノ瓦蘭謨量

硫酸加里霸王鹽 〇、〇一〇四 硫酸石灰石膏 〇、二六三七

硫酸那篤倫芒硝 〇、一二九〇 硫酸苦土瀉利鹽 痕跡

硫酸亞酸化鐵綠礬 〇、八二六五 硫酸礬土 〇、五一〇二

鹽化亞兒密紐謨 〇、〇八六八 礬土 〇、〇九七五

硅酸 〇、〇九三五 磷酸 痕跡

合計 二、〇一七六

(2) 効能

右分析ノ成績ニ據レハ該鑛泉ハ酸性收斂ノ綠礬泉ナリトス而ノ其醫治効用ノ大畧ヲ舉ケレハ左ノ如シ

劇症ノ粘液漏及慢性加答兒 癩病 煤毒性潰瘍及頑固ノ潰瘍
腺病惡液及粘膜ノ弛緩ヨリ來ル下痢 疥癬其他慢性皮膚病
虛性出血等是ナリ(但本泉ハ浴用スルノ外内服スルヲ得ス)

(3) 沿革

開基未詳淨法寺村字丸山ヨリ湧出ス明治二十年十二月三日同村吉田榮十郎許可ヲ得テ營業ス

(4) 位置氣候

(六十二)八鹽鑛泉ニ同シ

(六六) 長山鑛泉冷

(1) 泉質 炭酸泉

分析 温度 未詳

本泉ハ無色澄明ニシテ異臭ナク味ヒ鹹甘、反應ハ弱亞爾加里性ヲ徵スレ共之ヲ煮熬スレハ白渣ヲ析出シテ其亞爾加里性ヲ強ム異重ハ攝氏十五度ノ温ニ於テ一〇〇八七八ニ居ル而シテ本泉一リトトル中ニ含有セル固形物ノ總量ハ一〇、二六五瓦蘭謨ニシテ所含ノ各成分及其量ハ左ニ列記スルカ如シ

格魯兒	四、五一四四	那篤倫	四、四四五六
硫酸	〇、三九七六	加里	〇、三一八五
硅酸	〇、〇二四〇	石灰	〇、三七三八
磷酸	痕跡	苦土	〇、〇七〇六
沃度	痕跡	酸化鐵及苦土	痕跡

其他本泉ハ炭酸瓦斯ヲ含有ス然ルニ凡テ鑛泉中瓦斯類ノ検査ハ

實地泉源ニ於テナルニアラザレハ其確實ノ含有スル量ヲ得難シト雖ヒ今寄送ノ鑛泉十五壘中栓塞最モ完全ト認メタルモノニ就テ定量分析ヲ施行スルニ本泉一リートル(十二度)中ニ含有セル炭酸瓦斯ノ瓦蘭謨量ハ左ノ如シ

結合炭酸 ○、六五五五 半結合炭酸 ○、六五五五

游離炭酸 一、一一七八 合計 二、四二八八

右ニ記載セル各成分ノ瓦蘭謨ヲ化學上ノ原則ニ照ラシ相結合セシムレハ左ノ如シ

格魯兒那(食鹽) 七、〇四七四 格魯爾加留謨 ○、五〇四一

篤留謨 〇、六七五九 重炭酸曹達 一、九一九八

硫酸石灰石膏 〇、二五七七 重炭酸石灰 〇、二七六三

重炭酸苦土 〇、〇二四〇 硼酸 痕跡

硅酸 〇、〇二四〇 硼酸 痕跡

酸化鐵及礬土 痕跡

以上定量分析ノ成績ニ據レハ本泉ハ鑛泉分類中食鹽亞爾加里性炭酸鑛泉ニ屬ス依テ左ニ該泉普通ノ醫治効用ノ概畧ヲ掲シ

(2) 効能

本泉ハ普通ノ亞爾加里性炭酸泉ト大差ナシト雖ヒ食鹽ヲ含ムヲ以テ胃ノ消化ヲ扶ケ並ニ腸ノ蠕動ヲ促シテ便通ノ効アリ殊ニ慢性ノ腸胃加答爾ニ一日二百乃至五百立方仙迷(我一合一勺乃至二合八勺)ヲ内服スルキハ大ニ之ヲ緩和シ其他喉頭及咽頭加答兒ノ吸入ニ適シ又タ浴用ハ左ノ症ニ効用アルベシ

肝 胃 腸諸病 婦人生殖器及泌尿器粘膜炎 瘰癧性ノ慢性 皮膚同性ノ腺腫 下腹充血 痔核及痔瘻療法ノ後

(3) 沿革

發見年月詳カナラズ本泉ハ綠野郡淨法寺村字長山ヨリ湧出ス明治廿

一年十二月同村塚本茂平次外四名許可ヲ得テ營業ス

(4) 位置氣候

(六十二)八鹽鑛泉ニ同シ

(六十九) 鹽河鑛泉温

(1) 泉質 鹽類泉

分析 温度 攝氏二十九度五
華氏八十五度五

茶褐色透明無臭無味ナリ其反應ハ亞兒加里性ニシテ一リートル
中含有スル所ノ各成分及其量左ノ如シ

重炭酸鹽 少量 格魯兒 多量

硫酸 多量 亞硝酸 十以上

硝酸 少量 硅酸 少量

鐵 痕跡 石灰 痕跡

麻偏涅矢亞

痕跡

安謨兒亞

沈澱

那篤倫

著明

加里

著明

固形分總量

一、四

(2) 効能

慢性皮膚疹 濕疹 膿疱 痒疹 痤瘡 乾癬 疥癬 慢性潰瘍

骨瘍 腐骨疽 (以上外浴)

(3) 沿革

發見ハ寛文四年甲辰十一月西群馬郡村上村字鹽川ヨリ湧出ス明治十
八年六月村上定吉許可ヲ得テ營業ス

(4) 位置氣候

本地ハ郡北白井ノ西吾妻川ニ瀕シ吾妻郡界ニアリ高崎停車場ヲ距ル
八里十五丁海面ヲ抜クコト一千三百六十尺地勢ハ峻峰崎嶇タルノ間ニ
位スルヲ以テ四時ノ風光頗フル美觀ナリ氣候ハ四時晝夜寒暖ノ劇變

ナク夏時ノ浴遊尤モ佳ナリ

(5) 近傍勝區

岩井堂壘 本泉地内ニアリ北ハ險阻巒嶽南ハ吾妻川ノ深涯ニシテ川ニ沿フテ一條ノ通路アリ昔時茲ヲ白井ノ關所トシテ子城ヲ置キシト云フ岩井堂ハ村ノ西懸崖ノ下ニアリ銅瓦ノ二重ノ堂アリ後面ハ巖ニ造リカケアリ階子ヲ登リテ四顧スレハ奇石怪巖吾妻川中ニ凸亢シ南崖壁立千仞ニシテ松樹ノ崖縫ニ掛ルカ如キモノアリ實ニ其風色ノ絶美ナル丹家モ筆ヲ投シテ空シク賞歎スルノ外ナカルベキナリ

(六) ガラメキ鑛泉温

(1) 泉質 鹽類泉

分析 温度攝氏八十七度

游離炭酸

痕跡

重炭酸麻偏涅矢亞

痕跡

重炭酸亞酸化鐵

痕跡

加里

痕跡

礬土

痕跡

硅酸

痕跡

硫酸石灰

大量

格魯兒那篤留母

大量

固形物總量

一、七二〇

(2) 効能

慢性痺麻質私 疝痛 腰脚痛 諸神經痛 慢性皮膚諸病 諸般慢性潰瘍 (以上外浴)
慢性胃弱 月經不調 赤白帶下 常習便秘 (以上内服外浴)

(3) 沿革

開基不詳西群馬郡西明屋村中野官地ノ溪畔ヨリ湧出ス明治十八年七月同村黒崎藤平許可ヲ得テ營業ス

(4) 位置氣候

本泉ハ高崎ヨリ伊香保ニ至ル柏木道ニ屬ス高崎停車場ヨリ凡貳里余海面ヨリ高キヲ二千四百十尺地勢ハ西北峻峰東南平坦ナリ氣候ハ四時寒暖其度ニ適シ殊ニ山水ノ風光ニ富ミ武藏信濃ノ翠峯ヲ望ミ眺望明媚ノ地ナリ

(5) 近傍勝區

群馬ノ松 泉地ノ西隣善地村(高崎ヨリ西北三里)ニアリ高二丈東西十二間又此村ニ小流アリ車川ト云フ和名抄ニ國郡部ニ郡名郷名共ニ群馬トアリ此邊其故地ナルベシ夫木集ニ都より歸りくるまの里人はト詠スルモノ是レナリ

安蘇山 上野名跡考ニ山子田ノ邊故桃井郷也船尾山有是カト云

萬葉集十四上野歌

可美都家野安蘇夜未都豆良野乎比呂美波比爾思物能乎安是加多延世武

夫木集

民部爲家

我戀はあそ山本のあをつゝら夏野を廣みみの盛りあり

中務卿ノミコ

吹おろすあそ山ねろしけさゝえて冬野を廣み雪そつもれる

同

あそ山の中より出る白川のいかでえらせん深きこゝろを

箕輪城墟 箕輪ハ東西明屋、矢原、上芝ノ四村ニ跨ル市街ノ名ナリ街北

ニ長野業政ノ城墟アリ高サ七八丈許リ回字形ヲ成シ濠郭ノ遺跡嚴

然トシテ觀ルヘシ

(七十二) 湯上鑛泉冷

(1) 泉質 單純泉

分析 温度 攝氏六十六度五
華氏六十一度五

無色透明無臭無味ナリ其反應ハ中性ニシテ一リートル中含有ス
ル所ノ各成分及量左ノ如シ

重炭酸鹽 少量 格魯兒 少量

硫酸 少量 磷酸 少量

硅酸 少量 鐵 痕跡

加爾基 少量 麻偏涅矢亞 少量

安謨尼亞 痕跡 那篤倫 著明

固形物總量 ○、一五四八

(2) 効能 未定

俗間効能

腫物 疥癬 疝氣 寸白 痲病 消渴

(3) 沿革

開基詳カナラス古老傳ヘ云フ往古此ノ地ニ温泉アリ故ニ村ノ名トス

後チ伊香保ノ温泉湧出セシヨリ泉脈止マレリト云フ本泉ハ即チ其名
殘ナリト明治十八年十一月同村小野寺都平許可ヲ得テ營業セリ

(4) 位置氣候

此地ハ西群馬郡ノ北、澁川町ノ南、三國街道ニ屬シ湯ノ上村字東前田ト
稱スル處ニアリ地勢東南平地多ク西ハ水澤山嶄然トシテ聳ヒ眺望絶
佳ナリ氣候ハ(七十)カラメキ鑛泉ニ異ナルナシ

(5) 近傍勝區

船尾ノ瀑 泉地ノ南上野田村ニアリ船尾ノ山ノ東北ナル崖ノ絶壁ヨ
リ落ツ二層ニシテ上チ雄瀧ト稱シ直下十五丈下チ雌瀧ト呼フ直下
二十丈共ニ幅二間余水烟飛散シテ近ツクヘカラス頗フル壯觀ナリ
澁川邊ヨリ遙カニ望メハ恰カモ白布チ懸ケタルカ如シ下流ハ瀧澤
川ニシテ東ニ流レテ利根川ニ注ケリ

澁川町 郡北ノ一市邑ニシテ商估簷ヲ連テ殷富ノ地ナリ上毛馬車鐵

道會社ノ停車場アリ之レヨリ前橋市へハ一時三十分ニシテ達ス伊香保へハ馬車腕車ノ便アリ

白井城墟 澁川町ノ東北十數丁白井村ニアリ長尾氏累代ノ居城ニシ

テ世ニ白井長尾ト稱セルモノ是レナリ其址今田圃トナルト雖モ牙

城マルニニ郭マルサンノ及ミカツキボリ趾濠ノ故跡見ルベシ

堯惠法印ノ法行ニ重陽ノ日文明十八年白井ト云所ニウツリ又則藤

戸部定昌旅思ノ哀情ヲ施サルト十三夜ニハ一讀侍リシ

寄月神祇

越ぬへき千年の坂の東ある道守る神も月やめつらん

同十九年九月十三夜白井戸部亭ニテ堯惠遊歴 東國三年

住増る種れも見よと松の葉の數あらはなる峯の月影

(七十一) 伊香保鑛泉温

原泉八所

(1) 泉質 炭酸泉

分析 温度 攝氏四十五度ヨリ五十三度五
華氏百十二度ヨリ百廿七度ノ間ニアリ

無色透明無臭ニシテ鐵性及弱キ鹹味ヲ有ス其反應ハ弱酸性ニシ

テ固形分一、三六瓦蘭謨ヲ含有セリ其ノ各成分及量左ノ如シ

重炭酸加爾叟母 ○、四四五八 重炭酸麻偏涅叟母 ○、一五九一

重炭酸亞酸化鐵 ○、〇二一四 硫酸加爾叟母 ○、四四九八

硫酸麻偏涅叟母 ○、一三五〇 硫酸那篤留母 ○、三二二九

格魯兒那篤留母 ○、一八四三 格魯兒加留母 ○、〇〇七四

硅酸 ○、一六一七

固形物總量 一、八八七四

(2) 効能

胃弱 經久惡性痺麻質私 白帶下 腰痛 鑛毒ヨリ來ル麻痺

月經不調 貧血病 皮膚病即チ麻疹痘瘡ヨリ發シタル頑癬
神經痛 子宮機能變常

(3) 沿革

傳ヘ云フ人皇十一代垂仁天皇二年伊香保山温泉湧出スト然レモ上古ノ事漠トシテ明カナラス其浴場ヲ設ケ人ノ來リテ浴スルコトナリシハ何レノ代ナリシヤ古史ノ徵スヘキモノノシ萬葉以下代々ノ歌集ニ伊香保ノ名ハ見ユルト雖モ湯ノコトハ見ユス蓋此温泉ノ書ニ上リシ初メハ北國紀行ニ文明十八年足利將軍義尚ノ世堯惠法印來リテ浴セシコトアリ又宗祇終焉記ニ文龜二年將軍義澄ノ世連歌師宗祇モ浴セシトアリ故チ以テ考フレハ其以前ヨリ湯治ノ地トナリテ久シキヲ知ルヘキナリ又當時人家ハ今ノ湯元ノ地ニアリシチ天正四年今ノ地ニ移ス近世本泉ノ奇効愈世ニ顯ハレ浴者年ヲ逐フテ多シ殊ニ明治ノ昭代ニ會シ衛生ノ道大ニ開ケ生理ノ學、病理ヲ究メ舍密ノ術、細微ヲ析キ研究周密到ラサル

ナク泉質ノ分析アリシヨリ聲名益々天下ニ高ク内外縉紳貴顯ノ此ニ遊ヒ病患ヲ養ヒ若クハ暑ヲ避クルコト毎年數万ヲ以テ數フルニ至ル實ニ盛ナリト謂フヘシ特ニ明治十二年忝ナクモ 皇太后宮此ノ温泉ヘ行啓在ラセラレ本暮八郎ノ家ヲ假ノ御旅館ト定メラレ七月廿日ヨリ八月二日迄御入浴セサセ玉ヘリ嗚呼誠ニ畏クモ本泉ノ光榮土地人民ノ名譽ハ千歳ノ後チ尙ホ此ノ靈泉ト共ニ盡クルコトナカルヘキナリ
此地ノ由來村民八氏ノ由緒及大屋ト稱スル十三家ノ事歴等ハ伊香保志ニ詳シケレハ茲ニ畧ス

(4) 位置氣候

此地ハ西群馬郡ノ西北ニ位シ二ツ嶽ノ東腹ニアリ市街ハ上ノ山ト稱スル中腹ノ側崖ニアリ南ハ山ヲ負ヒ西ハ溪谿ニ臨ミ前面ハ稍北東ニ向ヘリ而シテ人家ハ峻崖ヲ削リ石垣ヲ疊ミテ宅地トス故ニ家々ノ屋棟一層ハ一層ヨリ高ク其狀恰モ階梯ノ如シ市街東西三町南北四町餘戸

數大凡五百、温泉ハ町ヨリ八町許、山ノ背後ニ湧出スルヲ樋管ニ導キ來
 リテ各自ノ家々ニ引キ以テ内湯トス地勢ハ海面ヲ抜ク凡二千六百尺
 日光ヨリ高キコト五百尺、高嶽峻峰、幽溪雲嵐ノ中ニアルヲ以テ常ニ風多
 草津ヨリ低キコト二千尺、且ツ冬季ハ高寒ナリ夏時ハ空氣清涼ニシテ三伏ノ日モ尙
 ク伊香保風名アリ且ツ冬季ハ高寒ナリ夏時ハ空氣清涼ニシテ三伏ノ日モ尙
 ホ華氏ノ寒暖計八十度ニ昇ルコト少ナク朝夕ハ凡七十度位浴療ニ最モ功能アル
 ノミナラヌ清鮮ノ空氣ハ人體ニ適シ心身爽快自カラ健康ニ利アリ就
 中此地東京ヨリ前橋、高崎ニ鐵路ノ便アリ且ツ前橋ヨリ澁川間ニ鉄道
 馬車アリ夫レヨリ馬車或ハ腕車ヲ驅ルモ僅カニ三里ニシテ到ルカ故
 ニ都下ノ紅塵ヲ避ケテ此ニ遊フノ韻士墨客亦多シ况ンヤ山川ノ勝景
 名跡勝區ハ此地ノ四圍ニ聚リ心目ヲ樂マシムルモノ算フルニ違アラ
 ス實ニ俗塵界離ノ樂域ナリ

(5) 近傍勝區

伊香保神社縣社兼郷社

泉地ノ南石段第一高キ處海面ヨリ千七百十六尺ニ鎮座ス祭

神ハ大己貴命ニシテ古ヘハ祈年、月次、新嘗等ノ祭リニハ官幣ヲ奉セ
 ラレキ

温泉神社 伊香保神社ノ攝社ニシテ少彦名ノ神ヲ祀ルスナナヒコナ

温泉山醫王寺天台宗 伊香保神社石垣ノ下ニアリ天正二年甲戌八月岸

筑前介岸宗 安兼ノ草創ナリ

香雲山天宗寺曹洞宗 泉地東北ノ入口ニアリ天正中木暮下總守祐利ノ

開基ニシテ開山ハ中山良信和尚ナリ

伊香保八景 上ノ山ノ月 關屋ノ雲 猿澤ノ猿 物開山時鳥 丸山

ノ躑躅 高根ノ鹿 二ツ岳ノ雪 沼ノ杜若等ナリ詩歌モ多ク傳フ

レトモ物開山ノ時鳥ト伊香保ノ沼ノ葛蒲草トノ外ハ皆近世ノ吟詠

ナレハ別ニ掲ケス

物開山モノキヤマ 泉地ノ東坂路ヲ登ル十町許リ頂ニ琴平神社アリ故ニ里俗金

毘羅山ト呼フ回顧スレハ六州ノ峯巒眉睫ノ間ニ浮フ杜鵑ノ名所ニ

シテ古歌ノ人口ニ膾炙スルモノ多シ

御蔭ノ松 泉地ヨリ澁川路ヲ下ル一里許リ路ノ右傍岡上ニアリテ喬

松一株蒼穹ニ聳ユルモノ是レナリ明治十二年 皇太后宮行啓ノ

時此松下ニ御野立オノダテアリ里民爾後御影ノ松ト稱シ萬里小路博房卿ノ

詠ト揖取素彦氏ノ文ヲ碑ニ彫リ建、テ後世ニ傳フ(碑名畧ス)

博房

芝中の松のやどりに千世かけて残るは君かみかけちりけり

水澤山 水澤村ニアリ榛名山脈東北ノ極端ニシテ嶄然頭角ヲ秀ツ故

ニ東京九段ヨリ望ムヘシ頂上ニ淺間社アリ東麓水澤寺ニ千手觀音

ヲ安置ス堂塔頗フル壯嚴ニシテ坂東三十三番札所ノ第十六番ナリ

相馬ヶ嶽 別名ヲ安蘇又黒髪山ト稱ス溪ヲ隔テ、二ツ嶽ノ南ニアリ

伊香保ヨリ榛名山ニ登ル左傍ニ聳ユテ連峯中最モ高峻ナリ巖石ニ

鐵鎖ヲ掛ケテ攀登ニ便ス登路二條北ヨリスルモノハ稍々易シ頂上

ニ石祠アリ黒髪神社ト稱ス登臨ノ勝地ニシテ古歌ヲ以テ名アリ

伊香保富士 小富士又沼端ヌバタノ富士トモ云フ形チ駿河ノ富士ニ似タリ

伊香保沼 古ヘ伊香保村ニ屬ス寛文中榛名ニ入り榛名ノ神ノ御手洗

水ト稱ス東西十一町南北十七町周圍三十五町古歌ニ伊香保の沼の

いかにして、又いかほの沼のあやめ草ト詠メルハ是レナリ

榛名山 泉地ヨリ西方一里榛名神社(郷社ニシテ古ハ山ニ三千)其南

腹ニアリ幽邃ニシテ奇巖怪石多シ萬籠岩マンカウ鞍掛岩アサカケ雷電岩、大黒岩、鎧岩、

龜岩、瓶子岩、獅子岩、ノヅキ岩等各其狀ヲ依リテ名アリ

烏帽子ヶ嶽 鬢櫛ヶ嶽 硯ヶ嶽 子持山カモン掃部ヶ嶽 氷室ヶ嶽共

ニ登臨ノ勝地ナリ(以下畧ス)

伊香保ノ古歌

古今

長歌 吳竹の世にのふるとちかりせはいか保の沼のいかに

して思ふ心をのはへまし

忠 岑

拾遺

いかほのやいかほの沼のいかにして戀しき人を今一目見ん

讀らす人

新後拾遺

眞菰おふるいかほの沼のいかはかり波こえぬらん五月のころ

順徳院

最草

唐衣かくるいかほの沼水にけふは玉ぬくあやめをそひく

定家

夫木

東路のいかほの沼の杜若袖のつますり色ことに見ん

顯仲

全

こささうゑしいかほの沼のあやめ草長き種をは誰か求めん

行意

同建保百首

五月雨あいかほの沼のあやめ草けふはいつかとたれか引くらん

家隆

同

五月雨にいかほの沼のあやめ草かる人あみに朽ちやはてせん

知家

同

いのはのやいかにほとふる五月雨に沼のいはかき波もこえせん

同

同

蛙あく伊香保のぬまにすむ螢もゆる思ひにねをそあらそふ

行能

同

水鳥の玉藻の床やまほるらんいかほの沼の夕立の空

康光

同

世にしつむ言の葉はかりのはへてもいかほの沼のみ

爲相

かくれそあき

俊成女

かけ暗きいかほの沼の夏艸の露の汀に月そやとれる

爲相

思ふとあやめの草の長き根にいかほの沼のいかてのこらん 兵衛内侍

石垣も見こもり深くありぬらん伊香保の沼の五月の頃 忠定

かり立て引く手に夏はなきのはいかほの沼のいか、涼しき 範宗

知らぬにも尋ねて引かん伊香保風それか遙かにかほるあやめそ 堯空

あやめひくいかほの沼のいかはかり憂身は長き音をや鳴らん 道堅

くちあしにさえたる雪のか、れるはいかほの根ろに

道堅

雪そふるらし

顯朝

夫木

いかほ風吹く日ふかぬ日ましはらてなどか袂をほす時のなき

伊勢

いかほある物き、山のはと、さすにこらぬとにきこゆなる哉

伊勢

種しあらいかほの沼の杜若かけし衣のゆかりとも哉 堯惠

北國紀行ニ文明十八年ノ九月盡ニ長野陣所小野景頼ガモト

ニテ暮秋時雨

全

東路裏アツメザノソト から衣きりやふきはす伊香保風

宗長

夫木 子持山谷ふどころにかひたて、木の葉く、む花をこそみれ

俊頼

(七十三) 二ツ嶽蒸氣浴温

(1) 泉質 未定

温度 攝氏六十三度
華氏百四十五度

(2) 効能

俗間 効能

疝 痔 水腫 (以上蒸浴)

(3) 沿革

發見年度詳カナラスト雖モ古來ヨリアリシヲ疑ヒナシ本泉ハ西群馬郡上野田村地内字二ツ嶽ヨリ蒸發ス明治十九年二月同村森内信四郎外壹名ニテ許可ヲ得テ營業ス

(4) 位置氣候

伊香保ヨリ西南十丁許リ女岳ノ東麓ニアリ砂地ノ間ヨリ蒸發ス此地海面ヨリ高キヲ三千五百二十七尺即五百八十七間五尺二ツ嶽ノ溪間ニアルヲ以テ高寒ニシテ夏尙氷雪アリ蒸湯ノヲハ伊香保志ニ讓リテ省ク

(4) 近傍勝區

二ツ嶽 ハ雙峯駱駝ノ背ノ如ク西北ナルヲ男岳ト云ヒナメダケ東南ナルヲ女岳ト云フメダケ(西南ノ陰ニ孫岳ト云ヘルアリ甚低シ)樹木少ク頗フル險シ女岳ノ頂ニ大ナル孔アリ大古噴火セシ孔ナリト云フ全山花崗石ニテ燒ケ割レタル跡處々ニアリ火ヲ東北へ噴キシト見ユ山ヨリ東北伊香保ノ邊一里四方ノ地浮石地層ヲ成セリ此其ノ噴火山ノ火漿ナリシヲ知ルヘキナリ

二ツ嶽ノ雪

旅寐して誰か見るらん玉くしけふたつかたけの雪の明はの 資 之

(七十四) 高崎上和田鑛泉冷

(1) 泉質 弱鹽類泉

分析 温度 未詳

格魯兒

中量

硫酸

僅微

炭酸

少量

硅酸

中量

鐵及礬土

中量

石灰

少量

苦土

少量

亞爾加里

少量

磷酸

痕跡

固形物總量

〇、六五二

(2) 効能

貧血症

痲痛

月經不調

(3) 沿革

明治二十年西群馬郡高崎驛常盤町金子千代吉ノ發見ニシテ同郡高崎大字赤坂村字上和田ニ湧出ス同年九月許可ヲ得テ營業ス

(4) 位置氣候

此地ハ高崎町ニアリ(高崎ハ元赤坂ノ庄ト云)國ノ中央ニ位シ四通八達ノ都會ニノ中山道ノ要地ナリ商估連簷百貨輻湊ス街衢ヲ分テ四十一坊ト爲ス裁判所西群馬片岡郡役所警察署郵便電信分局等アリ日本鐵道及ヒ官設鐵道横川線ノ兩停車場アリテ旅客ノ道ヲ茲ニ取ルモノ陸續踵ヲ接ス其繁華前橋市ト伯仲ス地勢ハ高隆ニシテ市街南北一里西ニ烏川ノ流レヲ擁シ四圍平坦水田ナリ氣候ハ稍々平温ニシテ春秋風多シ又眺望ハ六州ノ峯巒青然曉眉ノ間ニ聚リ淺間ノ噴烟靄然トシテ雲嵐ノ上ニ鑿鑿シ風景秀美ノ地タリ

(1) 傍近勝區

高崎城址 高崎城ハ元和田城ト稱シ和田氏ノ居城ナリシ(或説ニ和田八郎義國和田合戦ノ後遷レテ上州ニ來リ後チ茲ニ居レリト云フ白川ノ郷ハ今ノ和田山ナリ和田ノ城ヲ築キシハ應永ノ比ニシテ高崎ト名付ヨリナリ)後チ伊井直政酒井家次間部詮房等之レニ居リ元祿八年ヨリ松平侯ノ居城トナリ今ハ東京鎮臺ノ營所トナレリ

賴政神社 赤坂ニアリ境内廣濶綠樹鬱蒼之ヲ公園トス神武天皇遙拜所市街ノ西北ニ在リ

大信寺 淨土宗知恩寺ノ本寺ナリ駿河大納言ノ墓アリ德川忠長三代將軍大猷院殿

弟ノ信州諏訪へ配流ノ途中寛永十一年十二月六日二十八歳ニシテ此所ニ生害アリシ

安國寺 淨土宗知恩院ノ末寺ナリ梅松論ニ三條殿足利直義ハ六十六ヶ國

ニ寺一字ツ、建立シ安國寺ト號シ同塔婆一基ヲ造立シテ祈願ヲ寄セラルト之レ其六十六ヶ寺ノ一ナル乎此他神社佛閣最ト多シ

歌川橋 常盤町ニアリ古へ名所ナリシモ今ハ名ノミ殘レリ

春藹館 本町ニアリ前橋市ノ臨江閣ニ等シク集會等ニ便ナリ殊ニ料理ヲ營ムヲ以テ頗フル使ナリ

小祝神社 高崎市街ヨリ八丁許リ南片岡郡片岡村大字石原村ニアリ郷社ニシテ上野十二社ノ一ナリ

清水ノ觀音 高崎ヨリ西南十五町小祝神社ノ西南ニアリ觀音山ト云フ巔ニ大悲閣ヲ置ク大同三年ノ創建ニシテ磴階數百級、登臨ノ勝地ナリ

天龍護國寺 並榎村(碓氷郡)ニアル著名ノ古刹ナリ新比叡山天龍護國寺ト云フ小野道風朝臣ノ額アリ

達摩寺 鼻高村碓氷郡ノ内ニアリ少林山寶臺院ト云フ著名ノ勝地ナリ

八幡八幡 碓氷郡八幡村鼻高村ノ隣邑ニアリ天徳元年ノ鎮座ナリ康平年中源義家奥州征伐ノトキ祈願シテ靈驗アリ便チ箭幹ヤカラヲ取テ地ニ插ミ

ケレハ其幹根ヲ生ノ今ニ至テ絶ヘス之ヲ目白竹ト云フ

佐野ノ船橋 高崎ノ東、倉賀野ノ西、烏川ノ北佐野村ニアリ(佐野ハ上下別レ片岡)

北甘樂、綠野、多胡四郡ノ境界 船橋ヲ繫キシ岩ナリトテ河岸ニ石アリ堯惠法印此處

ニ來リシキ

あども亦く昔をつちく船橋はた、言の葉の佐野の冬原

定家卿ノ宮、佐野源左衛門常世ノ屋敷跡此地ニアリ常世ハ下野ノ佐野ヨリ出ツトモ云フ

佐野船橋ノ古歌

葛葉集十四東歌

可美都氣帑佐野乃布奈波之登利波奈之於也波左久禮騰和波左可

禮加倍

可美都氣野左野乃九九多知乎里波夜志安禮波麻多牟惠許登之許

受登母

源等朝臣

戀後撰

東路の佐野の船橋かけてのみ思ひわたるをゑる人のあき

左大辨俊雅母

雜詞花

夕きりに佐野の船橋ねどす也手馴の駒のかへりくるかモ

源 仲 綱

戀千載

住かれし佐野の中川せたるええてあかれかはるは涙かりけり

祐盛法師

今綴夏古

五月雨にみかさまさりてうきぬれいさしてそ渡る佐野の船橋

家 隆

同戀

東路の佐野の船橋さのみやはつらき心をかけてたのまん

津守國助

遺戀拾

さのみやは佐野の船橋同じ世に命をかけて戀渡るへき

前大納言爲兼

新戀千載

うかりける佐野の中川さのみあどあふせた白てもこひ渡るへき

新後拾遺

道遠ささの、船橋夜をかけて月にそ渡る秋の旅人

藤原信實朝臣

新續古今

さゝわたるさの、船橋かひもあしえらぬむかしをかけて忘れど

前大納言爲家 隆

壬生二品中

天の原月に漕出ること、ちしてえはしやすらふ佐野の船橋

同

ゆく人も思ひそわたる東路や霞かゝれる佐野の船橋

西行

山家集上

五月雨にさの、船橋うさぬれはのりてそ人はさしわたるらん

慈鎮

拾遺集上

五月雨は佐野の入江に水こゑていてぬ尾花やおきの浮草

定家

戀渡るさの、船橋かけたぬてひとやりならぬねをのみそなく

同二

ことつてよ佐野の船橋はるかある餘所の思ひにこかれ渡ると

後京極

月清集上

東路のさの、船橋白波のうへにそかよふ花のちる頃

師頼

堀川太郎百首

今更に戀路に迷ふ身を捨て何わたりけん佐野の船橋

顯季

同

東路の佐野の船橋くらぬとも妹しさためはかよはさらめや

忠房

堀川次郎百首

いか、せん佐野の船橋さのみやはふみたにみしど人のいふへき

古貼今

東路のさの、船はしはしめより思ふ心ありいとひすな君

具平朝臣

夫木

五月雨にせきりの波のせきかへり佐野の中川水まさるあり

光明寺攝政

同 月かけに天とふ雁の數見わたるかめにたてる佐野の船橋

兵衛内侍

同 東路にかけては過し中川のどたねもつらきさの、船はし

俊頼朝臣

同 せきりせし佐野の中川つらゝゐて井くひに波の音たねにけり

遊祇伯顯仲卿

同 五月雨はいく日になりてせたねせし佐野の中川船よはふ覽

民部卿爲家

同 煙りたつ里のゑるへを目にかけてまた程遠しさの、船橋

同 戀わたる都をかけてゑのへどもほとはるかなる佐野の船橋

此二首建長二年東へ下リケルニ足柄ノ麓ニ佐野ト云所ニテ詠ルトアレハ國モ相摸トアレトカナタノ佐野ニテ此佐野ヲ思ヒテヨメルナルヘシメ

正三位忠宣卿

同 もらさはや波のよそにもみわかさきさの、船橋かけし思ひを

源 仲 正

同 篠原や佐野のくゝたちさがあにてたひゆく人をゑひとめはや

侍從中納言

同 類題 たひ人のいく日をかけて東路のさの、船橋まぢ渡るらん

順 德 院

同 かけてのみ思ひそわたる東路の月澄わたるさの、船橋

回國雜記ニ烏川トイヘル川ニ鶉鳥ナトマシリテ

侍ケルヲ見テ俳諧

道 興 准 后

とりもえぬかりの心にはちもせて鶉のまねしたる烏川哉

武 田 信 玄

軍 箕 記 輪 ほとにさく佐野の船橋来て見れば苗を流るゝ烏川かぢ

上野鑛泉誌終

明治二十五年七月四日印刷
明治二十五年七月五日出版

正價金三拾錢



編述者兼
發行者

高橋周楨

群馬縣上野國前橋市
北曲輪町七十一番地

印刷者

杉原辨次郎

京橋區元數寄屋町
四丁目二番地杉原活版所

東京日本橋區本石町三丁目

發兌元博文館



大賣所

前橋 全全全 高崎

煥乎堂 報告堂 文江堂 江利川莊 煥乎堂

高崎 全田 沼田 伊勢崎 澁川

柳風舍 文心堂 金子兵衛 川木屋庄三郎 昌林堂綱吉

衛生 滋養 元祖 前橋 十景 菓子 御景 命 堂

○前橋十景菓子廣告

敝舗製造の十景菓子ハ其原料を精選するは言ふも更あり脾胃を調ふへき滋味を充分に加へ殊に其製法は精神を凝らしたる逸品あれは幾年を経るも變色腐敗等のとあきは保證する處に御座候故に御旅行又は御土産物等には至極輕便にして體裁モ宜しく頗ふる美味の珍菓ありと御好評を辱ふし本市に御來遊の紳士淑女は固より都鄙貴賤の別なく一箇を購はれさるはなく敝舗の甚た光榮とする所に御座候猶舊に倍し御愛購の程一重に冀ふにな舞

前橋市横山町龜田屋

●休憩所廣告

當前橋の繁昌は、當國有名の鑛泉ある、伊香保草津や磯部四万、其外各所へ入浴の御旅客方の往復路、或は日光信州に、又は常陸の筑波、越路奥羽の國々へ、通ふ鐵路の咽喉なり、その鐵線に因みある、鐵線亭の賑ひは、日月に増る斗りにて、數限りなき御旅客の、亭前常に市なすは、愛顧各位が御惠みゆへど、亭主の喜悅斜ならず、先づ御禮には御座敷向き、清潔美麗を主となして、鮮魚珍味を撰みたる、衛生滋味を御膳部に、供ふるのみか諸事鄭重、所ハ當市停車場前、瞬く暇に瀛車の乗降、又輕快ある鐵道馬車は、時間々々に亭前にて發着させ、バゲに御便利ある事故に瀛笛と共に御吹聽成下されて此上共、尙幾重にも、御愛顧ありて、御入來の程願ぎ上候

前橋停車場前休泊所

鐵線亭榮吉

●旅店廣告

四方の諸彦の麗はしく御機嫌克きぞ悦ばしき諸弊店義は從來より旅店營業いたせし處皆様方の御愛顧もて日月に加はる繁盛は當市御用之御旅客より或は當國有名伊香保草津に磯部等其外各所の温泉へ往々來るその各位方引もさらざる御來臨に店頭常に市をあすは譬へ方あき御惠みに報はでやはと店主の心先づ差當り座敷の結構清潔美麗を旨とあし又御膳部に供ふる品は鮮魚珍珠を用ひたる衛生滋味を主とあして諸事懇ろある其上に當市内外近郊の御案内等仕れば猶彌増る御愛顧を偏に願上るにあらん

群馬縣前橋市堅町壹番地

一新講旅館

松坂屋藤七

元祖 磯部鑛泉利用廣告

●鑛煎餅

●鑛煎餅

●健骨鑛泉飴

●滋養磯部飴

弊亭曩に當磯部鑛泉應用諸々の煎餅製造發賣せし處江湖諸君の御稱賛を以て日増繁榮難有仕合に奉存候又先頃或る衛生家の好案に従ひ八景煎餅を發賣せし處是又御高評を賜へ此の八景煎餅は前元老院議官黒田綱彦大人の磯部八勝に擬し調製したる品にて其品の高雅なるは勿論にして茶讌の媒及ひ愛子愛孫方の滋養に食品として適當なるのみならず磯部八勝に遊ぶの感あり乞ふ伏して御評を懇請す

上毛 磯部鑛泉場

二十五年六月

半百亭主人

會田

鑛百拜

前橋市停車場前旅館休息所

瀧車
乗客
りんせん樓
田所
かつ

當地は伊香保、磯部、草津、四萬、澤渡、其外諸温泉場及び東京、日光、善光寺など四方諸勝地へ瀧車發着の集合點に御座候間、御投宿、御休憩の御客様方に對しては瀧車の昇降は勿論馬車人力車へ召すに御懇切丁寧な御世話可申上候

御來客諸君ニ告グ

當温泉場ノ空氣眺望氣候土質及温泉ノ効能等他ニ比類ナキハ江湖諸君ノ知ル處ナリ○敝館ハ客室八十有餘箇三層ニシテ空氣流通極メテ宜シク樓前ニ園地アリ逍遙ニ便シ運動場アリテ體操術ノ器具ヲ備フ新聞雜誌圖書ノ遊覽ヲ縱ニシ避雷鍼アリ浴室ハ清淨ヲ主トシ温熱意ニ隨テ適度ニスルモノアリ且婦人子宮病患者ノ爲メ子宮浴室ヲ設ケ婦人科醫士ノ指圖ニ隨ヒ子宮洗器(イルリガートル)ヲ備ヘ賓客ヲ遇スルニ懇切丁寧ヲ主トシ勉メテ冗費ヲ省キ御茶代ハ數代前ヨリノ家風ニテ一切辭退シ假令ヒ土産物ニテモ頂戴不致候間御來浴アツテ其實ヲ知リ賜ハン事奉希上候○春秋ノ季節ハ室料其他割引仕候

上州伊香保温泉元

木暮武太夫帳場謹白

上毛新聞ノ記事ハ精確ナリ

●上毛新聞定價○一枚金壹錢五厘○一ヶ月金二拾五錢●郵税一部ニ付金五厘○一ヶ月金拾三錢(毎月曜日大祭祝日ノ翌日休刊)

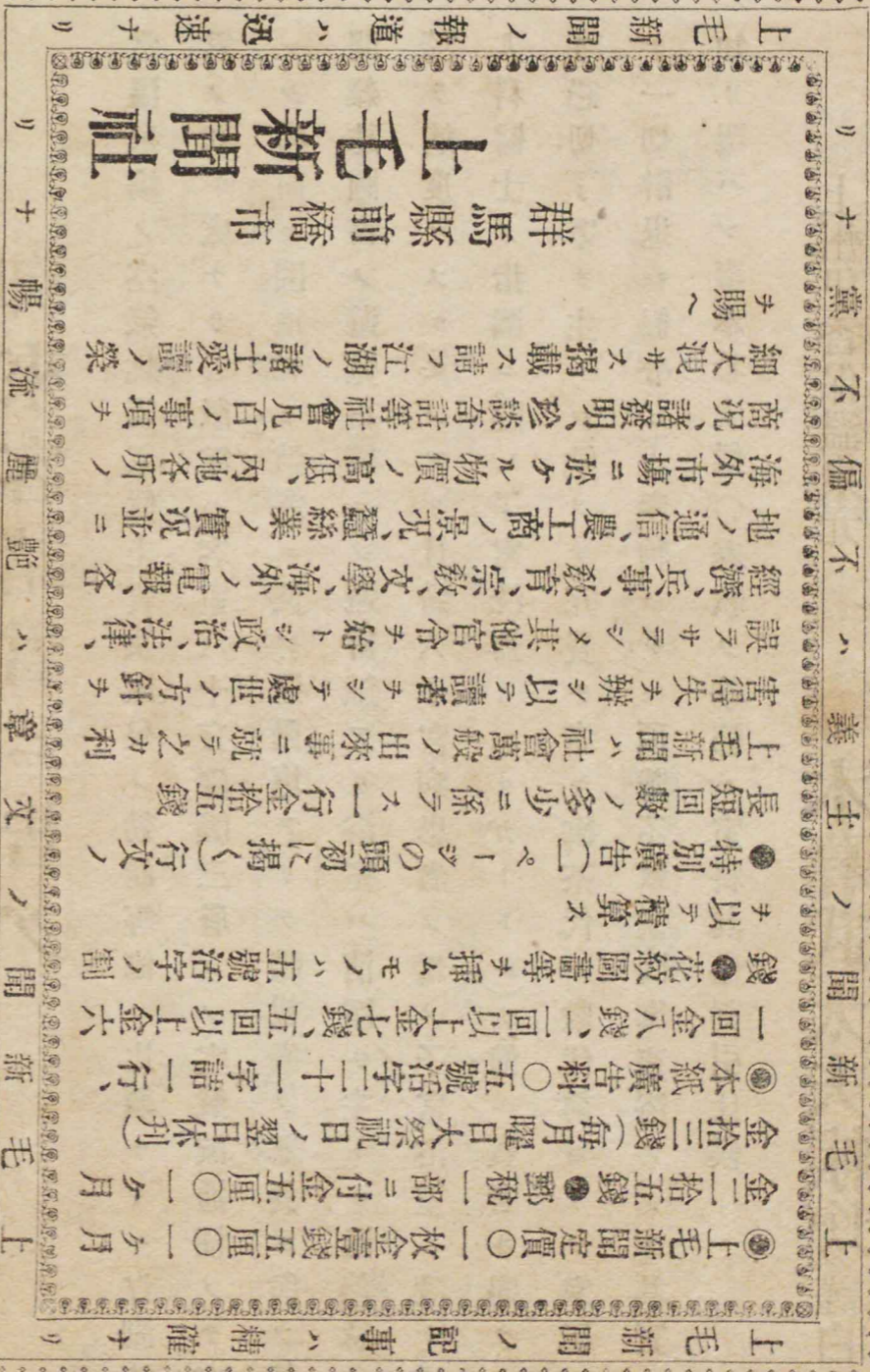
●本紙廣告料○五號活字二十一字詰一行、一回金八錢、二回以上金七錢、五回以上金六錢●花紋圖書等ヲ挿ムモノハ五號活字ノ割ヲ以テ積算ス

●特別廣告(一ページの頭初に掲ぐ)行文ノ害得失ヲ辨シ以テ讀者ヲシテ處世ノ方針ヲ誤ラサラシム其他官令ヲ始トシテ政治、法律、經濟、兵事、教育、宗教、文學、海外ノ電報、各地ノ通信、農工商ノ景况、蠶絲業ノ實況並ニ海外市場ニ於ケル物價ノ高低、内地各所ノ商況、諸發明、珍談奇話等社會凡百ノ事項ヲ細大披サテ掲載ス請フ江湖ノ諸士愛讀ノ榮ヲ賜ヘ

上毛新聞ノ報道ハ迅速ナリ

上毛新聞社

群馬縣前橋市



成立金發兌書目

●官令月報 毎月一回發行 一部定價金拾錢 郵税金貳錢
右ハ法律、勅令、閣令、各省令、訓令、達、告示、本縣令達等を載せしものかれは官民必讀すべきの書あり

佐藤元群馬縣知事題字 曾我部元同書記官題詞 三虎 小澤如風氏編

●温泉のみやゆ 伯紙刷唐本在立 全二册 定價金八錢 郵税金二錢

本書ハ上毛温泉六十有餘ヶ所の泉質、溫度、主治其他山嶽、河川、都邑、村落、名所、舊跡等を詳細に列舉し之に畫圖を挿入して浴客の奇景を探索するの便に供す江湖烟霞を樂むの士女は必讀すべきの好冊子なり

●前橋花柳穴さがし 繪入華美册 全一册 定價金拾五錢 郵税金二錢

右は某粹史が朝に東都の花に酔ひ夕に前橋の月に眠り花柳の情況を探り得て編せしものにして一たび巻を繕かバ明々細々五百倍の顯微鏡を以て彼の仙洞を窺ふに似たり且つ文章の艶麗あると察として花のとし世の才子佳人よ冀くは愛讀あれ

文學士有賀長雄君序 北望散士著 檢事村田繼述 君序

●集會及政社法正解 全二册 定價金拾五錢 郵税金二錢

右ハ辨士論客ハ勿論苟キ政治思想を有するの士ハ坐右缺くべからざるの書冊あり

群馬縣間稅署編纂

●租稅一覽表 定價金七拾錢 郵税金二錢

本書ハ議員及吏員の常に携帯すべき重寶のものあり

發行所

群馬縣前橋市由輪町

成立金出版部

◎西洋御料理◎牛肉販賣

◎日本御料理◎かむや記

弊店西洋御料理及び日本御料理とも開業以來内外貴紳の御愛顧を辱ふし日に月に繁榮に趣き難有奉拜謝候追々暑氣に相向ひ候得者此際一層清鮮を撰ひ調理法に注意し愛顧に報ひ奉らんとを期す何卒伊香保、草津、磯部、四万其他各温泉へ御往復の砌りは御來駕玉はらんとを偏に希上候

群馬縣前橋市堅町通
曲輪町

赤城亭 本店

二十五年

同堅町廐橋脇

赤城亭 支店

六月

同山田郡桐生町五丁目

赤城亭 支店

同利根郡沼田下ノ町

赤城亭 支店

同碓氷郡阪本町

赤城亭 支店

御旅館廣告

弊店儀江湖の御愛顧を蒙ふり日に月に繁盛仕り難有奉感謝候時下御入浴の好季節とあり縣下伊香保、草津、四万、澤渡、磯部等の温泉を初め數十ヶ所の各温泉場何れも御駕を向けられ候にも當市前橋に御駐車相成候義おれは何卒御投宿被成下度御取扱向諸事注意御優待仕り候間一層御眷顧を以て御狂駕賜はらんとを伏して奉祈候頓首

二十五年六月

群馬縣前橋市桑町字片原

一新講社御定宿 御旅館 住よ一屋國太郎

磯部鑛泉宿廣告

敝館三層樓増築以來四方御花客様の御愛顧に預り日に増繁榮に趣き候段難有奉鳴謝候今般學士の勸めに従ひ冷水浴をも相設け諸事輕便廉價を旨とし勉強仕候間倍舊御愛顧の程奉冀候

上州磯部泉源

明治二十五年六月

山城軒 城田代吉

西洋義齒並ニ金銀護謨充填ノ廣告

夫レ義齒^{イレバ}ハ面部ノ表相ヲ整飾スルノミナラズ大氣ヲ吐納シ言語聲音ヲ調節シ飲食消化ヲ助ケ身體營養ノ一大關門ナリトス亦老衰セル顔貌ヲ整復セシメ加之齒牙脱落セハ顎形ヲ變シ咬合位置ヲ失ヒ爲メニ下顎ハ前出シ聽器ヲ變常シ聾耳トナル者多シトス其治法タル上下ノ義齒ヲ造着スルノ他良策ナカルベシ其製式タルヤ種々アリ金、銀、石、象牙、陶器、ゴム、其他各種ノ好ニ應ズベシ
 病患ハ初頭ニ治療スルニ在リト齲齒、缺損齒、磨耗齒ノ如キハ初期輕微ノ時金、アマ^ルガム、ギユツタペルカ、セメント、白金アマ^ルガム、其他各種充填スルトキハ其久シキニ堪ヘ生涯ノ用ヲ爲スモ已ニ深ク侵蝕シ空洞トナリ齒ノ内部ノ質ハ缺ケテ劇痛ヲ發シ亦之ヲ治痛スルモ困難ニシテ好結果ヲ得ルコト稀ナリトス故ニ缺損補充スルハ早キニ過ルモ晚キニ失スルナカレ
 唾石除去ハ怠ルベカラズ唾石ハ炭酸石灰、磷酸石灰、脂肪、粘液、食物滓渣ノ混合ヨリ成ル處ノ土石ナリ若シ堆積スルトキハ近ヅクベカラザル穢臭ヲ放チ加之口中、咽喉、氣管、食道ヲ刺戟シ其分泌液ヲ腐蝕セシメ數多ノ病患ヲ誘發ス其關係ノ甚シキ一端ニシテ止マサル害物ナリ故ニ之ヲ復怠ルベカラザルナリト云爾

群馬縣前橋市新豎町西側

齒科醫 鈴木 祗

●上磯部鑛泉宿廣告●

我磯部鑛泉ノ疾病ニ効アルハ業ニ己ニ内外人ノ知ラル、如ク帝國大學教授醫學大博士エ、ベルツ先生ヲ始メ有名ナル醫伯諸大家ヨリ其靈効ノ證明ヲ辱フシ殊ニ第三回勸業博覽會ニ於テ飲浴兩用共有功褒狀ヲ賜ハリ本鑛泉ノ名譽之レニ過キス然ルニ今亦我カ上毛前橋市高橋國手上野鑛泉誌ノ著アリ本泉ノ分析、効能、其他沿革、位置、氣候、勝區ニ至ルマテ舉ケテ載セサルハナシ故ニ本泉ノ効用等ハ敢テ贅言ヲ要セサルモ可ナルヲ信スレハ茲ニ略ス

鳳來館

ハ磯部鑛泉ノ開祖ニシテ明治十九年以來二層三層ノ客舎數棟ヲ新築シ庭中鬱蒼タル大樹ニ日光ノ横射ヲ防キ樹間ニ清涼ノ風ヲ招キ金石ヲ鑠カスノ炎暑ト雖モ苦熱ノ憂ナク又冬期モ厚氷堆雪ヲ見ス常ニ中和ノ氣候ヲ得ル様尤モ構造ニ注意シ就中待遇上丁寧心切ニ營業セシヨリ幸ニ諸君ノ御愛顧ヲ蒙フリ寒暑ニ適スル好浴場ナリトノ佳評ヲ博シ日ニ倍々旺盛ニ趣キ感佩ニ堪ヘス爾來一層注意ヲ加ヘ貸席、賄、旅籠料ノ區別ヲナシ御手賄ノ向ヘハ常ニ炊具什器ヲ備置隨意御使用ノ便ニ供ス

鳳來館

諸新聞雜誌

宿泊料

ハ停車場前ニ支店ヲ置キ(支店ハ本店ヲ距ルニ丁許リ)來客ノ送迎及ヒ荷物切符等ノ御世話鄭重ニ取扱候

客等ノコナク萬事ニ注意シ聊カ羈旅ノ不自由ヲ感セラレサル様御待遇仕候間何卒敝館へ御投浴アラシコト奉冀候

上毛磯部溫泉場元祖

鑛泉一手專賣 鳳來館 大手萬平 敬白

磯部鑛泉取次販賣所及溫泉支店

大販賣	東京池ノ端	守田治兵衛	溫泉	東京芝公園内	磯部	亭
全	三崎町	瀧澤友之助	全	上州前橋市	磯部	亭
全	全本郷眞砂町十五番地	高月 晰	全	全	有坂敬助	
販賣	武州八王子	福田屋房吉	全	武州熊谷町	小松屋	
全	新潟縣新潟市	藤田貞吉	全	全本庄町	齊藤安五郎	
溫泉	東京四谷	磯部亭	全	伊勢崎町	大澤龍麿	

廣告

當堂開店以來日尙淺きにも係らず愛顧各位の御引立を蒙り追々繁榮に趣き候段當堂の幸福是に過す就ては爾來一層品質を吟味し精々廉價に相働候に就き益々御買求奉願候

敷島河原煎餅

は前橋名所の名にちかみ敷島河原の詠歌數首を其裏面に鐫り表面には古代瓦の紋様を寫し其の躰裁の古雅優美なる言を待たず殊に其の風味の如きも一口は一口の美あるより尙淡きを覺ゆ若夫竹葉疎々たる邊數綺の小亭主客相對する時徐ろに籠芽を酌て之を味へは端なく仙家茶會の趣味迄て思ひ出らるべし而して其價低廉かれは罐詰袋入俱に進物手土産等に用ゐて至妙の佳品ありと云ふも敢て過褒に非らざる可し

養蠶

およし是れ亦上毛の國産にちかみ繭形に製したる物にて其の美味あると廉價なるとは已に大方諸君の公評を得たる處今更に謀々せざるも當堂か云ふ所の虚贊あらざるは各位も亦應に首肯せらるゝあるべし

上毛前橋市桑町五十六番地

富貴堂主人 敬白

伊香保温泉宿廣告

弊館ハ最モ高層ノ地位ヲ占メ空氣ノ流通眺望ノ佳絶ハ第一等ニシテ室内ノ清潔食物ノ新鮮價値ノ低廉ハ素ヨリ諸事取扱方ハ務メテ鄭重親切ヲ旨トシ尙御客ノ徒然ヲ慰ムル爲メ玉突新聞雜誌縱覽所自動體量器並ニ諸種ノ音曲器ヲ備ヘ西洋料理ハ何時ニテモ御好ニ應シ調進致シ又御便利ヲ計リ東京横濱田中銀行へ爲換取扱申候間右證券御持參相成候へハ正金御携帶無クモ聊御差支無之且御旅籠料ハ御一人一日金三十五錢ヨリ御賄致へク室料其他御賄等モ別シテ相働キ可申候間何卒此際陸續御來浴ノ程奉冀上候

溫泉元 郵松秀茂

● 日刊 新聞 上州

ハ客年總選舉以前即チ十月二十日ヲ以テ初號ヲ發刊セリ爾來椽大ノ筆ヲ揮ヒ邪黨ノ排撃ニ勉メシ結果トシテ本縣四代議士ヲ吾カ自由黨ヨリ選出セシメタリ是レ實ニ上州ガ正義ヲ甲トシ自由ヲ胃トシ紛々タル選舉場裡ニ奮進勇戰シタルノ功績ト謂フベシ斯ノ如キ偉力ヲ有セル上州ハ創業日淺キニ似ズ發刊ノ紙數他地方新聞ニ倍蓰セリ上州ハ議論精確記事詳密亦タ能ク眼ヲ實業上ニ著ケ政海ノ羅針盤タルト俱ニ實業界ノ指南車タリ

上州定價 一枚 一錢 前一ヶ月金 金貳拾錢
廣告料 一回行 七錢 以上 六錢 以上 五錢

上州前橋市本町七十一番地

上州社

上州は養蠶に製絲に鑛泉に繁榮の地にして都鄙の人衆常に輻湊せり、廣告するは、最も收益多々なりとす故に廣告御申込の方は敝社に御下命あれば諸事簡便、輕易都合よく取計可申候

山田風外うち

前橋市立川町

活動廣告社

元祖片原饅頭

弊舗製造の片原饅頭は其形ちの大あると味ひの甘美あると其價の安きとの三優を以て夙に其名も高き片原饅頭の好評を玉はり日と月と倍々繁昌に趣き難有偏に江湖御愛顧華客の庇蔭に依るものと奉拜謝候爾來一層吟味精製仕候間舊に倍し御引立の程冀上候尙未た其風味を知り玉はさる遠客諸君にして當縣各地温泉等御遊來の折御枉駕成下され前橋の名物たる眞味を御賞翫あらんとを願ふ

群馬縣前橋市桑町片原

明治廿五年六月

片原饅頭

野村

順

笹之湯礦泉廣告

笹之湯礦泉ノ眼病ニ効驗アルコトハ世人ノ歴驗ニ出テ其著シキヲ神ノ如シ抑我カ上野ニハ溫泉ノ數多シト雖モ眼病ニ奏効アル者至テ稀ナリ然ルニ今其礦泉アレハ其名他方ニ聞ヘス唯近郡ノ人ノミ之ヲ知ルニ止マリ廣ク世ニ顯ワレサルハ遺憾ノ至ニ付嘗テ群馬縣廳ニ請ヒ現場ニ就テ分析シ醫治効用ヲ添ヘテ下付アリシニ從來ノ經驗ニ彌増シ諸病功績アルコト實ニ意想ノ外ニ出ツ右礦泉ハ海面ヨリ高キヲ一千七百八十尺ニシテ三國街道ノ傍赤谷川ノ上山麓岩石ノ間ヨリ湧出ス前ニ深溪ト瀑布トナリ帶ヒ後ニ連峯重巒ヲ負ヒ大氣清潔地位幽邃ニシテ盛暑ト雖モ華氏八十度ヲ超ヘズ頗ル健康ニ適スル仙境ナリ

本泉主成分ハ「硫酸カリシユウム」「格魯兒ナトリユウム」「格魯兒カリウム」「硫酸マクシヤ」「硫酸化銹」「硫化水素」「硫酸等」ニノ温度ハ華氏九十八度ナリ今其適應スル病症ヲ左ニ掲グ

効能

○眼病 ○腺病性諸病 ○慢性尙癩病 ○經久梅毒 ○遲鈍性諸潰瘍 ○頑癬 ○疥癬 ○瘰癧 ○慢性諸皮膚病 ○胃弱 ○吞酸 ○瘦麻質私 ○火傷 ○切疔 ○痲病 ○痔病 ○腦病 ○脊髓病 ○諸逆上引下

右之外諸症ニ特効御入浴之上實驗ナク

群馬縣下上野國吾妻郡久賀村大字猿ヶ京驛

礦泉元 相樂忠策 敬白

群馬縣溫泉宿旅人宿料理店

- | | | | |
|----------|----------|-----------|---------|
| 前橋市 豎町 | 松坂屋 藤七 | 前橋市 本町 | 油屋 安太夫 |
| 同 御料理 | 嬉野 タミ | 同 | 白井屋 銀次郎 |
| 前橋市 桑町 | 住吉屋 國太郎 | 前橋市 停車場前 | 鐵線亭 榮吉 |
| 前橋市 曲輪町 | 中藤屋 惣五郎 | 同 | 臨線亭 ヤス |
| 前橋市 曲輪町 | 藤酒屋 與三郎 | 同 | 清水道 三郎 |
| 前橋市 本町 | 岩附屋 六平 | 高崎町 大字新町 | 越後屋 源兵衛 |
| 高崎町 大字新町 | 松本屋 儀八 | 高崎町 大字新町 | 岡田屋 源三郎 |
| 高崎町 停車場前 | 高崎館 壽美余志 | 高崎町 大字本町 | 堺屋 保五郎 |
| 高崎町 大字本町 | 大阪屋 庄八 | 高崎飯塚 停車場前 | 信喜亭 半九郎 |
| 伊香保町 溫泉 | 福田 與重 | 伊香保町 溫泉 | 木暮金太夫 |
| 同 | 木暮武太夫 | 同 | 同 八郎 |
| 同 | 千明 三郎 | 同 | 村松 秀茂 |

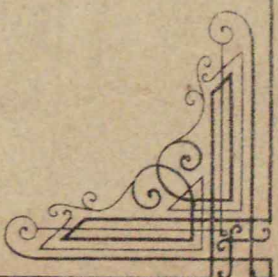
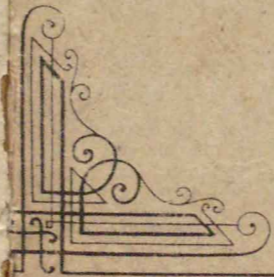
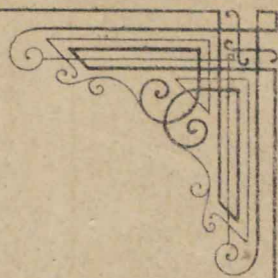
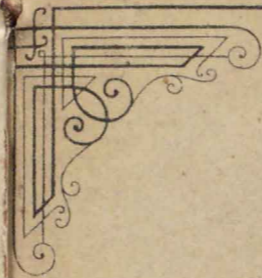
同 岸 又太郎 同 木村屋 貞次郎
澁川 町 青木勘右衛門 澁川 町 山田屋 喜平治
澁川 町 青梅屋清吉 澁川 町 佐鳥屋 浦次郎
澁川 町 達磨亭岩吉 新町 驛 三俣七郎右衛門
新町 驛 中村 佐平 磯部鑛泉 共壽館 夏目 ヌイ
磯部鑛泉 信泉亭 小島 彦惣 同 山城軒 城田 代吉
同 御料理 一力亭 幸吉 同 對岳館 林 益造
同 同 橫山亭 正三郎 同 風來館 大手 萬平
妙義町 養氣館 菱屋 傳平 橫川停車場前 萬屋伊三郎
橫川停車場前 東京屋 錠太郎 坂 本 町 田中屋又右衛門
坂 本 町 小竹屋 三重郎 松井 田 町 醉屋德七郎
坂 鼻 町 木島 喜平 富岡 町 信州屋 龜太郎

岩 本 町 萬屋惣兵衛 戶 鹿 野 松屋幾太郎
沼 田 町 大竹屋助右衛門 沼 田 町 惠比壽屋半兵衛
恩 田 町 金田屋 太郎右衛門 後 閑 町 七五三木 要左衛門
上 牧 町 登坂屋多助 上 牧 町 木村屋 七五郎
湯 原 町 内田屋 治兵衛 谷川 温泉 田 村 宗吉
湯 檜 會 町 阿部儀十郎 湯 檜 會 町 阿部 寅松
武 納 平賀屋久吉 月夜野 町 青柳屋周助
湯 宿 温泉 岡田太三郎 湯 宿 温泉 岡田熊次郎
猿ヶ京温泉 清水屋 松太郎 猿ヶ京笹の湯温泉 相樂 忠作
永井町 舊本陣 笛木 四良兵衛 法師 温泉 大坂屋九郎
北 牧 町 小菅屋 佐金太 伊 勢 町 山木屋 半次郎
中ノ條 町 鍋屋 喜八 中ノ條 町 二宮 平八

中ノ條町 福田屋 豐三郎 四萬温泉 田村茂三郎
四萬温泉 關 善平 澤渡温泉 福田 六右衛門
澤渡温泉 新叶屋 總吉 澤渡温泉 中屋敷 喜八郎
生 須市川 又次郎 大津温泉 湯本門 四郎
草津温泉 黑岩岩次郎 草津温泉 一井善三郎
草津温泉 山本館 久次郎 長野原町 玉屋德次郎
長野原町 大津屋 清次郎 川原湯温泉 萩原慎太郎
川原湯温泉 山木屋 又平 川中温泉 野口伊三郎
岩島町 森屋文次郎 原町 原澤 五平
大戸町 惠比壽屋 ナツ 權田町 池田 イト
三ノ倉町 戸塚 平助 室田町 角屋與五郎
金古町 今城 音造

富岡町 美濃屋 金作 一ノ宮町 龜島屋 鶴吉
一ノ宮町 昇月亭 織之助 南蛇井 永井八十八
下仁田町 杉原五郎 平 下仁田町 小林屋 キン
吉井町 山本屋 久八 吉井町 吉田半兵衛
鬼石町 三島屋 庄吉 鬼石町 金澤屋 甚平
藤岡町 丁子屋 久兵衛 玉村上新田 角 萬總平
倉ヶ野町 須賀喜太郎 玉村下新田 角 屋 治平
駒形町 近江屋 正三郎 伊勢崎町 和泉屋 長次郎
伊勢崎町 錢屋 太七 伊勢崎町 新井屋 甚五右衛門
伊勢崎町 湖川屋 孫太郎 伊勢崎町 停車場前 門松屋 千代
境 八百屋 與三郎 境 藤屋 紋三郎
木崎町 吉田屋 彌十郎 木崎町 中村屋 濱二

棚	八	大	大	澤	神	花	水	桐	館	館	太
下	崎	和	胡	入	戶	輪	沼	生	林	林	田
町	町	町	町	町	町	町	町	町	町	町	町
藤	末	瀧	伊	小	澤	若	翠	金	齋	櫛	古
屋	末	屋	勢	松	屋	松	野	木	藤	屋	久
安	末	房	屋	屋	陽	屋	源	屋	權	武	屋
吉	末	五	友	久	七	熊	吉	富	平	免	三
岩	末	郎	次	五	草	吉	萩	三	川	館	郎
本	末	中	郎	郎	澤	神	原	大	侯	太	治
町	末	室	室	澤	入	戶	町	間	林	田	太
生	末	澤	澤	入	町	町	町	々	町	町	田
方	末	加	加	町	町	町	町	々	町	町	芭
屋	末	納	納	近	松	玉	小	吉	田	小	蕉
萬	末	屋	屋	江	金	屋	林	野	中	林	屋
作	末	與	與	屋	屋	雄	豐	屋	屋	太	翁
	末	吉	吉	三	紋	三	太	由	與	郎	作
	末	郎	郎	郎	平	郎	郎	太	志	太	
	末	左	左	郎							
	末	衛	衛	三							
	末	門	門	郎							
	末			三							
	末			郎							
	末			政							
	末			七							



大英圖書館

群馬県立図書館



0523701-1